

5 たて張りの施工

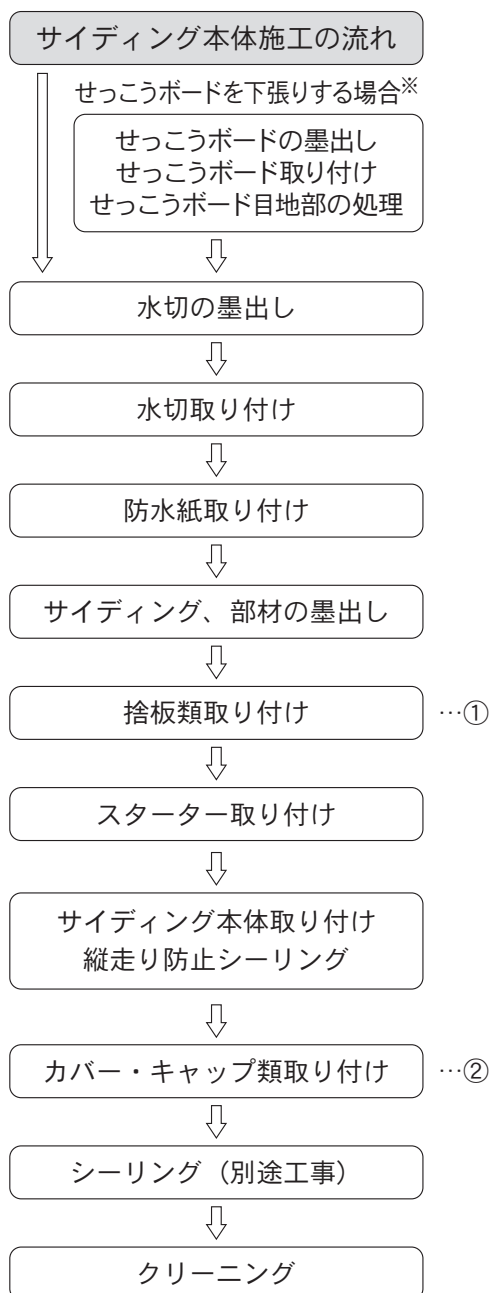
- 5－1. 施工の手順とポイント P20
- 5－2. 各部位の納まり図 P41
- 5－3. 建物高さが13m超える部分の部材留め付け
. . . . P79

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-1. 施工の流れ	・・・・・・・・・・	P21
5-1-2. 下地の施工		
①胴縁、サッシなどのチェック	・・・・・・・・・・	P22
②水切の取り付け	・・・・・・・・・・	P23
③防水紙張り	・・・・・・・・・・	P23
5-1-3. 本体、部材の施工		
①先付け部材の施工	・・・・・・・・・・	P24
②本体の施工	・・・・・・・・・・	P26
③後付け部材の施工	・・・・・・・・・・	P29
④先付け部材の施工	(縦継ぎ部) ・・・・・・・・・・	P30
⑤本体の施工	(縦継ぎ部上) ・・・・・・・・・・	P31
⑥後付け部材の施工	(縦継ぎ部上) ・・・・・・・・・・	P31
⑦シーリングの施工	・・・・・・・・・・	P32
⑧補修・点検・片づけ	・・・・・・・・・・	P32
5-1-4. SP-ガルブライトⅡ(たて張り) の場合		
①本体の切り欠き方の制限	・・・・・・・・・・	P33
②開口部での部材の施工	・・・・・・・・・・	P33
③本体の留め付け部を切り欠いて施工する 場合の寸法取りについて	・・・・・・・・・・	P34
④連窓中間部の納め方	・・・・・・・・・・	P35
⑤切り欠いた本体を運搬するときの取り扱い方法	・・・・・・・・・・	P40

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-1. 施工の流れ



たて張りに使用する部材

部位	必要部材	手順
土台部	・ 水切15S ・ 縦用スターター15またはアルミ縦用スターター15	① ①
出隅部	・ 出隅下地15N ・ 3M出隅キャップ15-25または4M出隅キャップ15-25 ・ 捨板（現場加工） ・ 出隅15	① ② ① ②
入隅部	・ 入隅下地15S ・ 入隅キャップ15-25S ・ 捨板（現場加工） ・ 止縁C15 ・ 捨板（現場加工） ・ 入隅15	① ② ① ① ① ②
縦継ぎ部	・ 水切15S ・ 縦用スターター15	① ①
開口部	上 ・ 捨板（15×85） ・ 小口カバー15 ・ 捨板（15×85） ・ 止縁C15 左右・下 ・ 止縁C15 ・ 止縁捨板 ・ 止縁キャップC15 隅角 ・ ワンタッチコーナーキャップ15-25	① ① ① ① ① ② ②

5

たて張りの
施工

注）商品毎に対応部材が異なります。各商品の部材規格をご確認ください。

※ 防耐火構造認定により必要な場合があります。

①は先付け部材、②は後付け部材です。

5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-2. 下地の施工

① 胴縁、サッシなどのチェック

1) 胴縁間隔

- ・ 胴縁の間隔は、次の3条件を基に、最も間隔の狭いものに設定してください。

- A：防耐火構造認定の胴縁間隔
- B：本体の耐風圧強度（風圧力と胴縁間隔のグラフ等）
- C：胴縁自体の耐風圧強度（構造計算により算出してください）

2) 胴縁のサイズ

- ・ 一般部、入隅部
C100×50×20×2.3mm以上
- ・ 縦継ぎ部
□100×100×2.3mm以上、または、2C100×50×20×2.3mm以上
- ・ 出隅部、軒部、開口部など
□100×100×2.3mm以上

※ 建物の高さが13mを超える部分にキャップ系部材を使用する場合には、脱落防止のため、部材は脳天ビス留めをしてください。

3) 胴縁の確認

- ・ サイディング本体取り付けに必要な胴縁が正しく配置されているか確認してください。
- ・ 光の具合によって、表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。
- ・ サイディング本体取り付け部分にボルトなどの突起物がないか確認してください。

〈関連工事の確認〉

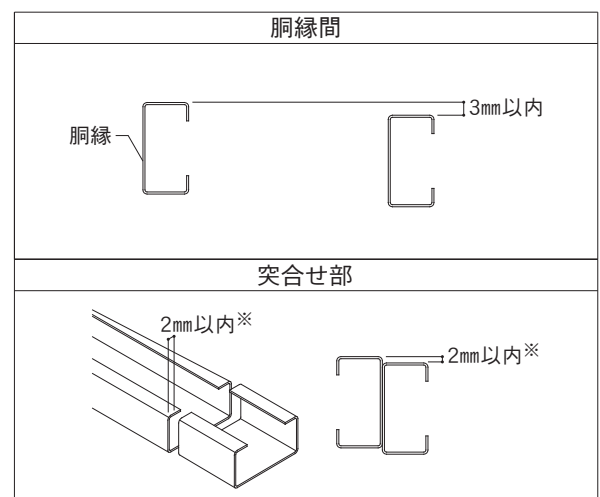
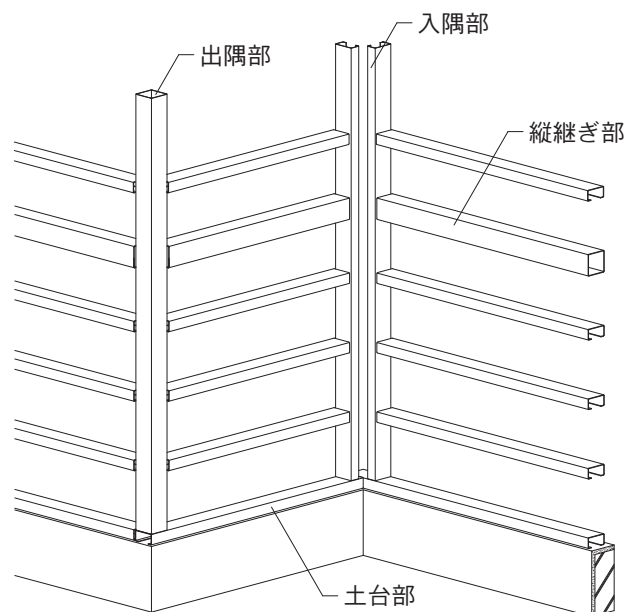
- ・ サッシやシャッターの枠類は先付けです。
- ・ ステンレス製の付帯物などの異種金属が直接接触すると電食が起こる場合がありますので、ご注意ください。

〈付帯物の取り付け〉

- ・ 庇、フード、看板などの付帯物はサイディング本体に負担させず、躯体鉄骨に負担させるようにしてください。

〈胴縁の不陸〉

- ・ サイディング本体を取り付ける胴縁の不陸（出入り）により、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。隣り合う胴縁の不陸は3mm以内とし、突合せ部は2mm以内に抑えてください。
- ・ SP-ガルブライトⅡは、表面がフラットです。表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。突合せ部は1.5mm以内としてください。



※SP-ガルブライトⅡは1.5mm以内

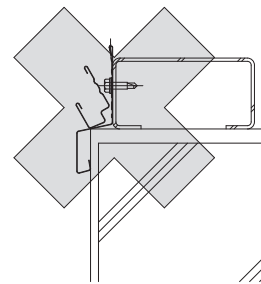
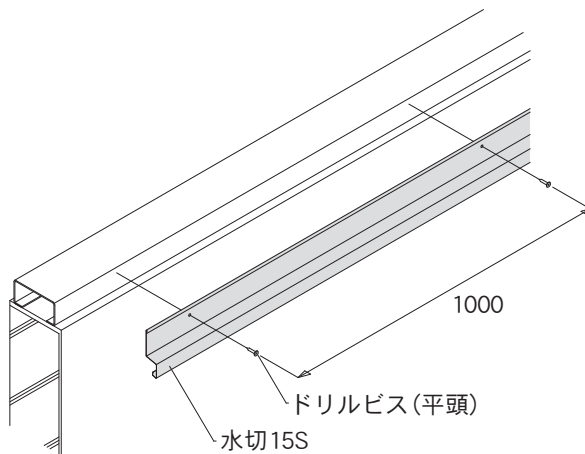
5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-2. 下地の施工

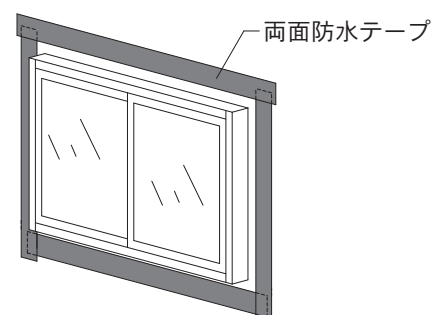
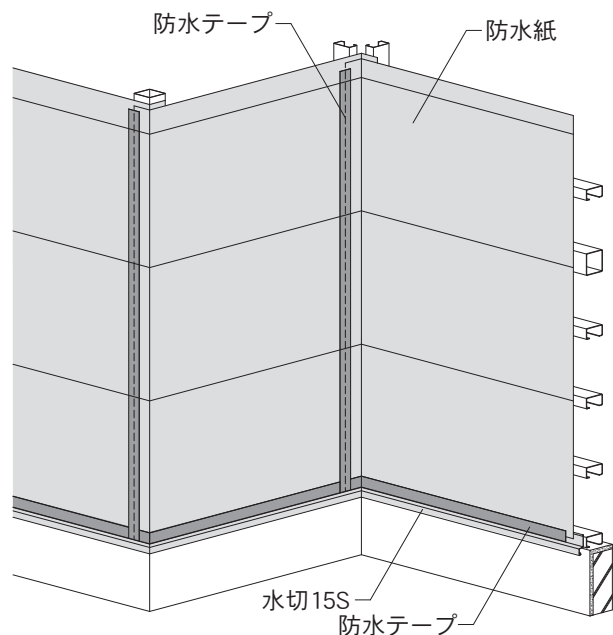
②水切の取り付け

- ・墨に合わせて取り付けてください。
- ・ドリルビス（平頭）で1,000mm間隔で取り付けてください。
- ・水切15Sをジョイントする場合は、捨てシーリングを施工してください。



③防水紙張り

- ・防水紙はアスファルトフェルト430を使用してください。
- ・サイディング本体の張り方向に関わらず、防水紙は横張りを原則とし、下から上へ張り上げてください。
- ・防水紙の重ね代は上下90mm以上、左右150mm以上としてください。確実に張り付けるために土台部の張り始めや、鉛直方向の重ね代は防水テープで貼り付けてください。
- ・防水紙を隅部でつなぐ場合は、150mm以上重ね、防水テープで貼り合わせてください。
- ・開口部や壁貫通部などの周囲は防水テープを貼り、すき間ができないように防水紙と密着してください。



5

施
工
の
た
て
ま
め

5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

①先付け部材の施工

1) 部材の施工順序（縦継ぎを設ける場合）

施工順序	部位	部材名
1	土台部	水切15S
2	出隅部	出隅下地15N
3	入隅部	入隅下地15S
		止縁C15または止縁捨板
4	土台部	縦用スターター15またはアルミ縦用スターター15

2) 部材の施工順序（縦継ぎを設けない場合）

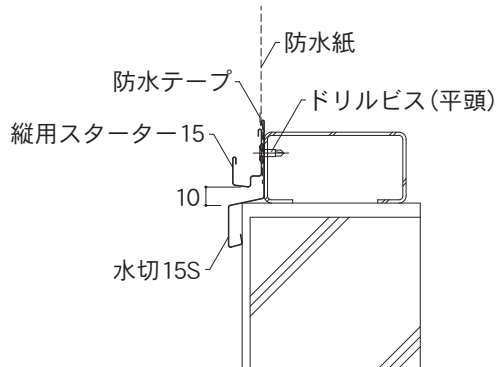
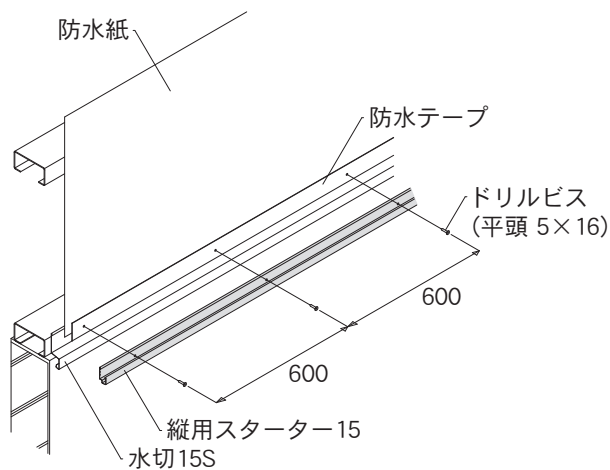
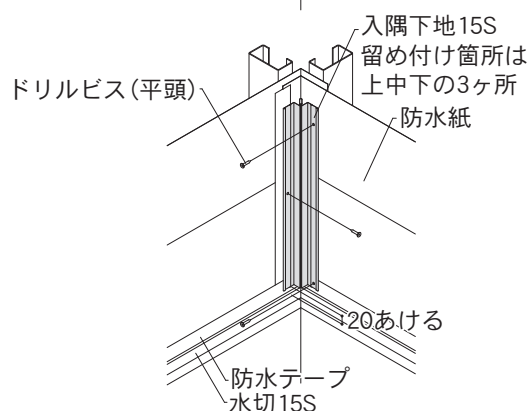
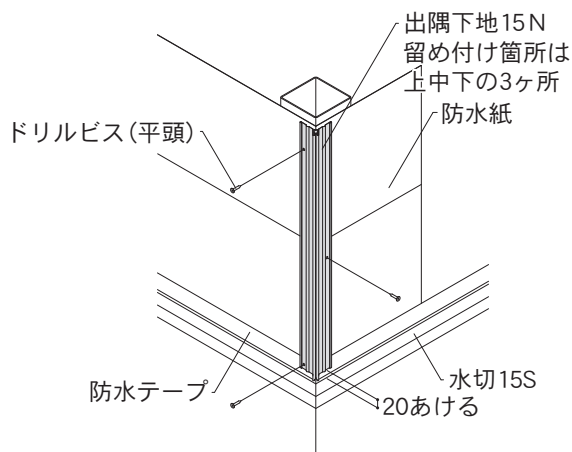
- ・標準準品などの長尺を使用し、縦継ぎを設けない場合は、次の順序で施工してください。

施工順序	部位	部材名
1	土台部	水切15S
	軒部	止縁C15または止縁捨板
2	出隅部	出隅下地15N
3	入隅部	入隅下地15S
		止縁C15または止縁捨板
4	土台部	縦用スターター15またはアルミ縦用スターター15

- ・先付け部材を施工した後に縦用スターター 15を施工してください。
- ・出隅下地 15N、入隅下地 15Sは水切から20mmあけて取り付けてください。
- ・P136 への 7 部材の加工例とつなぎ方を併せて参照ください。

3) 墨出し

- ・出隅下地15Nを留め付ける際に、ねじれたり沈み込んだりすると3M / 4M出隅キャップ15-25がはまりにくくなります。墨出しを行ってから、出隅下地15Nを施工してください。
- ・スターターは通しで取り付けます。但し、捨板と交差する部分ではスターターを切断します。
- ・ドリルビス（平頭5×16）などを使用し、600mm以下の間隔で留め付けてください。



5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

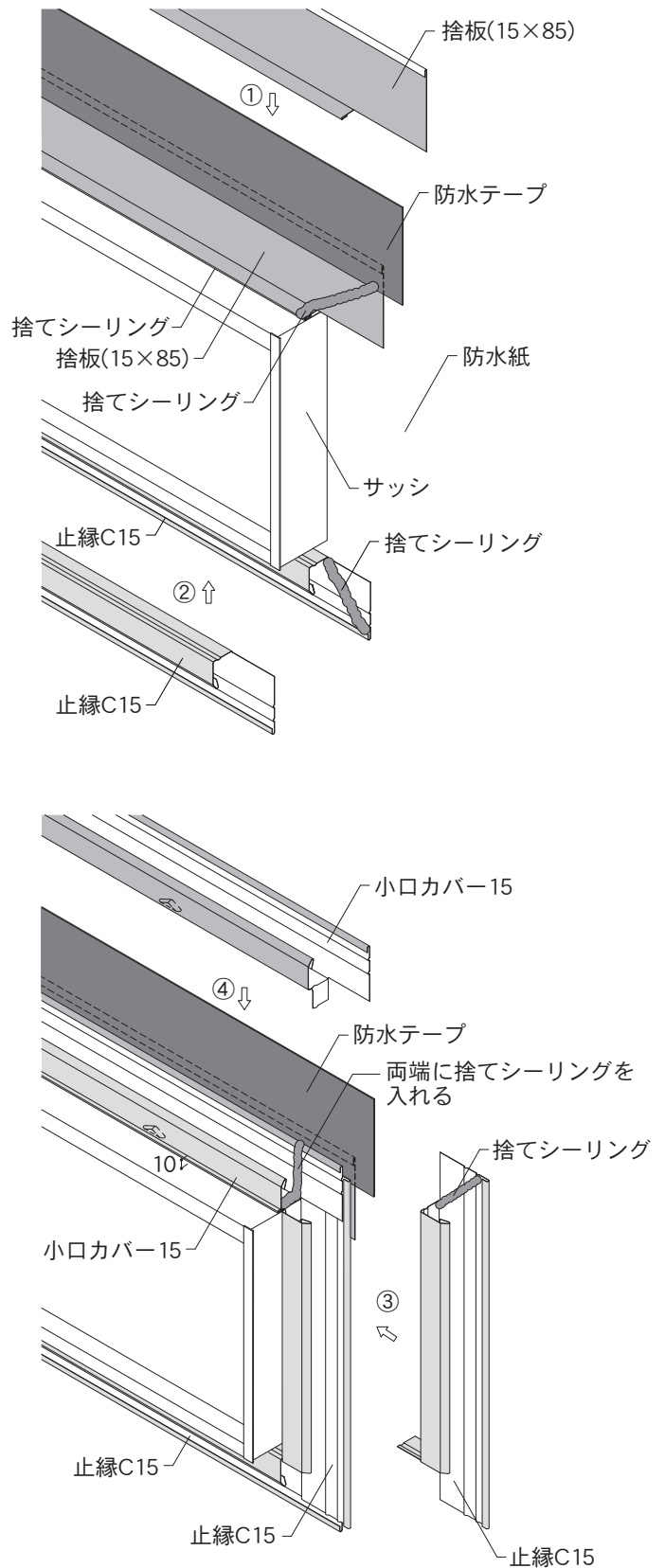
4) 開口部：部材の施工順序

・次の順序で施工してください。

施工順序	部位	部材名
1	開口部上	捨板(15×85)
2	開口部下	止縁C15
3	開口部左右	止縁C15
4	開口部上	小口カバー15
5	隅角部	ワンタッチコーナーキャップ15-25

5) その他の部材

・複数の部材を準備しています。デザイン性、施工性を考慮して選択してください。詳細は5-2. 各部位の納まり図(P41)を併せて参照してください。



5

施
工
た
て
張
り
の

5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

②本体の施工

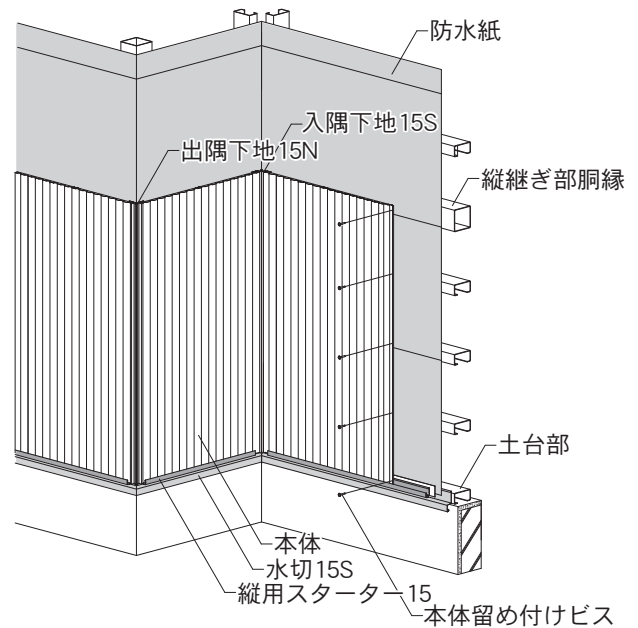
本体は、SP-ガルスパンで記載しています。
詳細は、5-2.各部位の納まり図（P41～）を
併せて参照してください。

1) 墨出し

- ・働き幅に合わせ墨出しを行ってください。

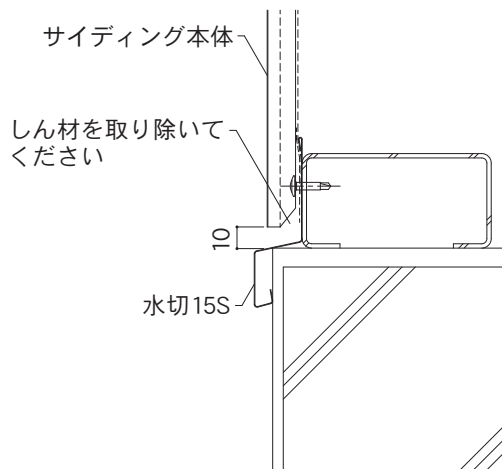
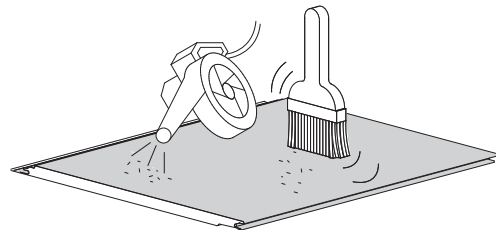
2) 本体の施工

- ・本体の下端は、縦用スターター15の上に留め付けてください。本体は全ての胴縁に留め付け、働き幅で施工してください。働き幅より広い幅で施工すると、水密性や耐風圧強度などで十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。ただし、SF-ガルステージシャインは、働き幅以下になる場合もありますが、目地幅を整えて施工してください。



〈本体の切断〉

- ・各施工箇所に合わせて、本体を切断してください。
- ・切断時に発生するバリや切粉を放置すると、さびや汚れの原因になります。速やかに除去してください。
- ・本体を切断して納める際は、本体下部からしん材を10mm程度取り除いてください。



5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

〈本体の施工と留め付け〉

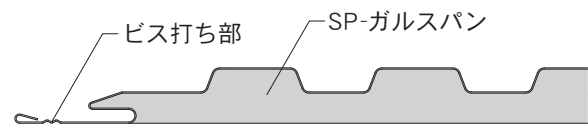
I. 留め具

留め具の寸法は、防耐火構造認定に従ってください。防耐火構造認定を必要としない場合は、右に従ってください。材質は、ステンレスまたは亜鉛めっきを推奨します。（P18参照）

ドリルビス（シンワッシャー） 4×19 以上

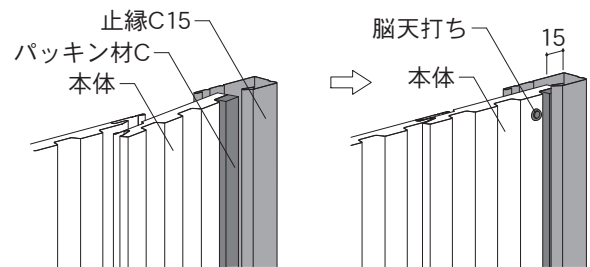
II. SP-ガルスパンの場合

本体には、ビス打ちの目安となるリブが付いています。



〈本体の張り終わり〉

- ・本体の張り終わりなどで止縁C15に差し込む際は、15mm程度のはめ込み代が必要となります。採寸時に注意してください。



〈脳天打ち〉

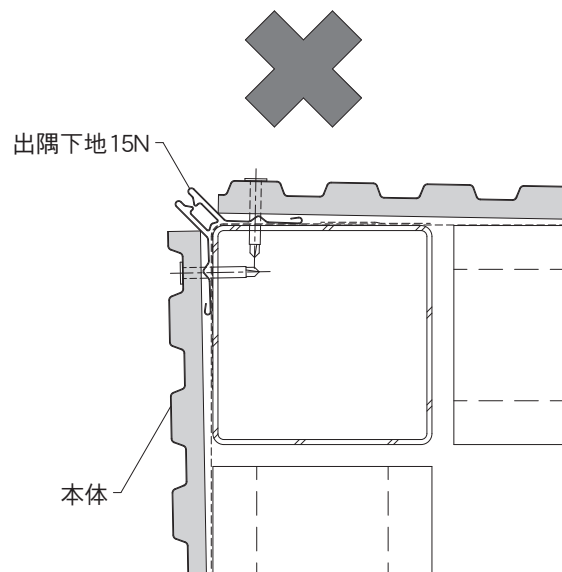
- ・本体のかん合部を切り欠いた箇所脱落や変形を防止するために脳天打ちをしてください。ビス頭は、シーリングを施工してください。
- ・本体に、下穴をあけてから脳天打ちしてください。留め具の打ち込みすぎには注意してください。

〈出隅部〉

- ・本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、3M/4M出隅キャップ15-25がはまりにくくなりますので、注意してください。

〈施工期間中の養生〉

- ・施工期間中は、笠木などの部分から雨水が入らないよう養生してください。



5
施
工
た
て
張
り
の

5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

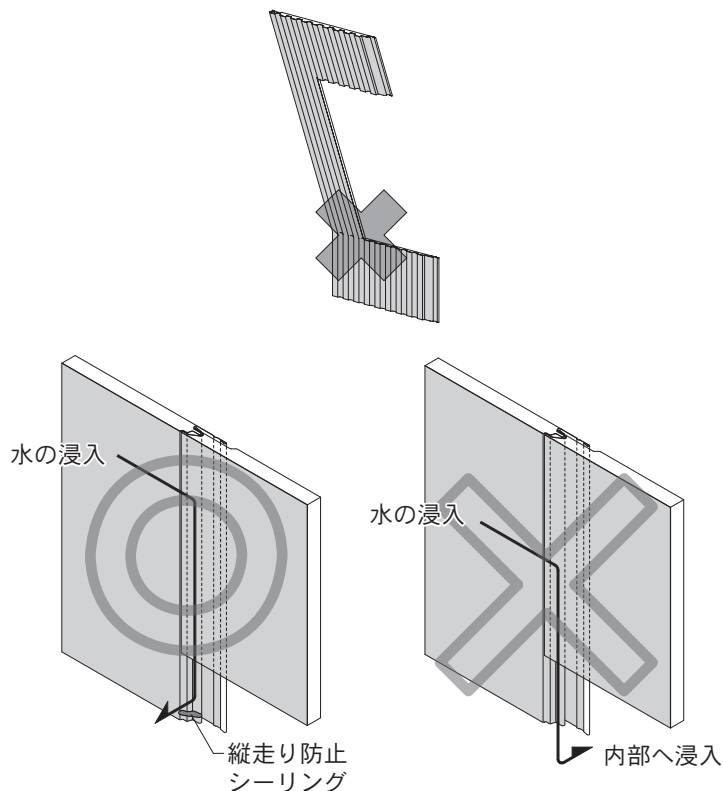
3) 開口部：本体の施工

・本体の切断と施工

割り付けを行って無理な力がかからないように施工してください。無理に押し込むとゆがみの原因になります。しん材が破損した本体は使用しないでください。

・縦走り防止シーリング

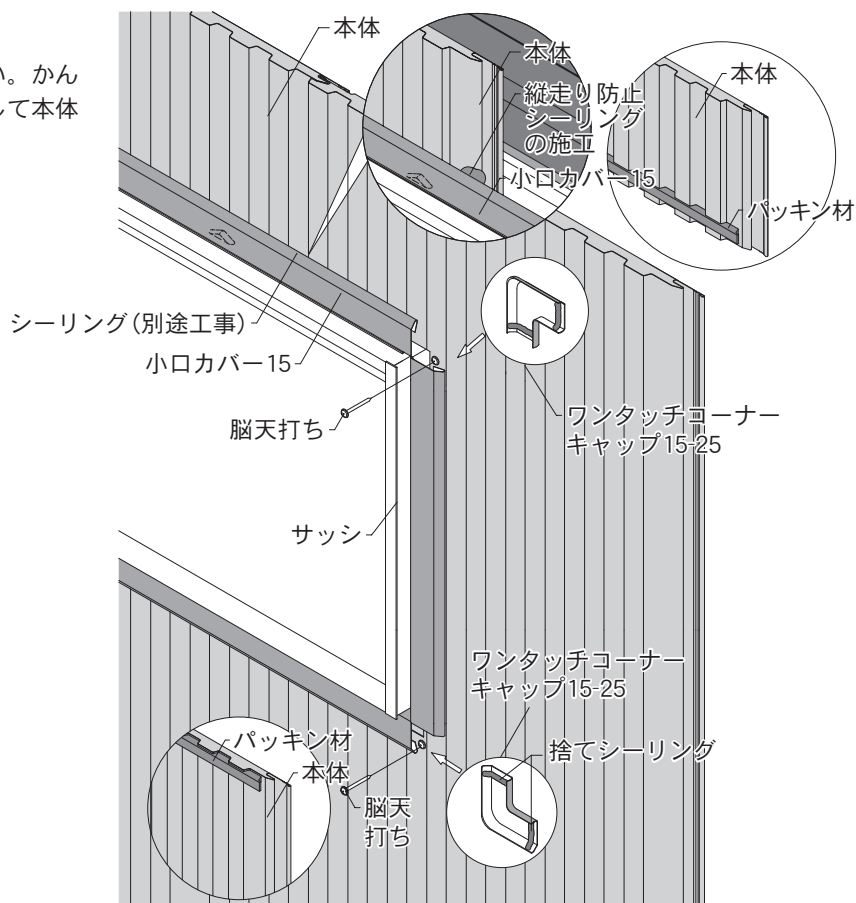
開口部上に、小口カバー15を使用する場合は、本体端部からの雨水の浸入を防ぐため、本体一枚ごとに縦走り防止シーリングを施工してください。



・縦走り防止シーリングは、本体の施工後に部材と本体の間に行うシーリング（別途工事）とつながるように施工してください。

・本体胴天打ちの留め付け

本体は、必ず胴縁に留め付けてください。かん合部を切り欠いた場合は、胴天打ちをして本体を胴縁に留め付けてください。



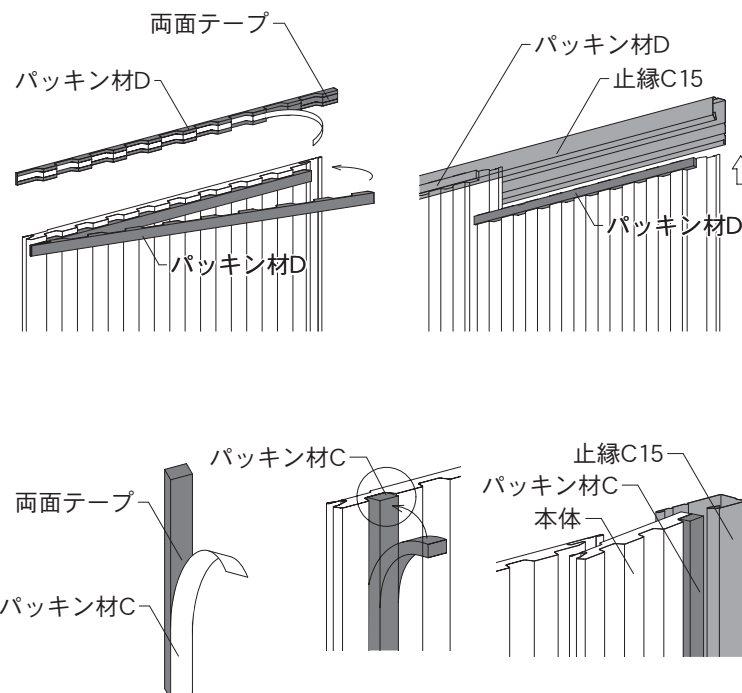
5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

4) パッキン材の施工

- SP-ガルスパンは、本体の形状に合わせたシーリングのバックアップ材をラインナップしています。使用する箇所を納まり図で確認し、必要に応じて貼り付けてください。
- 両面テープがついていますので、施工する際に紙をはがし、本体に貼り付けて施工してください。
- 止縁C15の場合は、本体にパッキン材を貼り付けてから止縁C15に差し込んでください。本体の施工後に、キャップ部材を施工する箇所は、本体施工後に貼り付けも可能です。



商品名	本体 1 枚ごと	長手方向
SP-ガルスパン	パッキン材D	パッキン材C

③後付け部材の施工

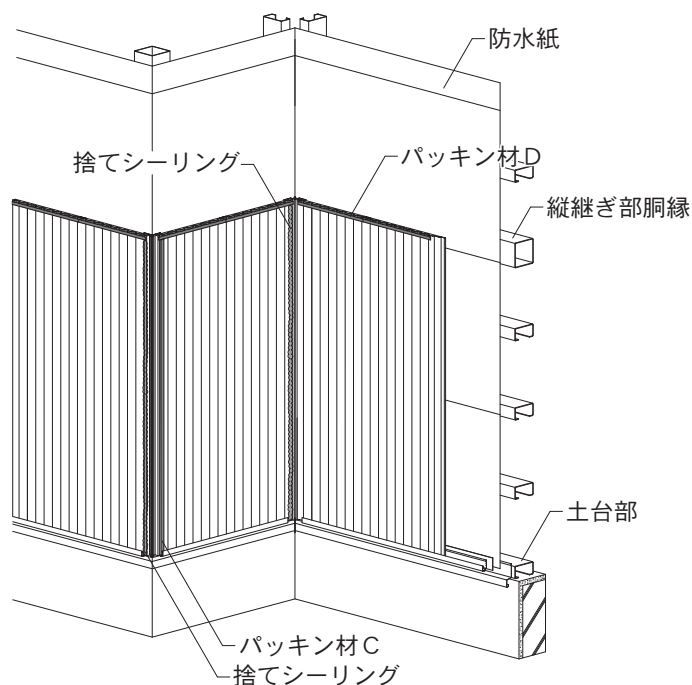
1) 捨てシーリングの施工

- 指定箇所に捨てシーリングを施工してから、後付け部材を施工してください。

施工順序	部位	部材名
1	出隅部	3M/4M出隅キャップ15-25
2	入隅部	入隅キャップ15-25S 止縁キャップC15

2) 部材の加工方法 (P136~参照)

- 各部位に合わせて部材を加工してください。部材の端部には、切り欠き加工がされています。



5. たて張りの施工

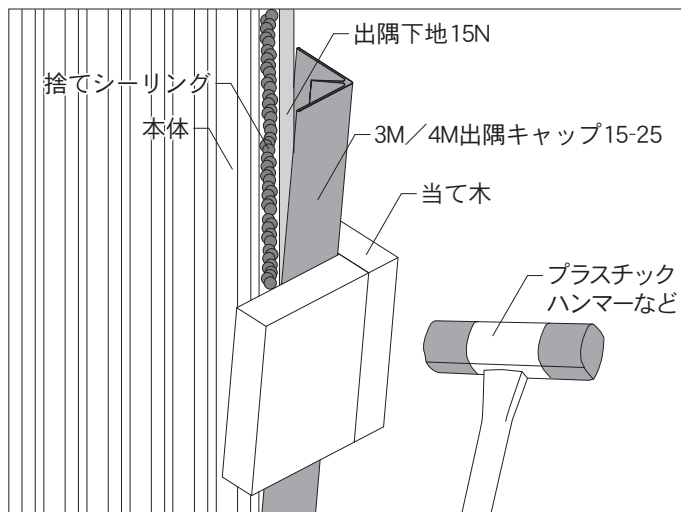
5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

3) キャップ部材の施工

- 出隅キャップが出隅下地15Nにはまりにくい場合は、当て木の上からプラスチックハンマーなどで出隅キャップを下から順にたたいて、はめてください。はめた後は、出隅キャップを軽く引っ張り、がたついたり出隅下地15Nから抜けたりしないことを確認してください。
入隅キャップ15-25S、止縁キャップも同様に確認してください。

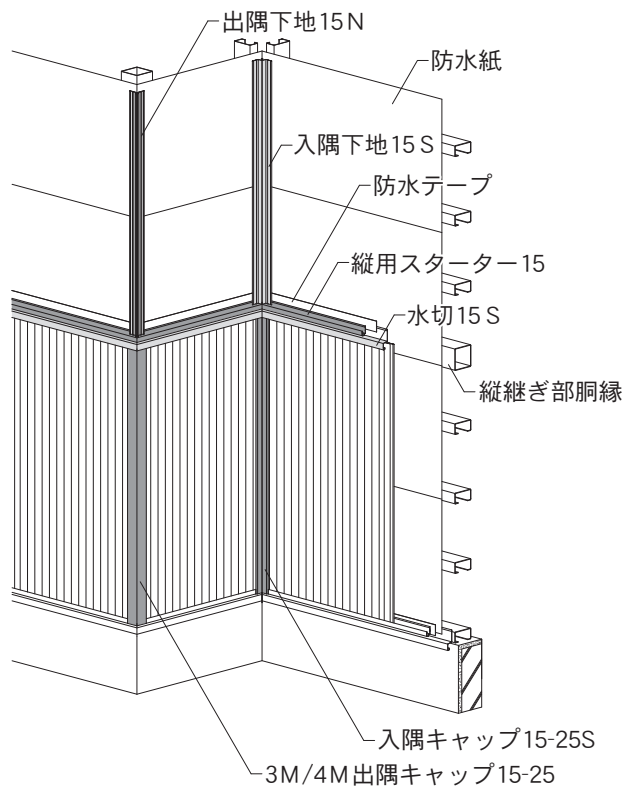


④先付け部材の施工（縦継ぎ部）

1) 部材の施工順序

- 本体の高さに合わせて、下から順に取り付けてください。

施工順序	部位	部材名
1	縦継ぎ部	水切15S
	軒部	止縁C15または止縁捨板
2	出隅部	出隅下地15N
3	入隅部	入隅下地15S
		止縁C15または止縁捨板
4	縦継ぎ部	縦用スターター15



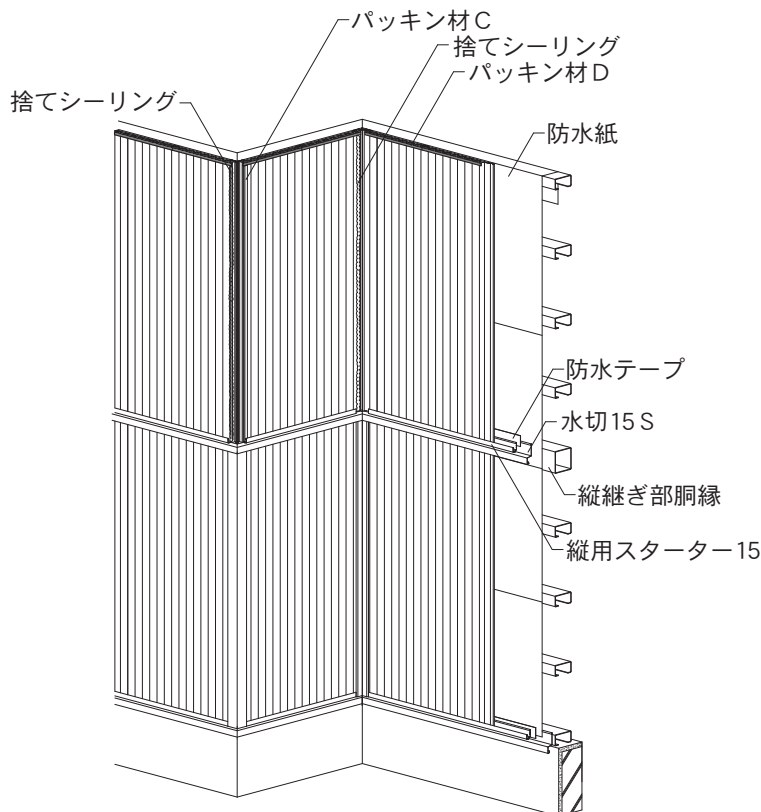
5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

⑤本体の施工（縦継ぎ部上）

- ・各部位に、先付け部材が施工されていることを確認してから、本体を施工してください。
- ・施工方法は、②本体の施工と同様です。
かん合目地がそろるように、墨出し線に合わせて施工してください。

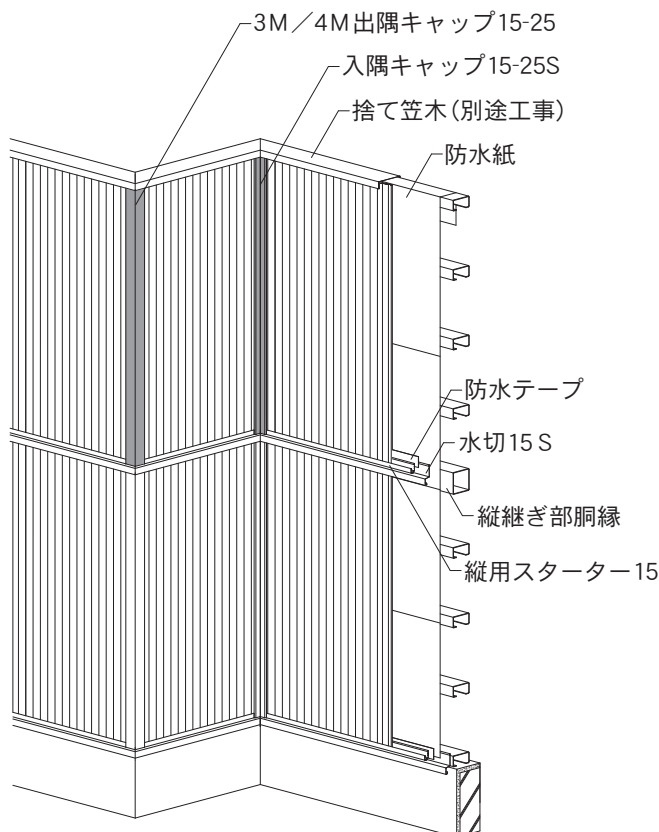


⑥後付け部材の施工（縦継ぎ部上）

- 1) 部材の施工順序
- ・本体の高さに合わせて、下から順に取り付けてください。

施工順序	部位	部材名
1	軒部	止縁キャップC15
2	出隅部	3M／4M出隅キャップ15-25
3	入隅部	入隅キャップ15-25S
		止縁キャップC15

- 2) 捨てシーリングの施工
- ・指定箇所に捨てシーリングを施工してから、後付け部材を施工してください。



5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

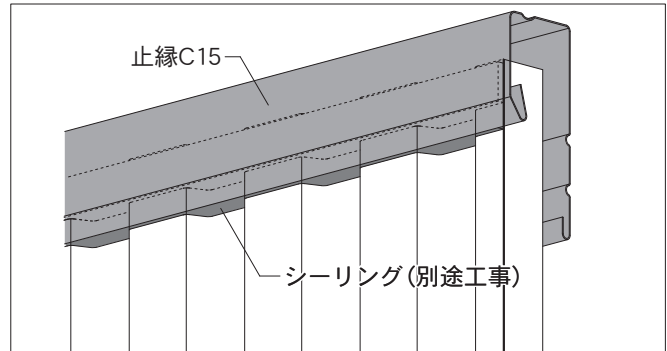
単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

⑦シーリングの施工

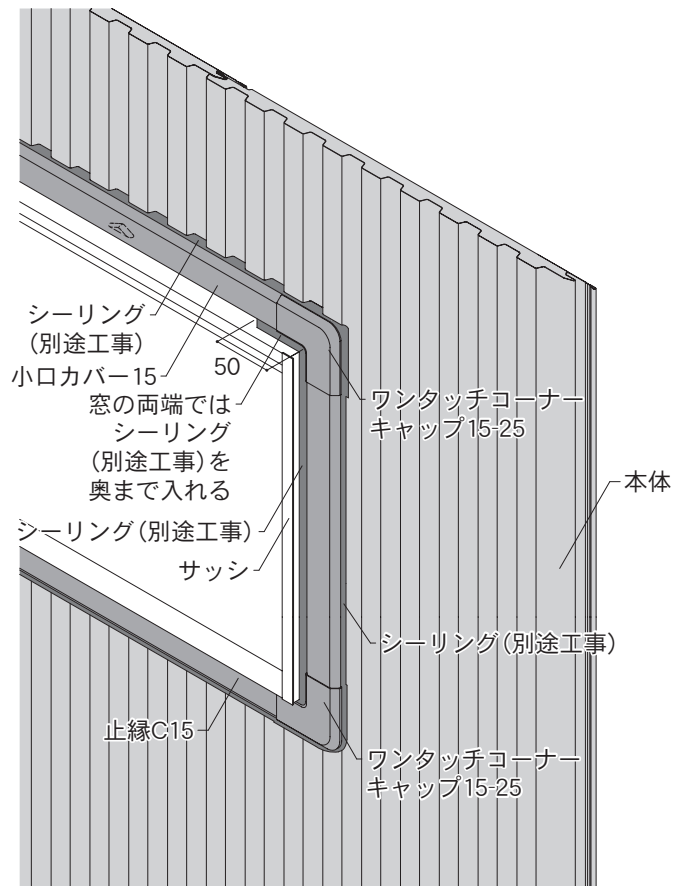
1) シーリングを施工する位置

- ・ 本体と部材の間
雨水の浸入を防ぐため、5-2各部位の納まり図 (P41～) を参照し、シーリングを施工してください。
- ・ 脳天打ちしたビス頭には、シーリングを施工してください。
- ・ シーリングを施工する際の注意
シーリングは、接着面が乾燥している状態で施工してください。接着面が高温の場合には、施工を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどにも注意してください。



2) 開口部

- ・ 部材とサッシの間、本体と部材の間
すき間から雨水の浸入を防ぐため、5-2各部位の納まり図 (P41～) を参照し、シーリング (別途工事) を施工してください。
- ・ 小口カバー15とサッシの間 (開口部上) 左右両端50mm程度にシーリング (別途工事) を奥まで入れてください。



⑧補修・点検・片づけ

- ・ キズがあった場合は、タッチアップペイントで補修してください。
- ・ 後付け部材が先付け部材にはまっていることを確認してください。

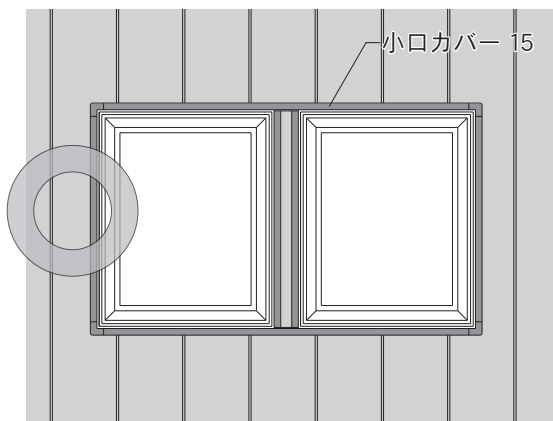
5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライトⅡ（たて張り）の場合

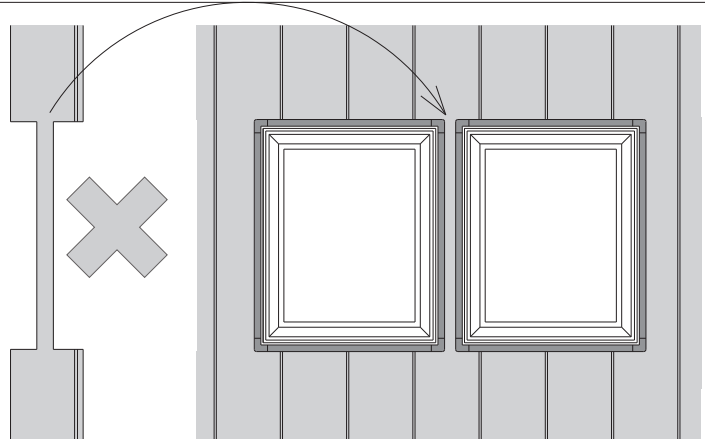
①本体の切り欠き方の制限

- ・1枚の本体の両側を切り欠かないでください。

例えば連窓の場合は連窓上下で縁切りする割り付けにし、本体の両側を切り欠くことがないようにしてください。本体の片側を切り欠く場合も、本体の強度が著しく損なわれるような切り欠きは避けてください。



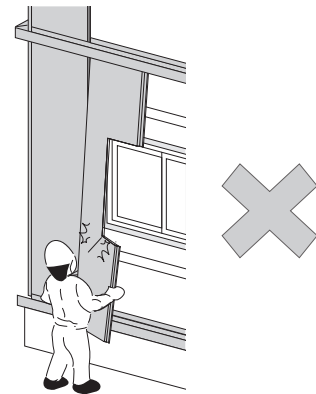
連窓上下に部材を通して、本体の両側を切り欠かないで施工してください。



本体の両側を切り欠いて施工しないでください。

②開口部での部材の施工

- ・開口部に切り欠いた本体を施工する場合、部材は止縁キャップC15と止縁捨板を使用してください。止縁C15を使用した場合、たて張りの窓脇では、止縁C15に差し込むために本体を変形させるか止縁C15を広げる必要があり、歪の原因になります。



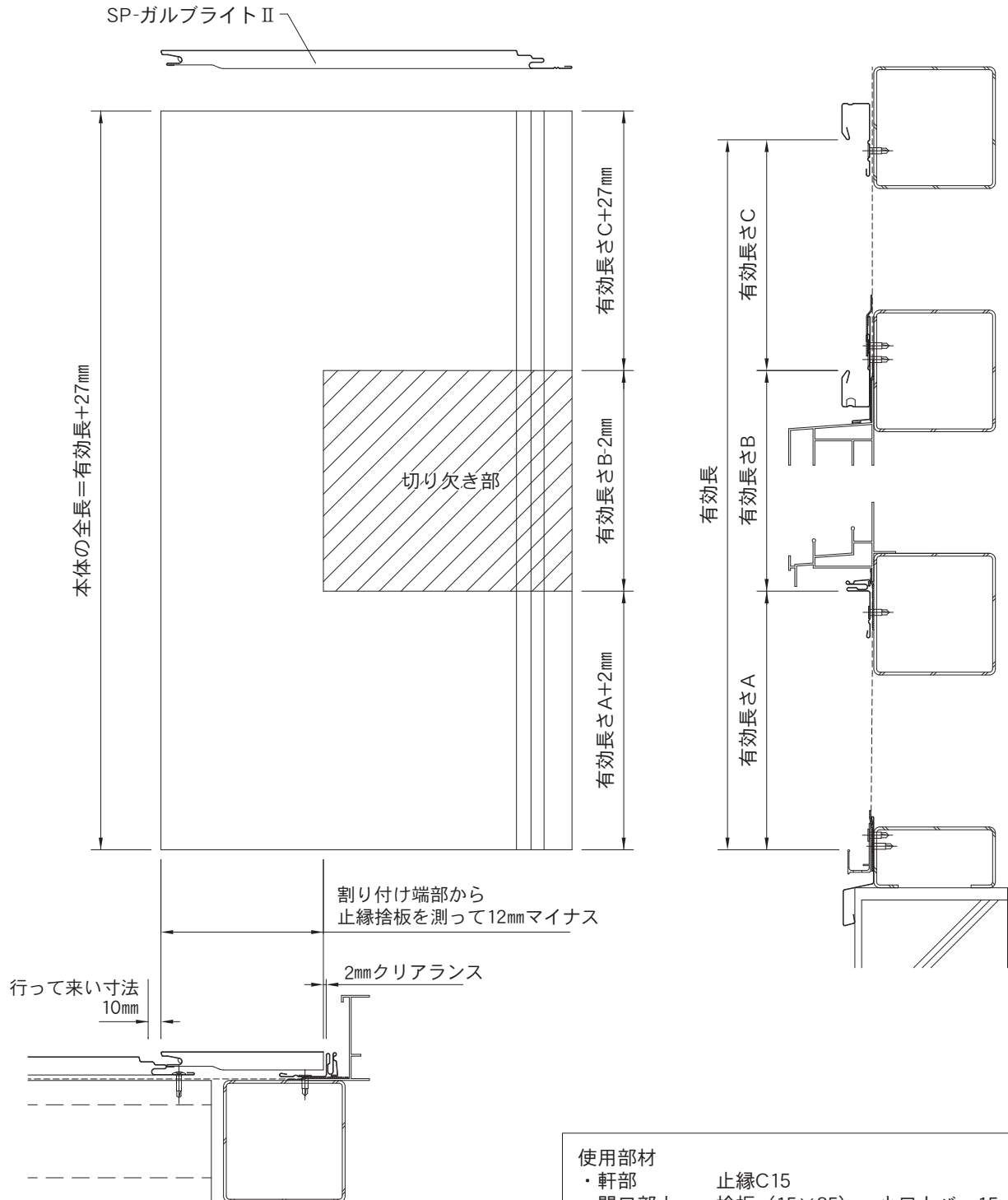
5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライトⅡ（たて張り）の場合

③本体の留め付け部を切り欠いて施工する場合の寸法取りについて

- ・本体の留め付け部側を切り欠いて開口部左右に施工する場合、次の寸法で加工してください。
寸法を確認し本体をひねったりねじったりせずに部材へ納めてください。



使用部材

- ・ 軒部 止縁C15
- ・ 開口部上 捨板（15×85）、小口カバー15
- ・ 開口部下 止縁キャップC15、止縁捨板
- ・ 開口部左右 止縁キャップC15、止縁捨板
- ・ 土台部 縦用スターター15またはアルミ縦用スターター15

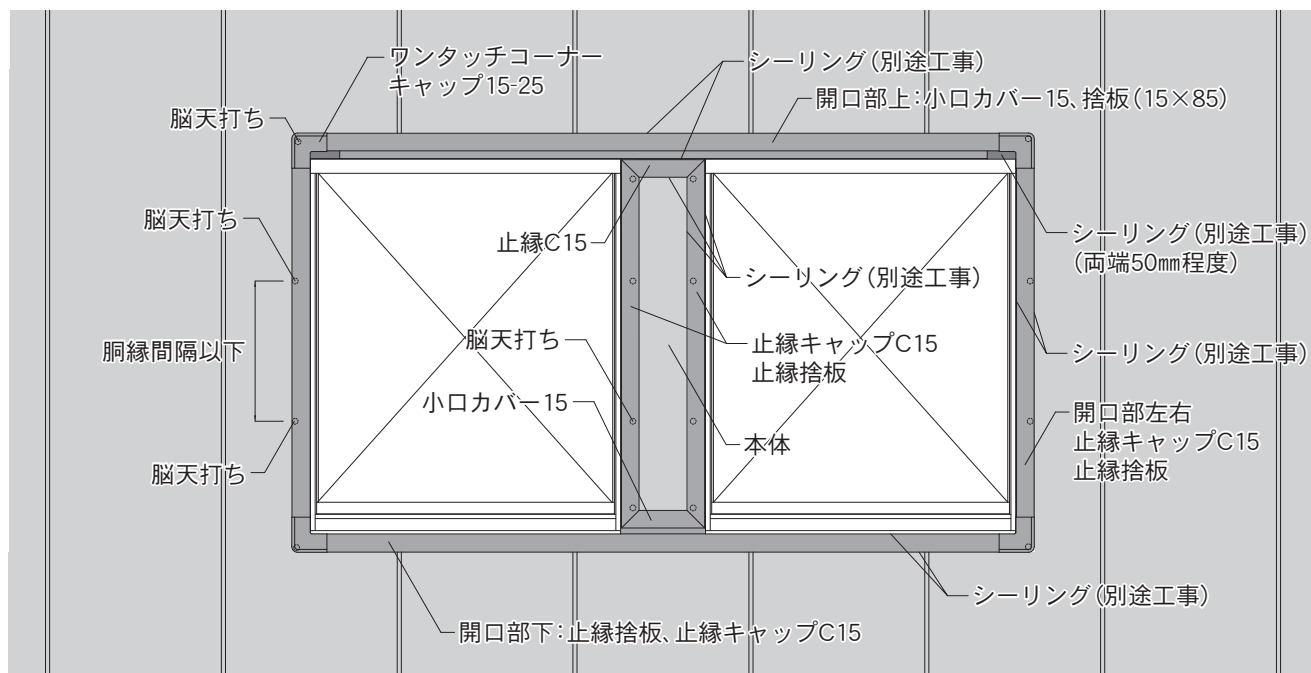
5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライトⅡ(たて張り)の場合

④連窓中間部の納め方

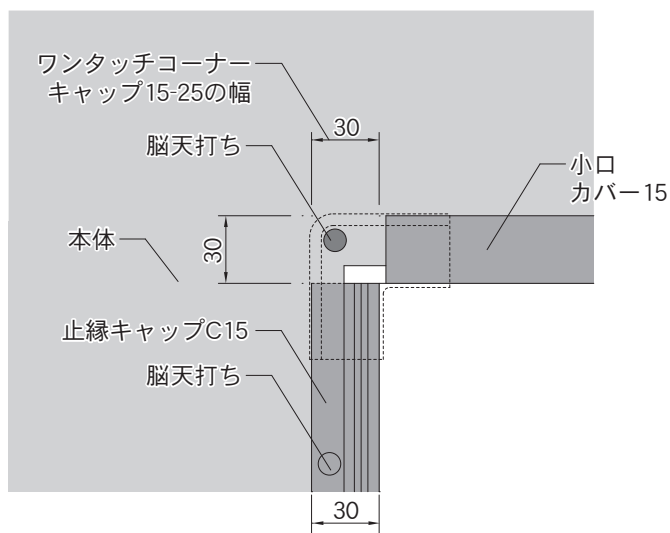
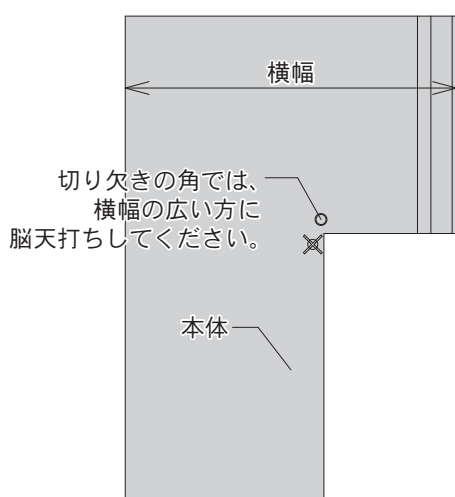
- ・サッシに標準部材として目板がある場合は目板を取り付けてください。または次のように本体と部材を加工してください。脳天打ちは、ドリルビス（シンワッシャー）4×30以上を使用してください。

1) 小口カバー15と止縁捨板、止縁キャップC15を使用する場合



■切り欠いたSP-ガルブライトⅡに脳天打ちをする位置

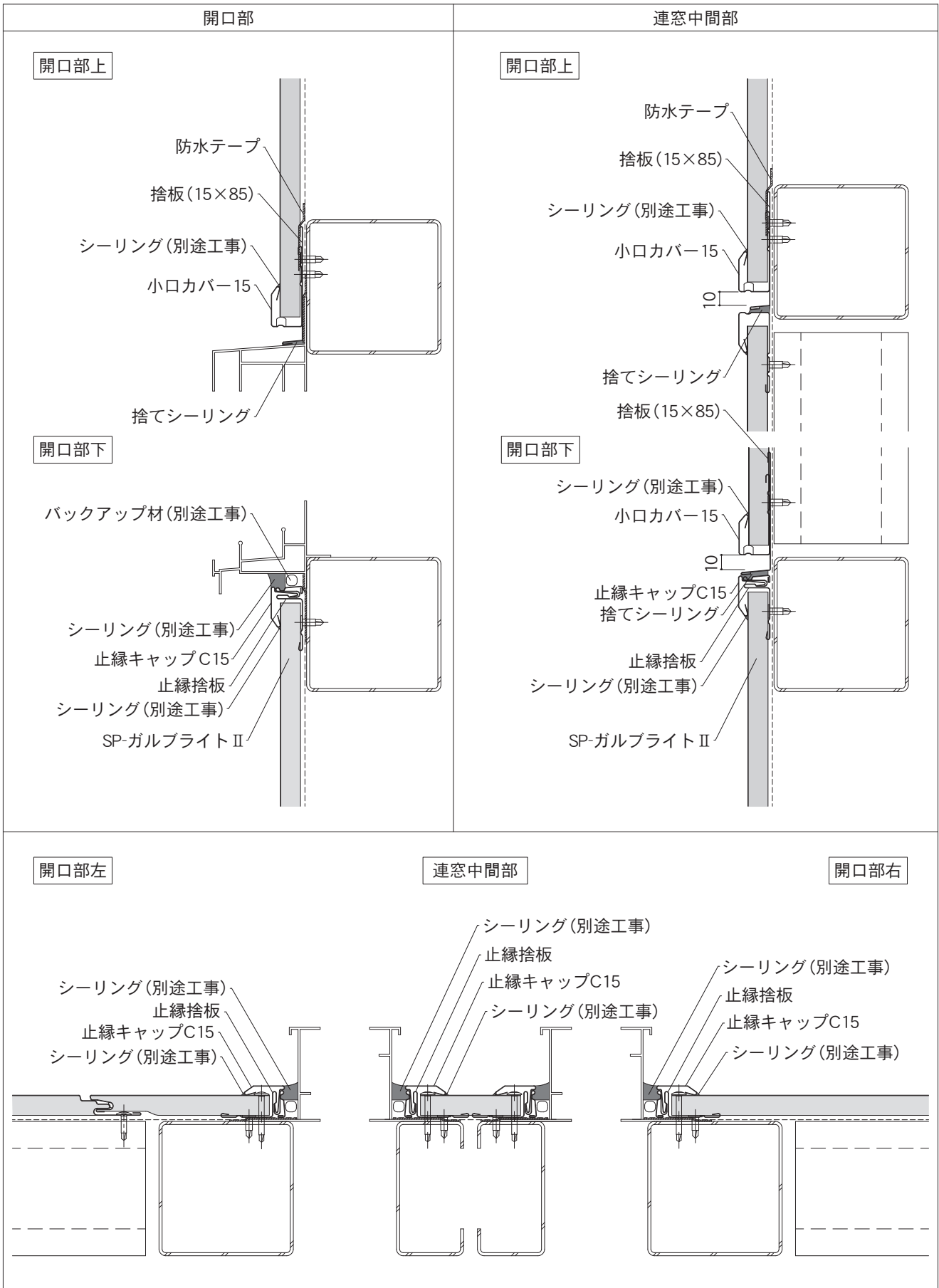
- ・角部に脳天打ちを施工する場合は、ワンタッチコーナーキャップ15-25で隠れる位置に脳天打ちしてください。
- ・本体のビス打ち部を切り欠いた所に脳天打ちする場合は、止縁キャップC15で隠れるよう留め付けてください。



5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライト II (たて張り) の場合



5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライトⅡ（たて張り）の場合

5-1-4. SP-ガルブライトⅡ(たて張り)の場合

2) 本体を箱折し、止縁捨板／止縁キャップC15で納める場合
連窓中間部の両脇：止縁捨板と止縁キャップC15
連窓中間部の上下：本体箱折（止縁キャップC15の端部は箱折加工）

2) 本体を箱折し、止縁捨板／止縁キャップC15で納める場合
連窓中間部の両脇：止縁捨板と止縁キャップC15
連窓中間部の上下：本体箱折（止縁キャップC15の端部は箱折加工）

2) 本体を箱折し、止縁捨板／止縁キャップC15で納める場合
連窓中間部の両脇：止縁捨板と止縁キャップC15
連窓中間部の上下：本体箱折（止縁キャップC15の端部は箱折加工）



■端部箱折について

連窓中間部の本体を施工する際は、表面鋼板を折り曲げ箱折加工を施してください。しん材には、シーリングが着着しませんので注意してください。止縁キャップC15も同じく端部箱折し、シーリング幅を確保してください。サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。

■端部箱折について

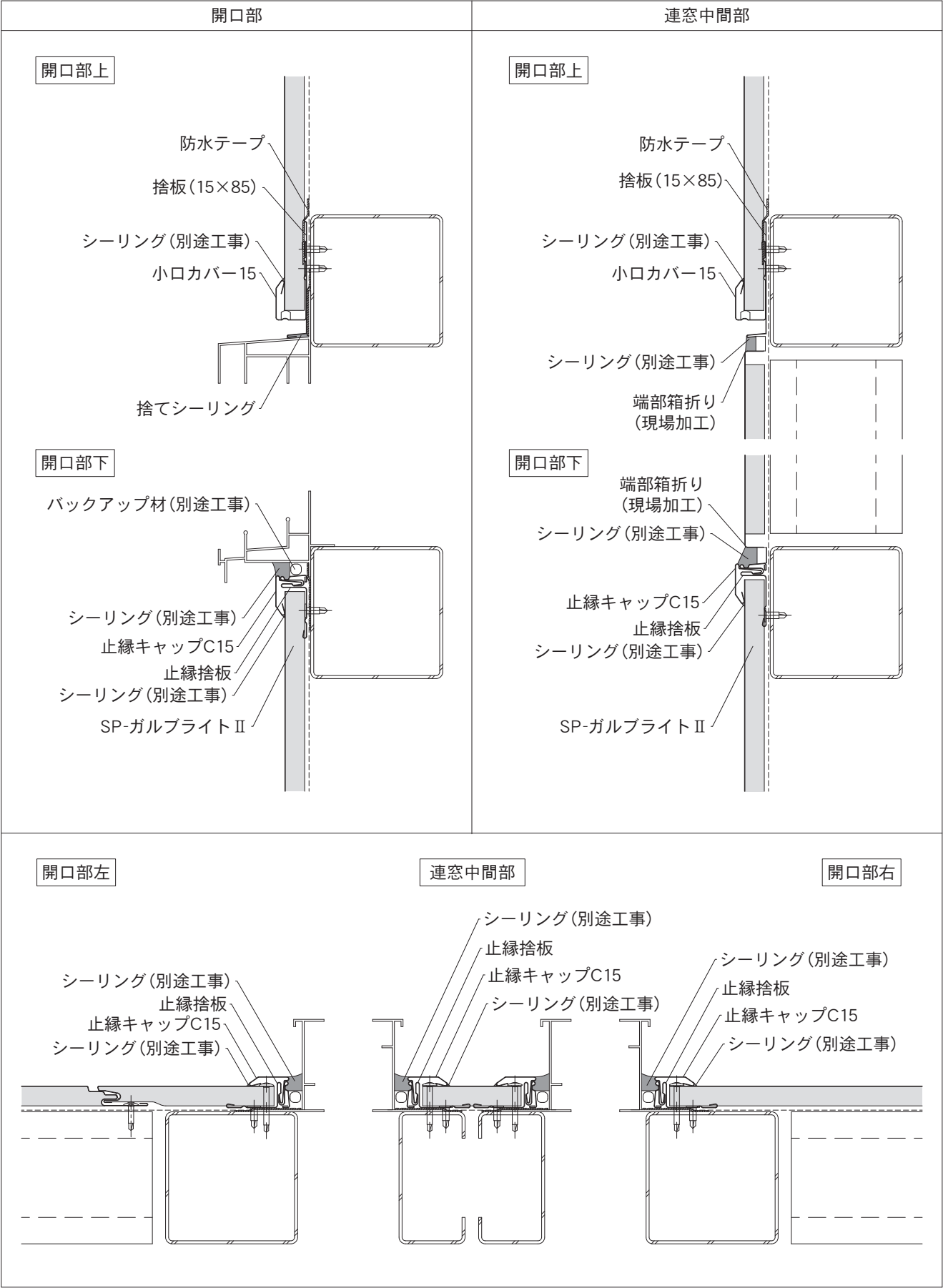
連窓中間部の本体を施工する際は、表面鋼板を折り曲げ箱折加工を施してください。しん材には、シーリングが着着しませんので注意してください。止縁キャップC15も同じく端部箱折し、シーリング幅を確保してください。サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。



5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライト II (たて張り) の場合



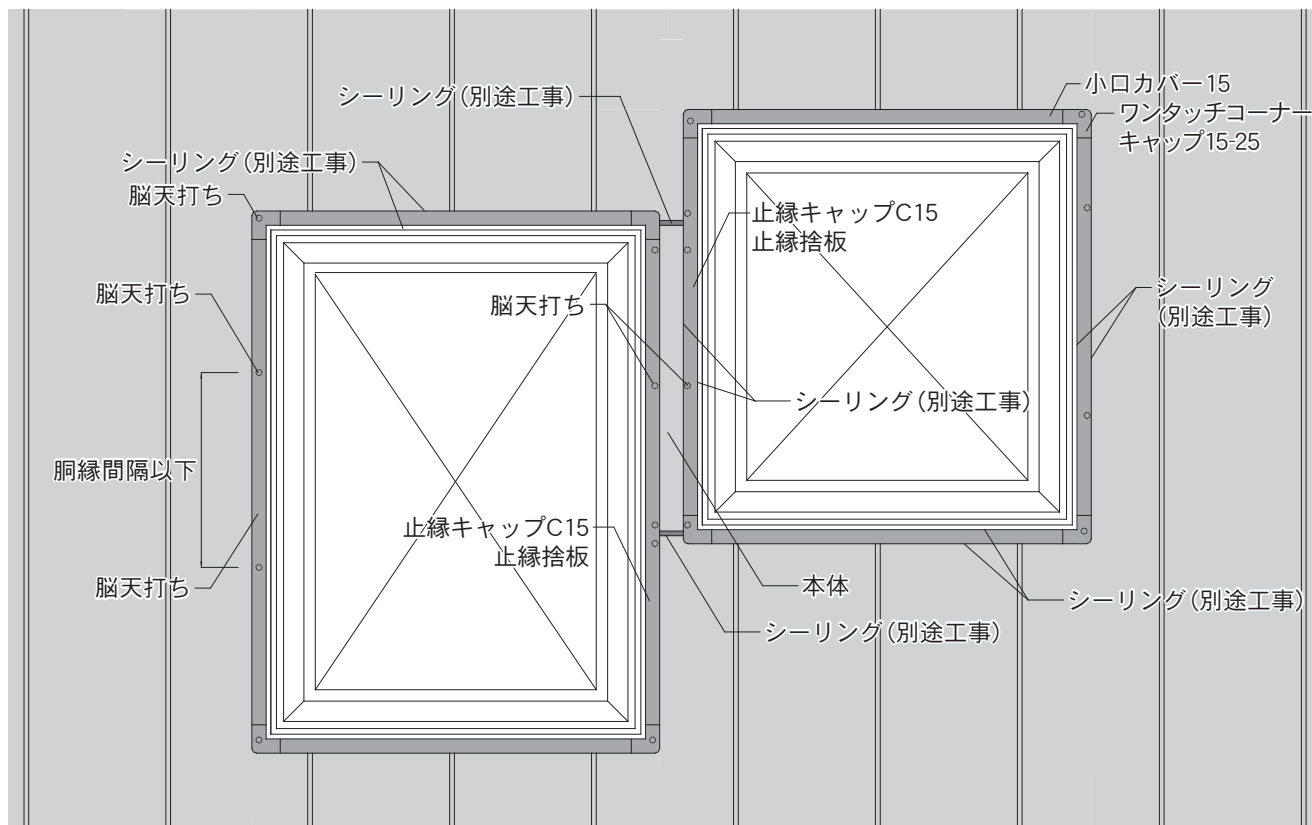
5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライトⅡ（たて張り）の場合

3) 連窓が段違いの場合

連窓が段違いの場合は、中間部の本体の端部を箱折りし、シーリング（別途工事）を施工してください。

サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。

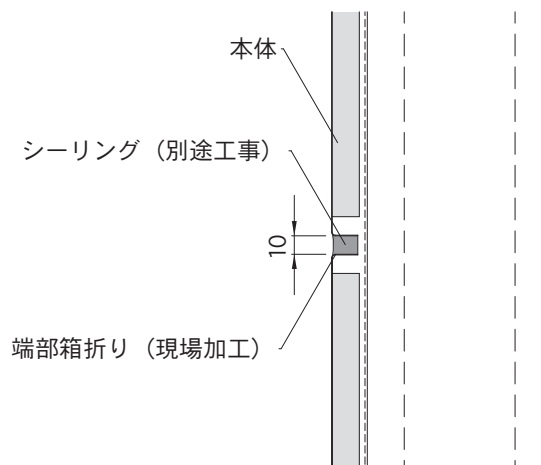


5

施
工
た
て
張
り
の

しん材には、シーリングが接着しませんが、本体の箱折加工を施してください。

サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。



5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

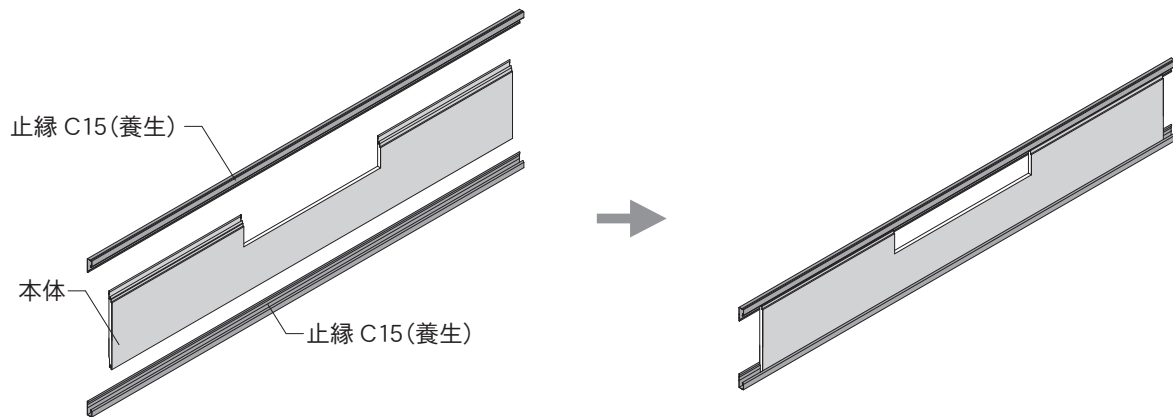
5-1-4. SP-ガルブライトⅡ(たて張り)の場合

⑤切り欠いた本体を運搬するときの取り扱い方法

- ・切り欠いた本体を運ぶときや立てるときは、切り欠いた部分が折れたり変形する可能性がありますので、補強材をあてて運搬してください。
 - ・補強材が本体の表面に当たる部分には、表面鋼板にキズが付かないよう養生し、砂粒、ほこり、切粉などを清掃してからセットしてください。
- (推奨 長さ4m以上の長尺品を立てるときの作業人数は3～4人としてください。)

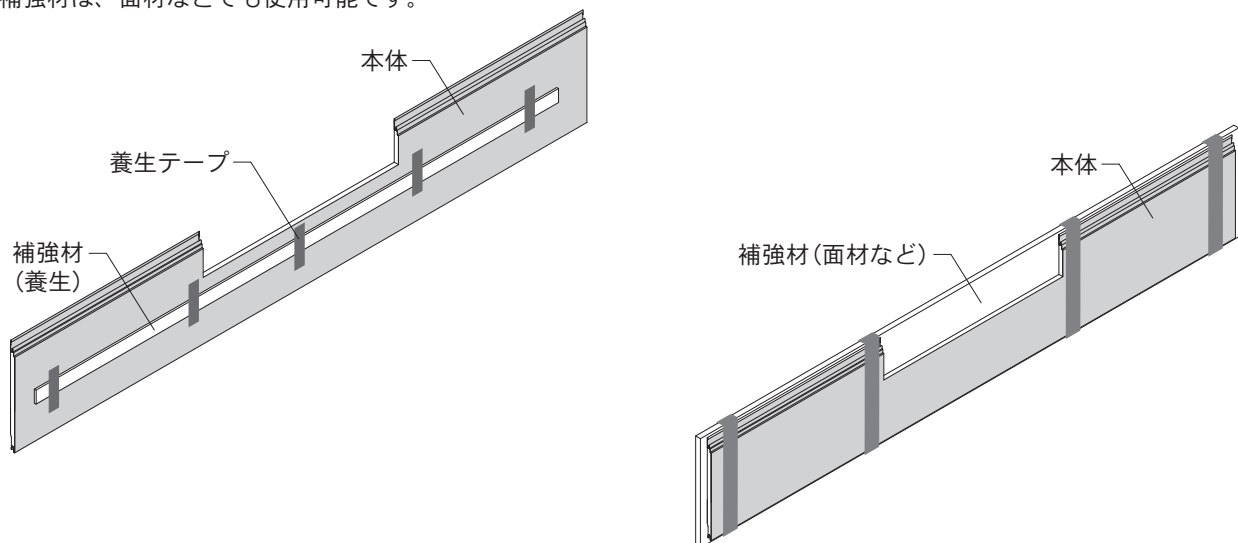
1) 本体の両側を止縁C15で挟み込んで 運搬する方法

- ・本体にキズが付ないように止縁C15は養生してから本体にはめてください。本体から脱落しないよう、止縁C15は固定してください。

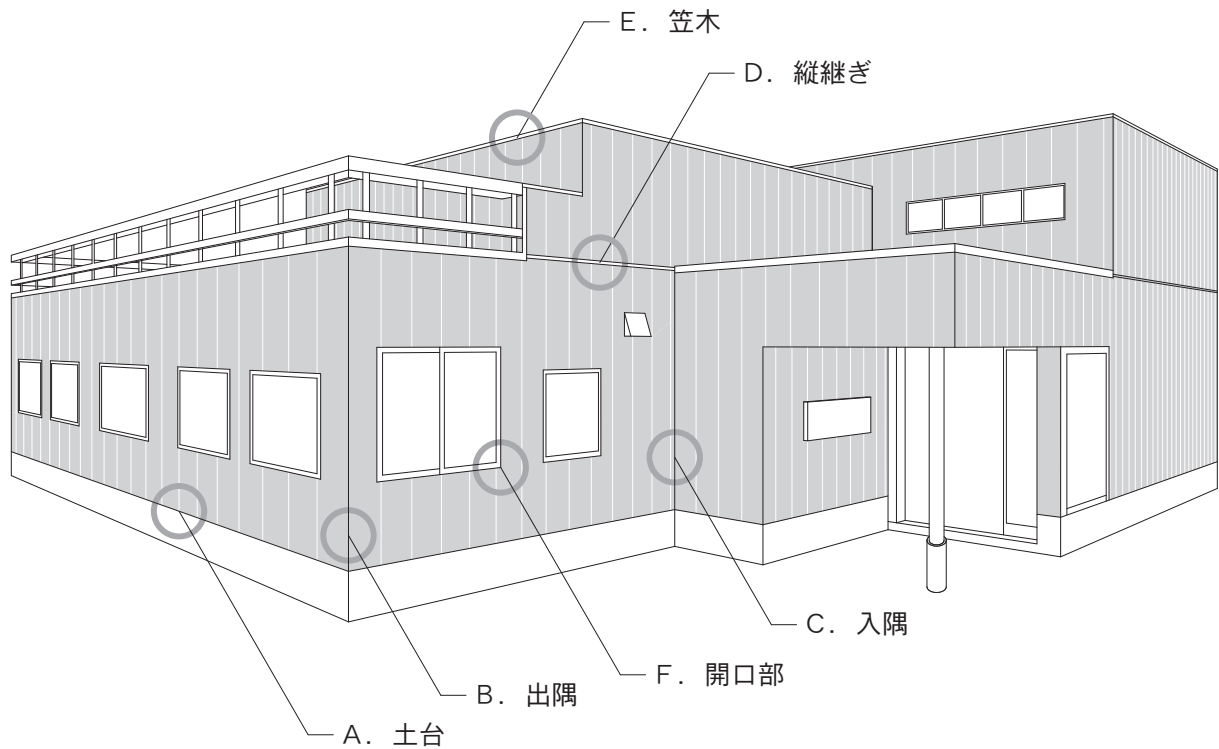


2) 補強材を使用する方法

- ・補強材は胴縁などの細長く、剛性が高く曲がりにくいものを使用してください。
- ・本体にキズが付ないように養生をした補強材を本体の表面鋼板にクロス素材の養生テープ（幅60mm以上）で貼り付けて運搬してください。運搬後、養生テープは慎重に剥がしてください。
- ・補強材は、面材などでも使用可能です。



5-2. 各部位の納まり図



5

施
工
た
て
張
り
の

対象商品

- ・ SP-ガルスパン
- ・ SP-ガルブライトⅡ
- ・ SF-ガルステージシャイン
- ・ 銘壁

納まり図

A. 土台部		P42
B. 出隅部		P43
C. 入隅部		P45
D. 縦継ぎ部		P48
E. 笠木部		P50
F. 開口部		P52

5. たて張りの施工

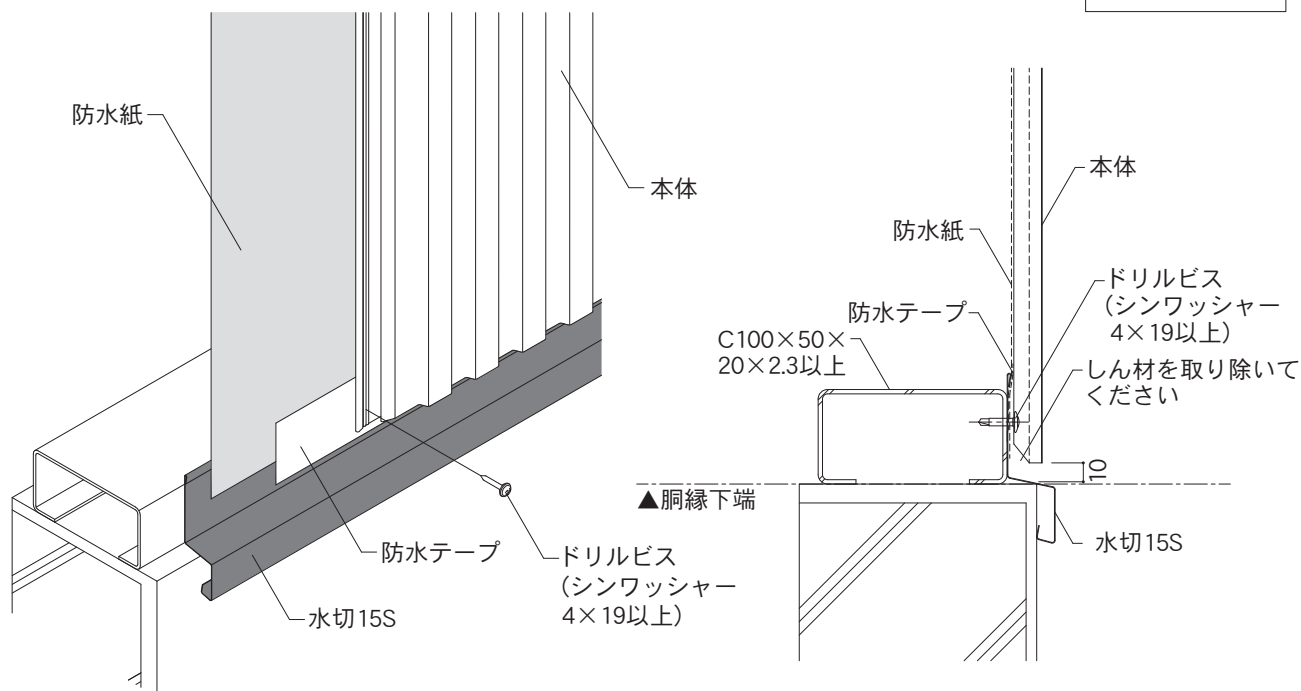
5-2. 各部位の納まり図

A. 土台部

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と水切15Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター15の上に留め付けてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。縦用スターター15は雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします。

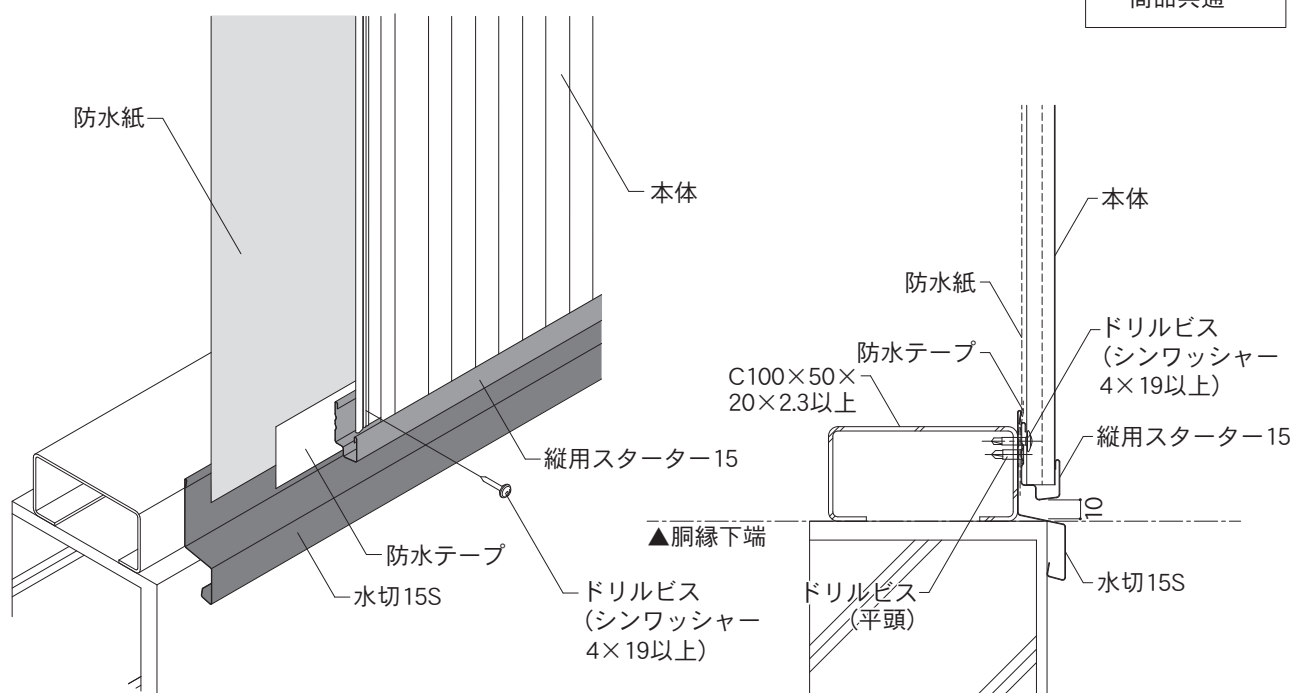
使用部材：水切15S

本頁説明商品
・ 商品共通



使用部材：水切15S・縦用スターター15

本頁説明商品
・ 商品共通



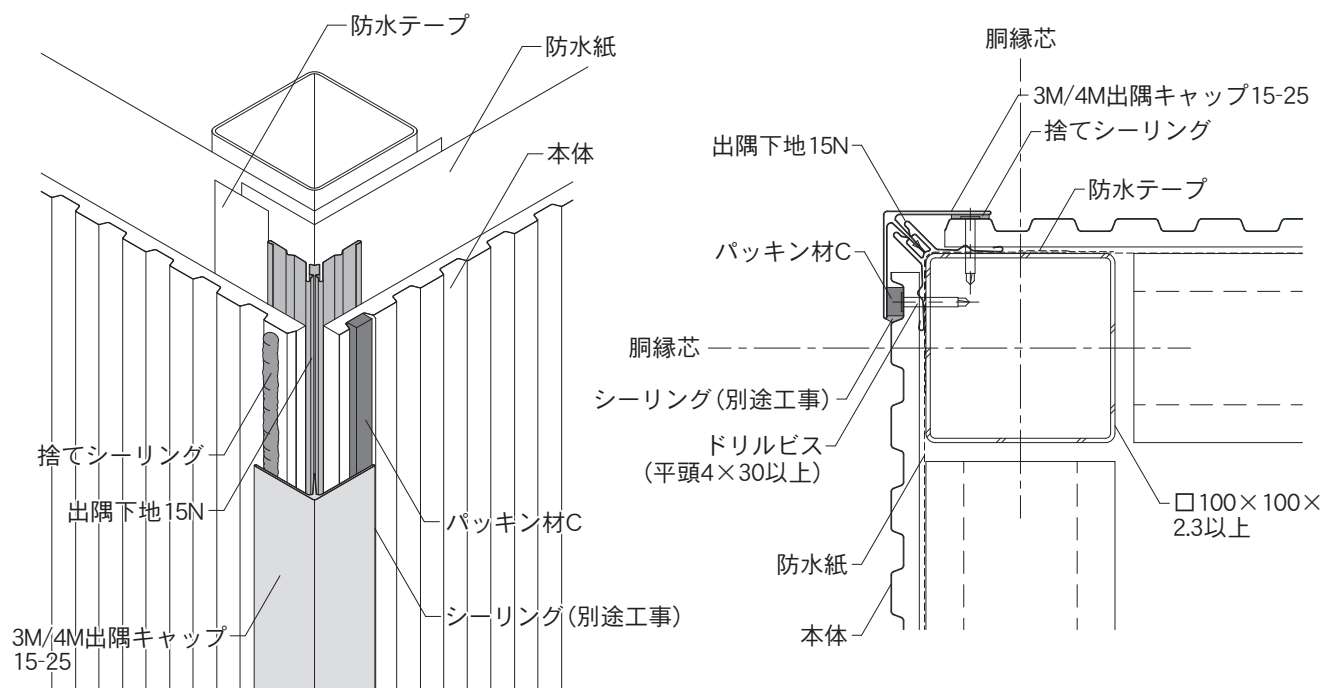
5-2. 各部位の納まり図

B. 出隅部（1）

- ・ 本体凹部と部材が重なる箇所には、パッキン材Cを使用してください。
- ・ 本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、3M/4M出隅キャップ15-25がはまりにくくなりますので、注意してください。
- ・ 3M/4M出隅キャップ15-25は、出隅下地15Nに確実にはめてください。完全にはまらないと脱落するおそれがあります。

使用部材：3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N・パッキン材C

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン

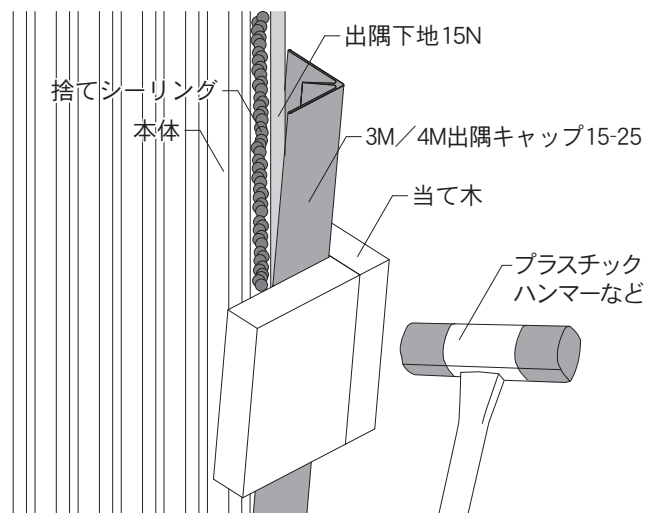
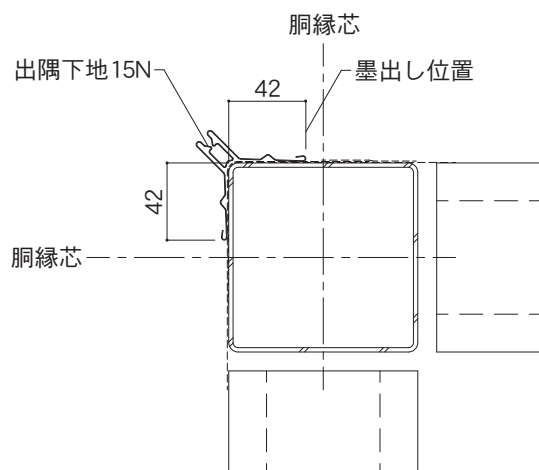


5

施
工
の
順
を
た
て
て
張
り
の
方
法
を
し
め
て
お
き
ま
す。

施工時の確認

- ・ 出隅下地15Nは、ねじれや沈み込みが起こらないように墨出しを行ってから施工してください。
- ・ 3M/4M出隅キャップ15-25が出隅下地15Nにはまりにくい場合は、当て木の上からプラスチックハンマーなどで3M/4M出隅キャップ15-25を下から順にたたいて、はめてください。はめた後は、3M/4M出隅キャップ15-25を軽く引っ張り、がたついたり出隅下地15Nから抜けたりしないことを確認してください。



5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

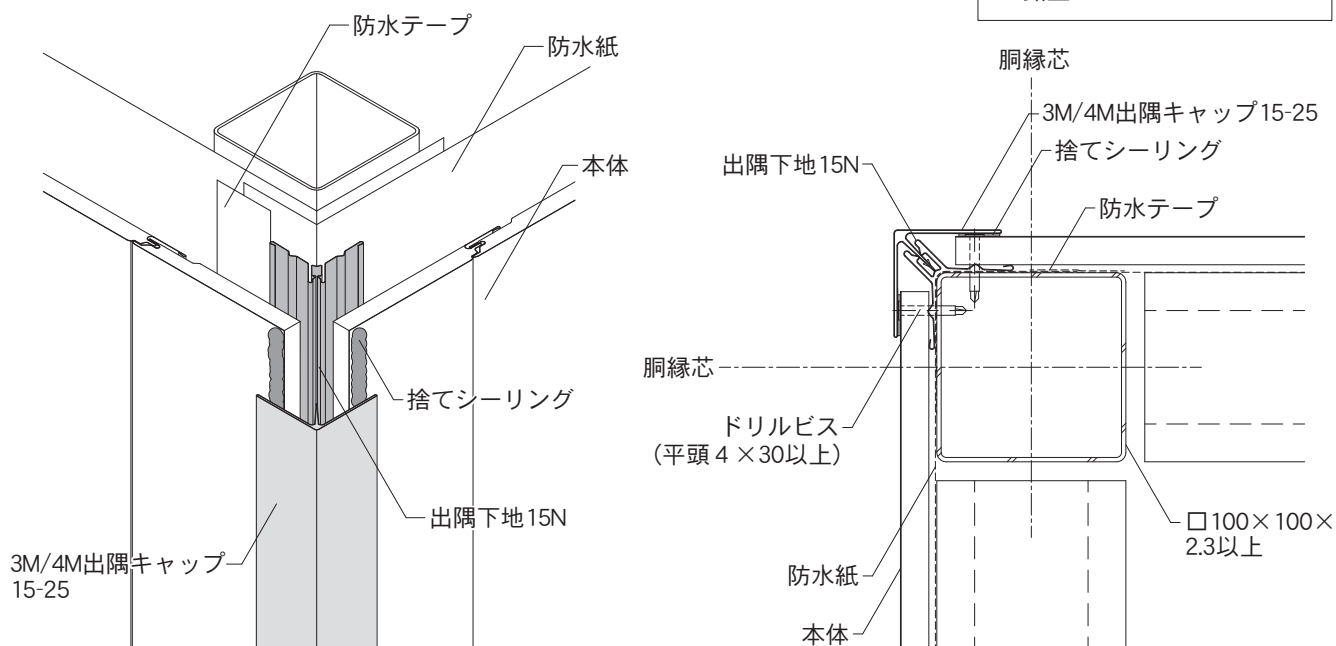
B. 出隅部（2）

- ・ 本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 本体の端部が、出隅下地 15N の中央部にのり上げると、出隅キャップがはまりにくくなりますので、注意してください（P27参照）。
- ・ 出隅キャップは、出隅下地 15N に確実にはめてください。完全にはまらないと脱落するおそれがあります。

使用部材：3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N

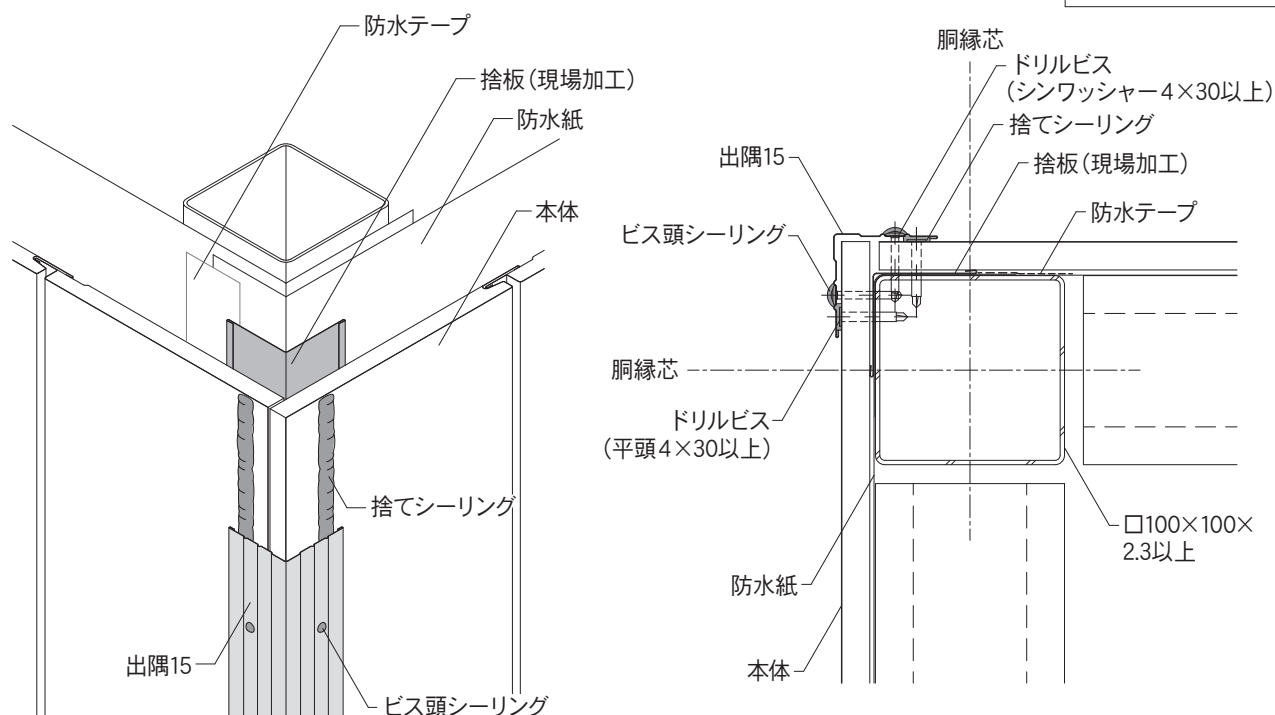
本頁説明商品

- ・ SP-ガルブライトⅡ
- ・ SF-ガルステージシャイン
- ・ 銘壁



使用部材：出隅15

本頁説明商品
・ 銘壁



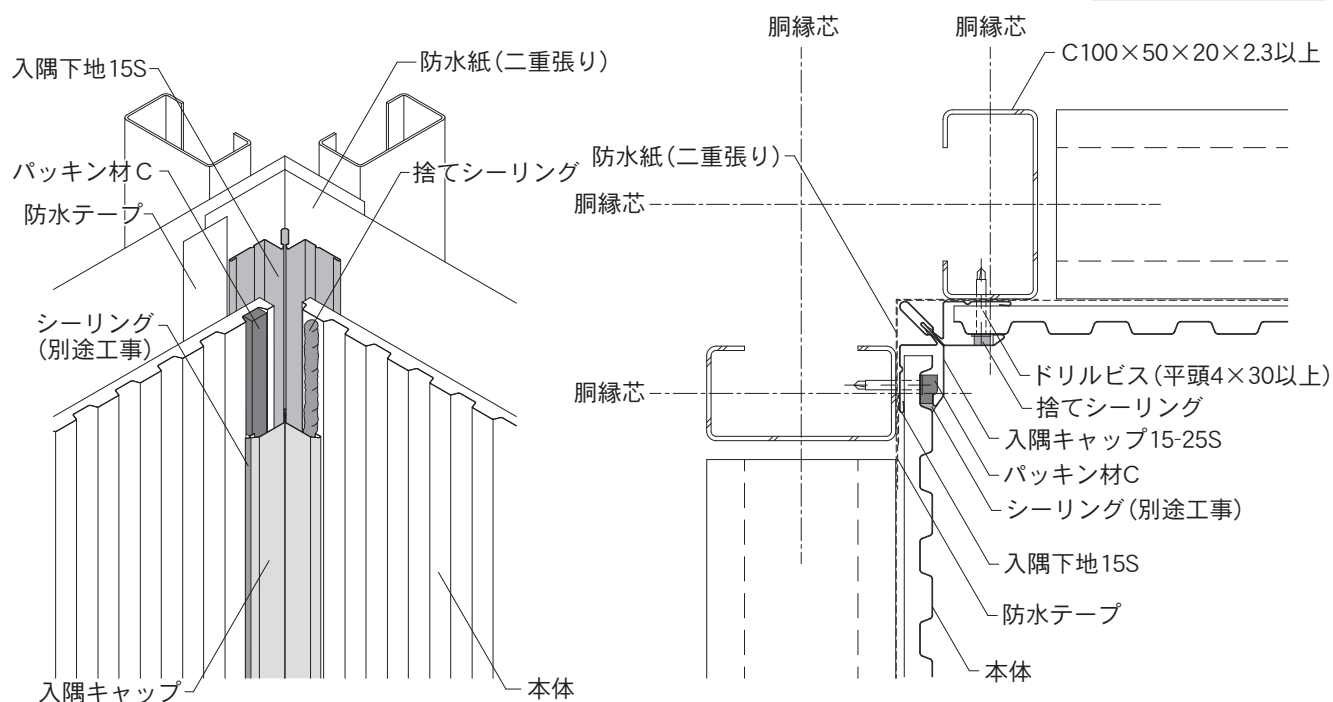
5-2. 各部位の納まり図

C. 入隅部（1）

- ・ 本体凹部と部材が重なる箇所には、パッキン材Cを使用してください。
- ・ 本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S・パッキン材C

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン

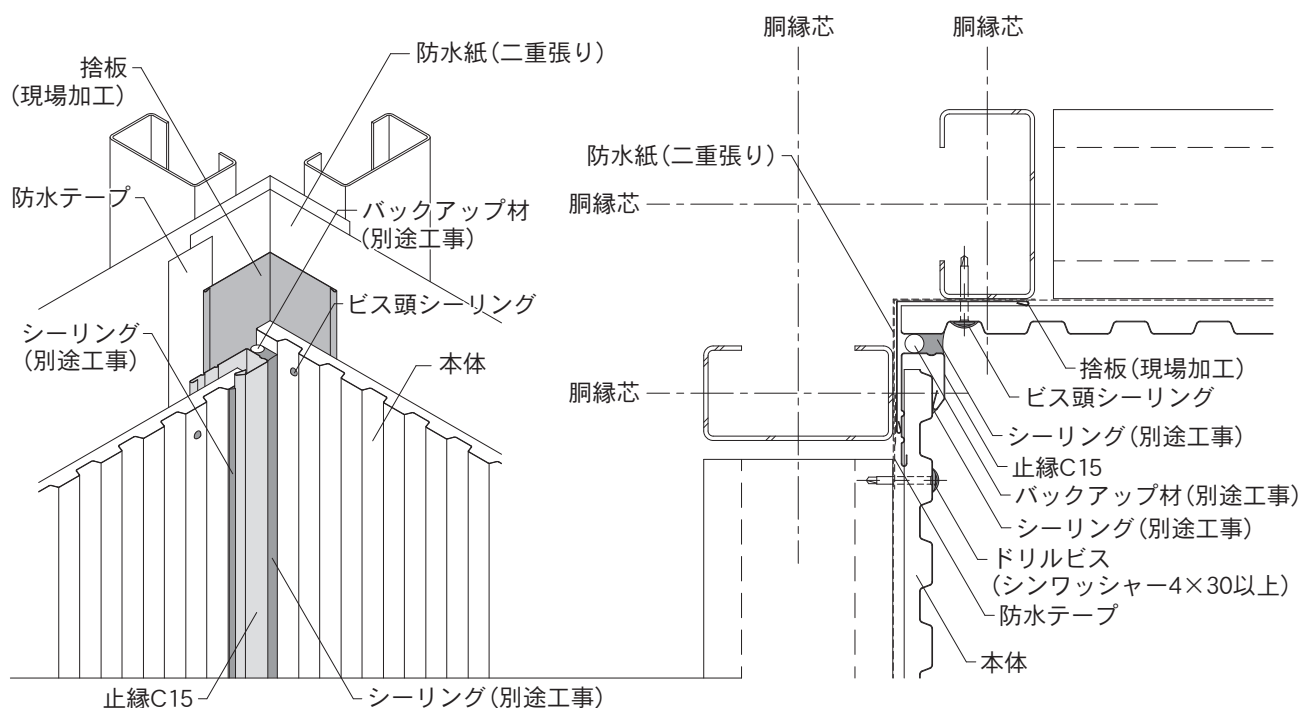


5

施
工
の
た
て
方

使用部材：止縁C15

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン



5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

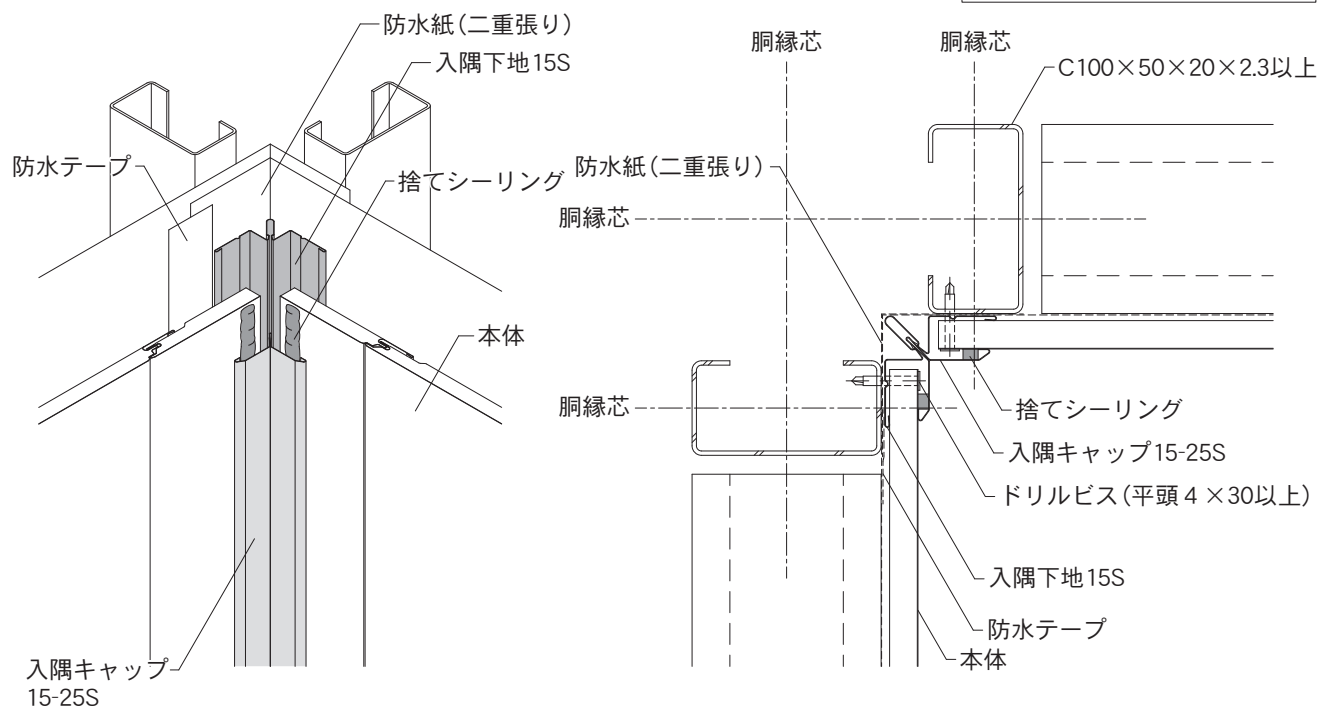
C. 入隅部（2）

・本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S

本頁説明商品

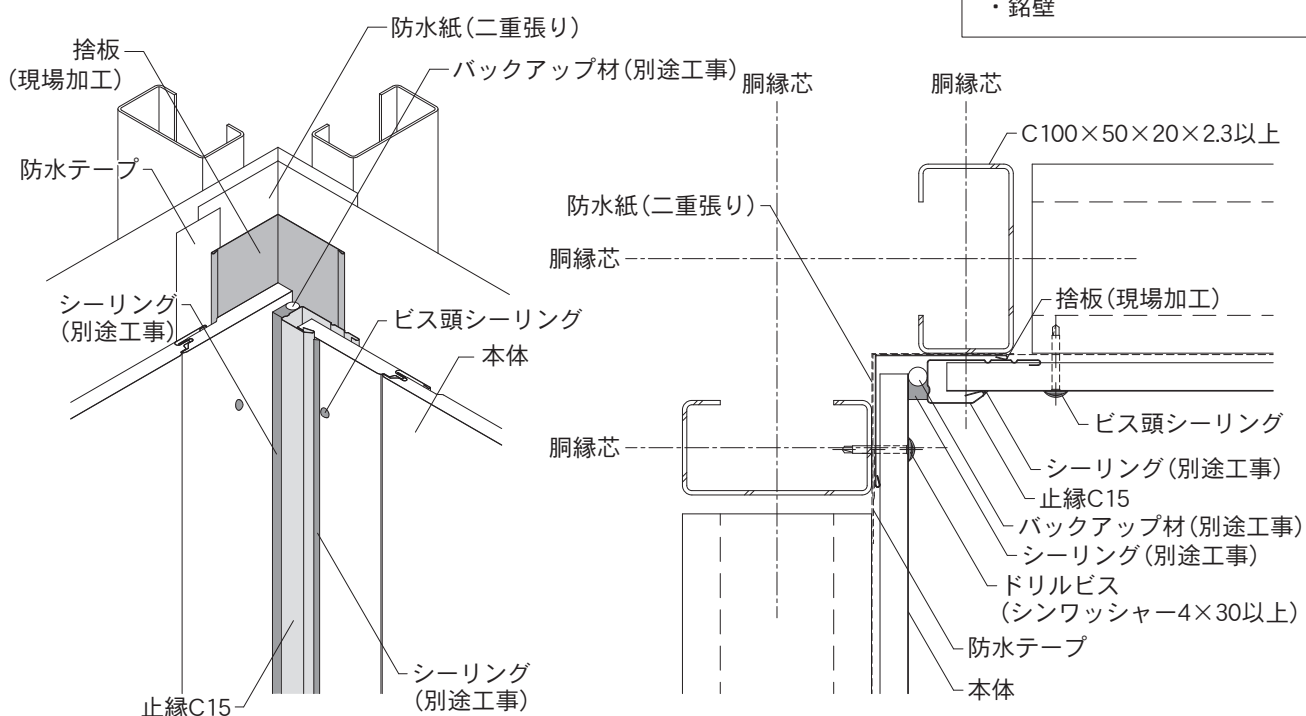
- ・SP-ガルブライトⅡ
- ・SF-ガルステージシャイン



使用部材：止縁C15

本頁説明商品

- ・SP-ガルブライトⅡ
- ・SF-ガルステージシャイン
- ・銘壁



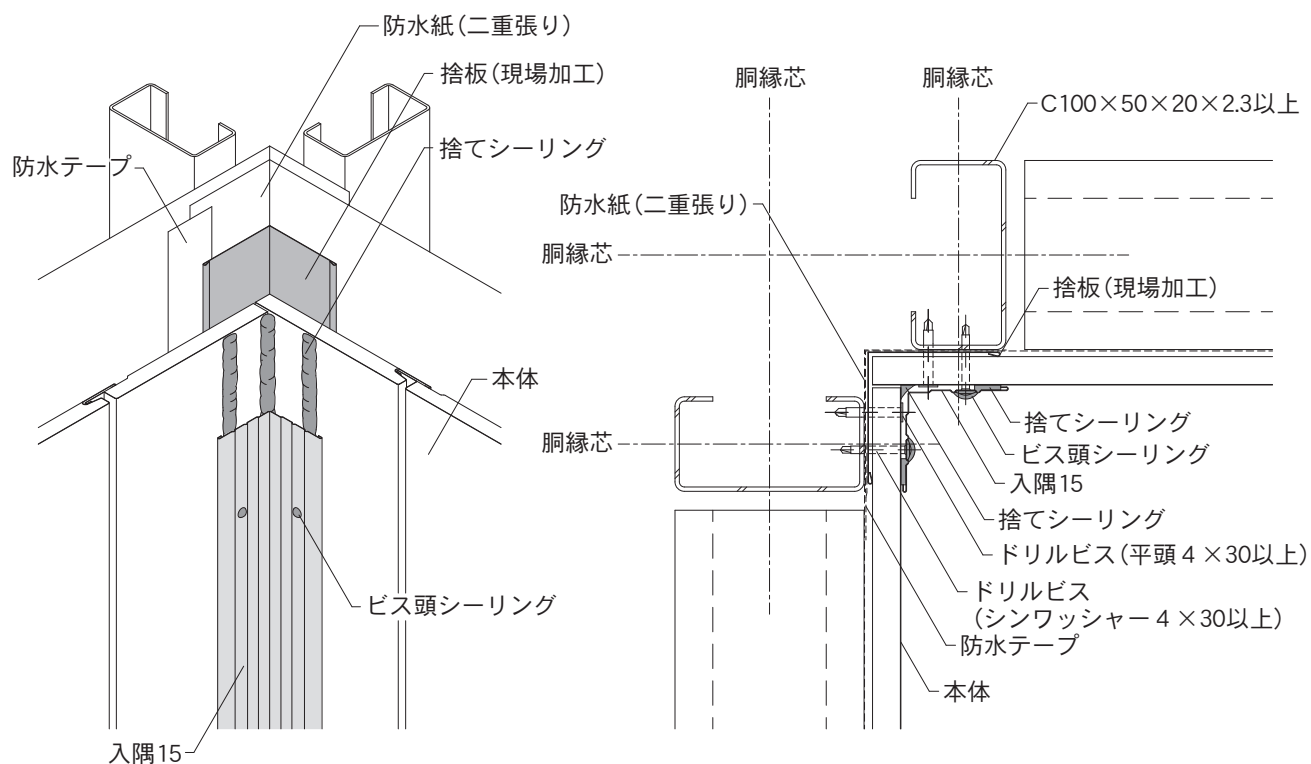
5-2. 各部位の納まり図

C. 入隅部（3）

・本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：入隅15

本頁説明商品
・銘壁



5

施工
たて
張りの

5. たて張りの施工

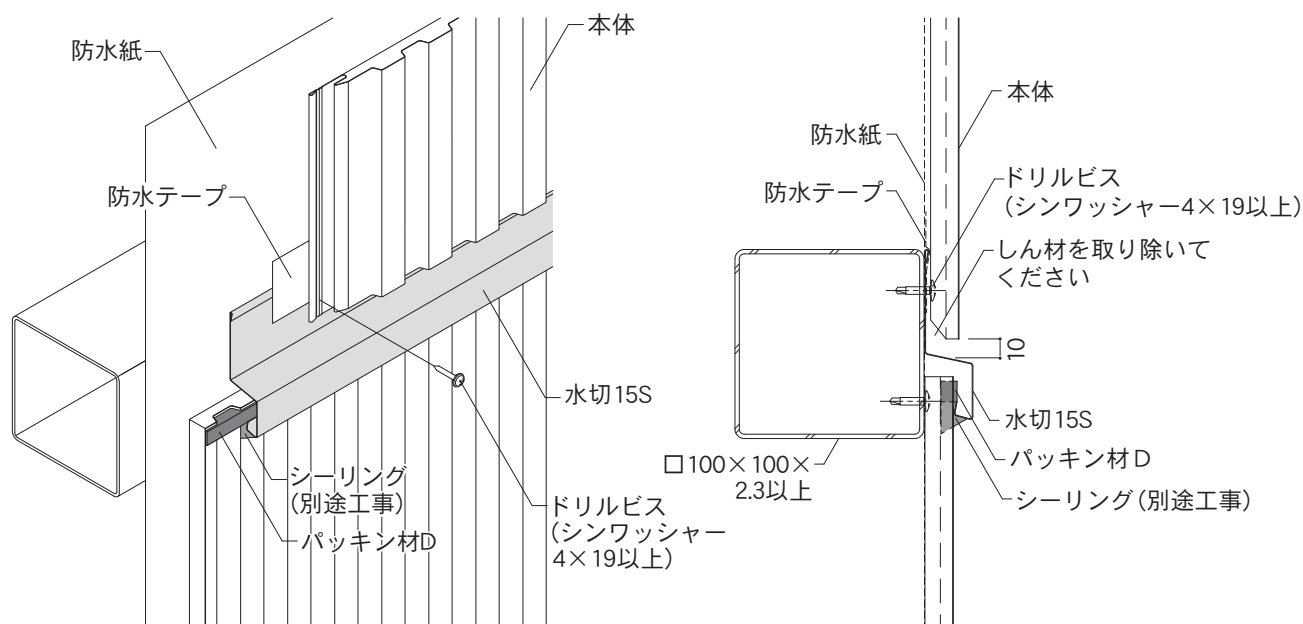
5-2. 各部位の納まり図

D. 縦継ぎ部（1）

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と水切15Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター15の上に留め付けてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

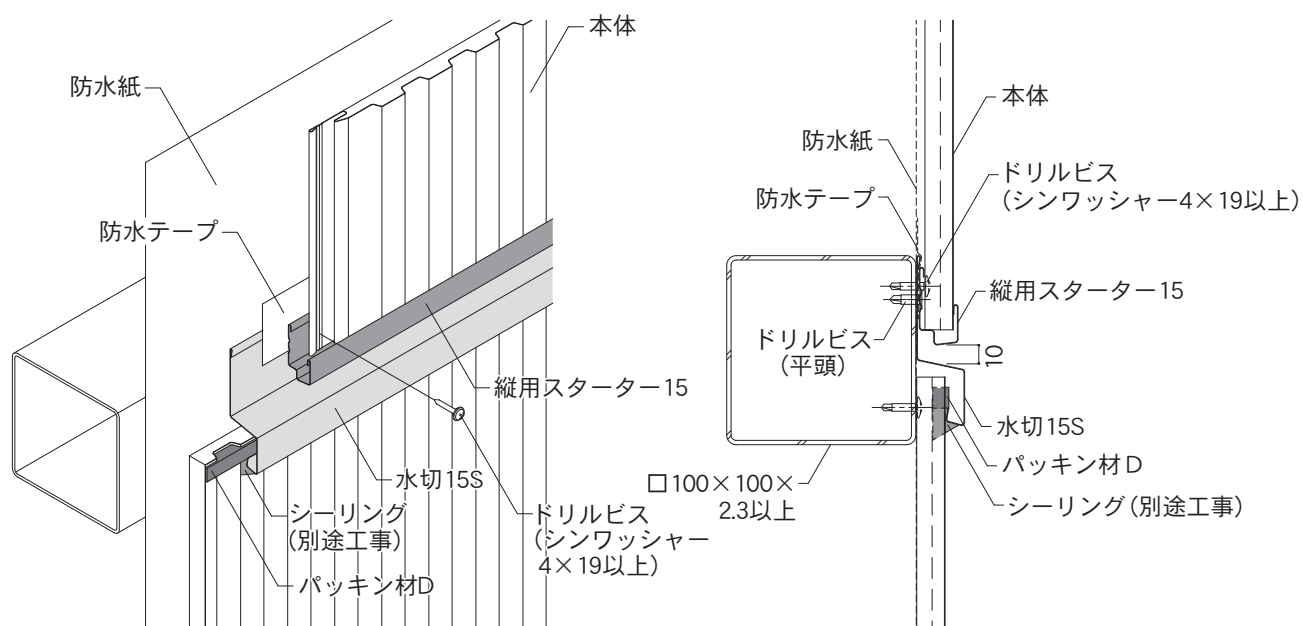
使用部材：水切15S・パッキン材C

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン



使用部材：水切15S・縦用スターター15・パッキン材D

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン



5-2. 各部位の納まり図

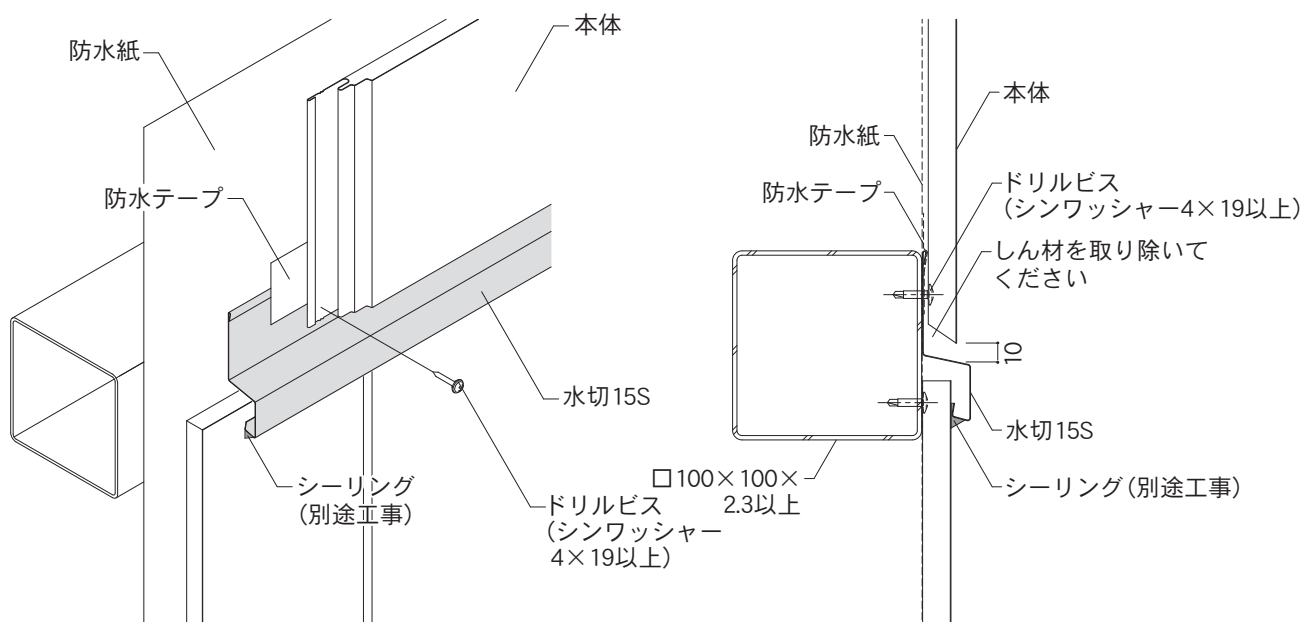
D. 縦継ぎ部（2）

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と水切15Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター15の上に留め付けてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

使用部材：水切15S

本頁説明商品

- ・ SP-ガルブライトⅡ
- ・ SF-ガルステージシャイン
- ・ 銘壁



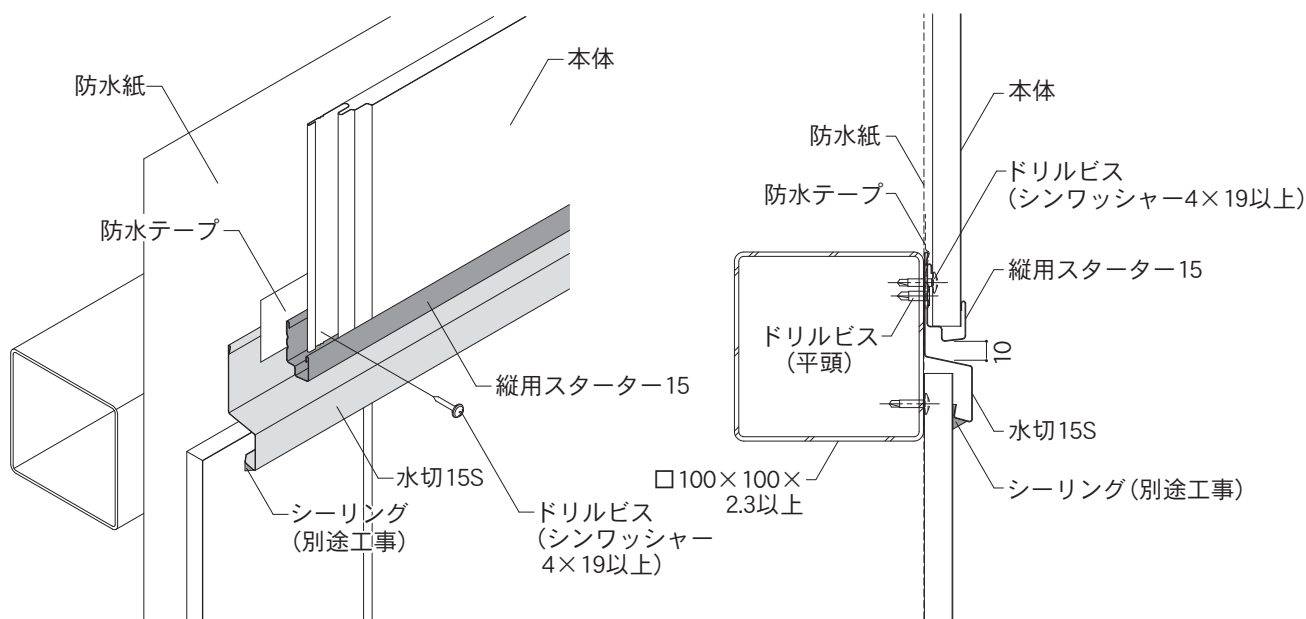
5

施
工
た
て
張
り
の

使用部材：水切15S・縦用スターター15

本頁説明商品

- ・ SP-ガルブライトⅡ
- ・ SF-ガルステージシャイン
- ・ 銘壁



5. たて張りの施工

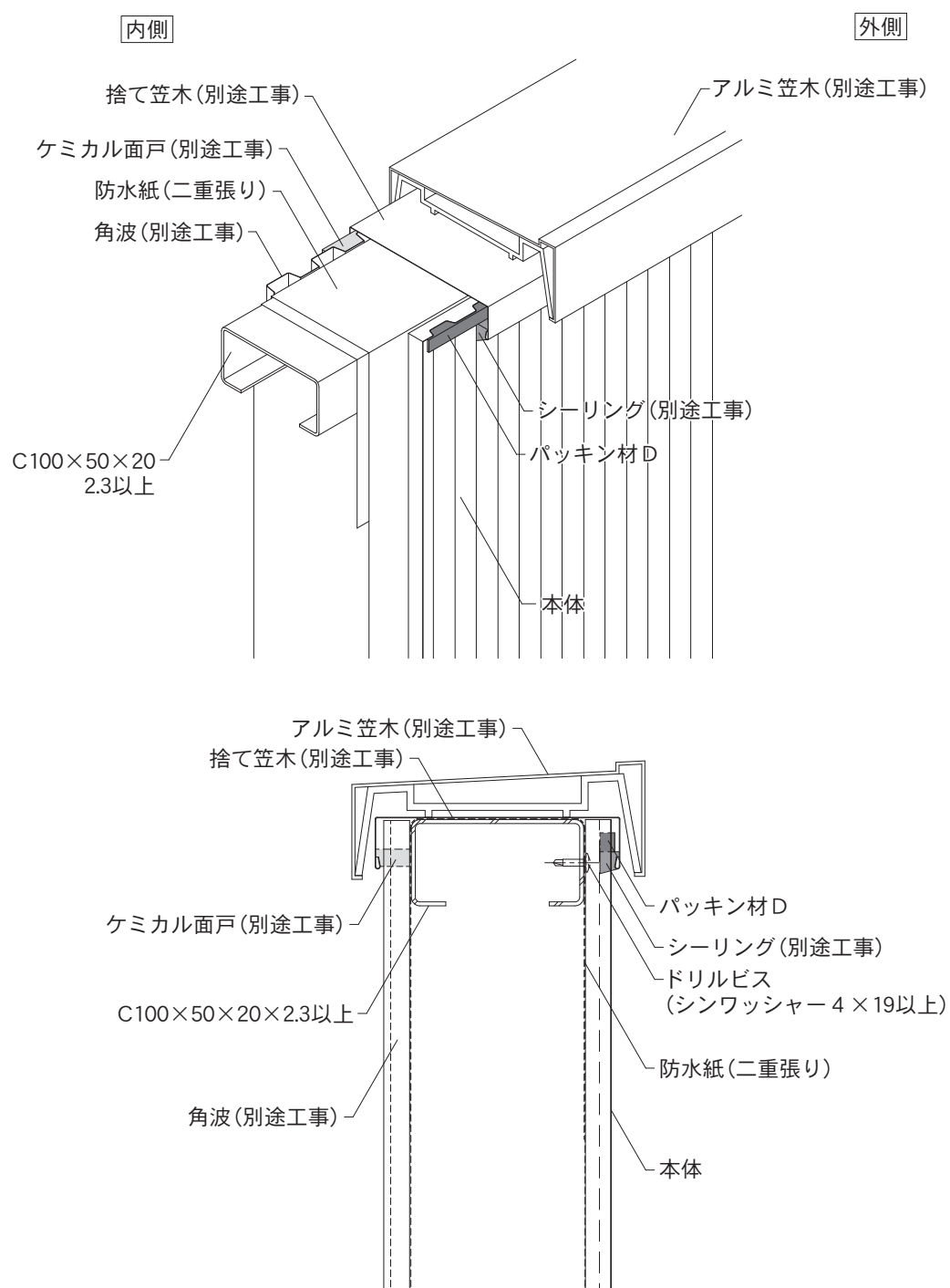
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

E. 笠木部（1）

- ・防水上万全を期すため、防水紙を二重張りにしてください。

使用部材：パッキン材D

本頁説明商品
・SP-ガルスパン



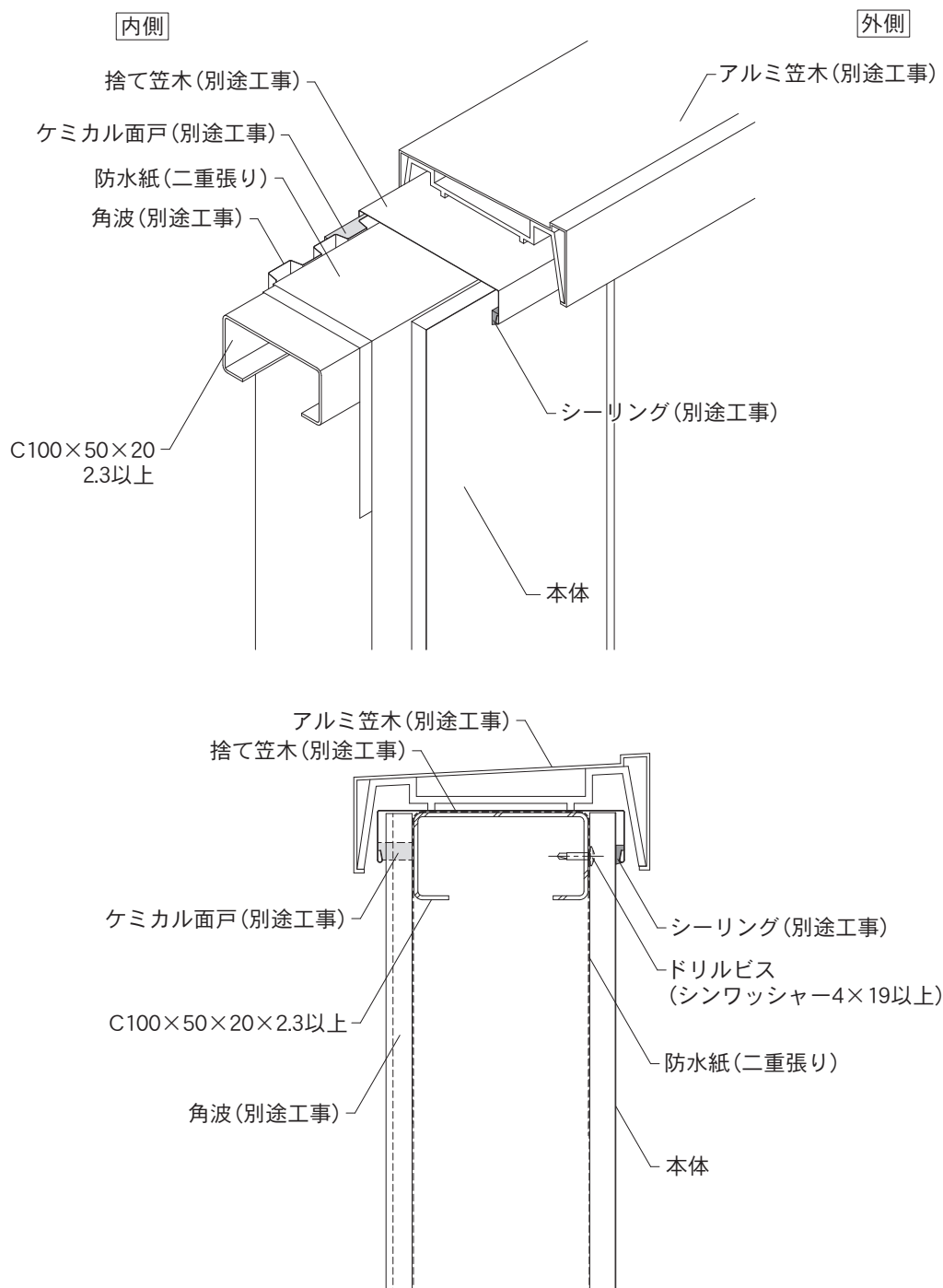
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

E. 笠木部（2）

・防水上万全を期すため、防水紙を二重張りにしてください。

使用部材：なし

本頁説明商品
 ・SP-ガルブライトⅡ
 ・SF-ガルステージシャイン
 ・銘壁



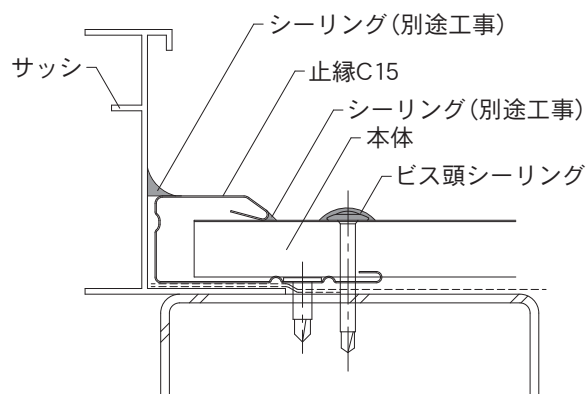
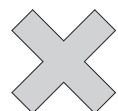
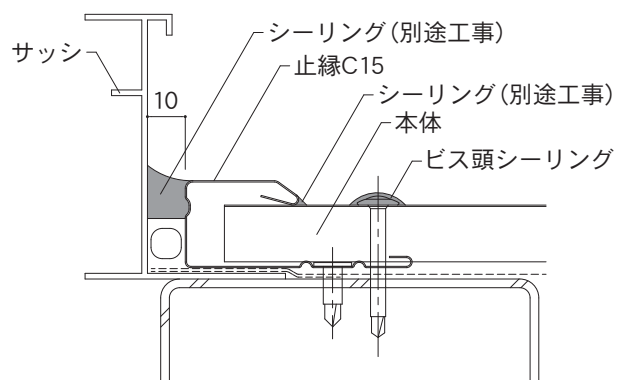
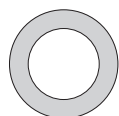
5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

F. 開口部（共通）

サッシと部材の取り合いのシーリングの施工について

- ・サッシと部材の取り合いでシーリングを施工する場合は、下図のようにシーリング（別途工事）を施工してください。



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

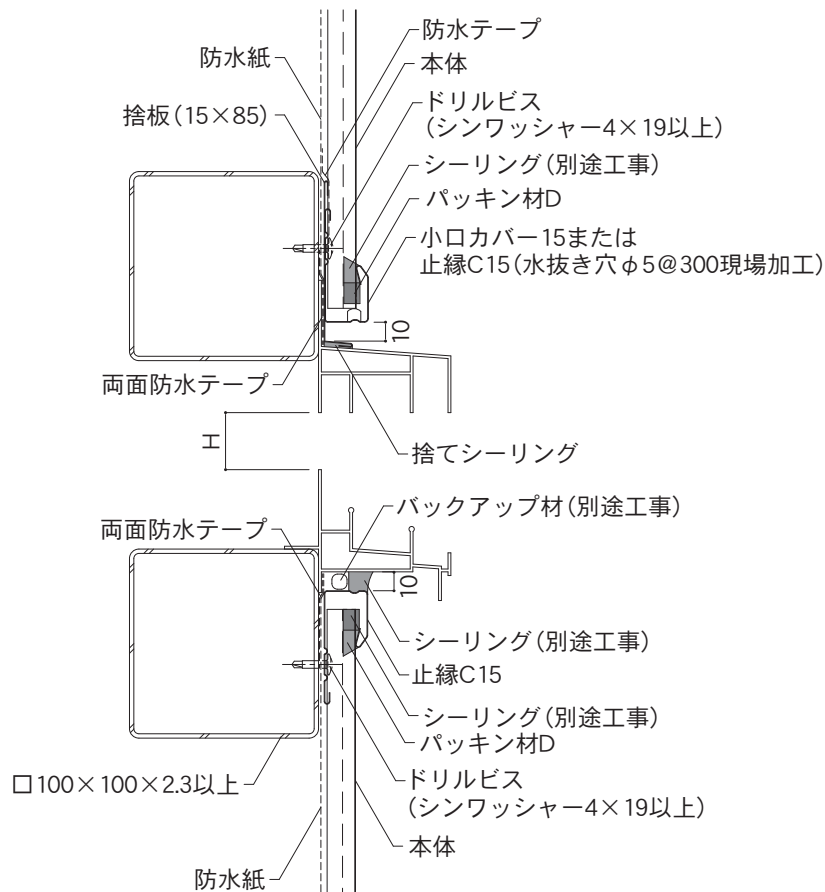
F. 開口部(1)小口カバー+止縁(1部材)仕様

- ・止縁C15を開口部上に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。小口カバー15は、水抜き穴があいています。
- ・本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板(15×85)・パッキン材D・パッキン材C

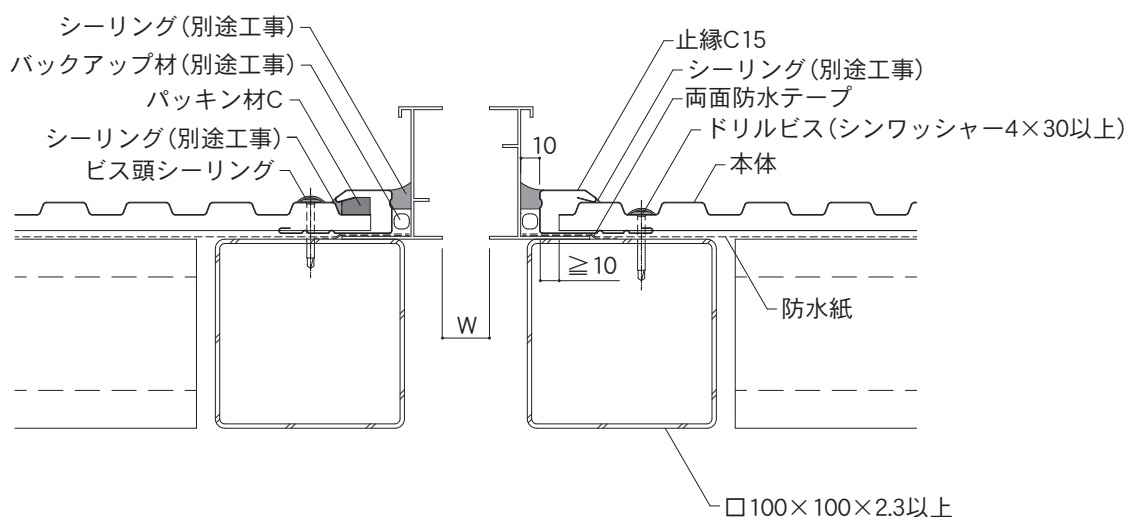
本頁説明商品
・SP-ガルスパン

開口部上



開口部下

開口部左右



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

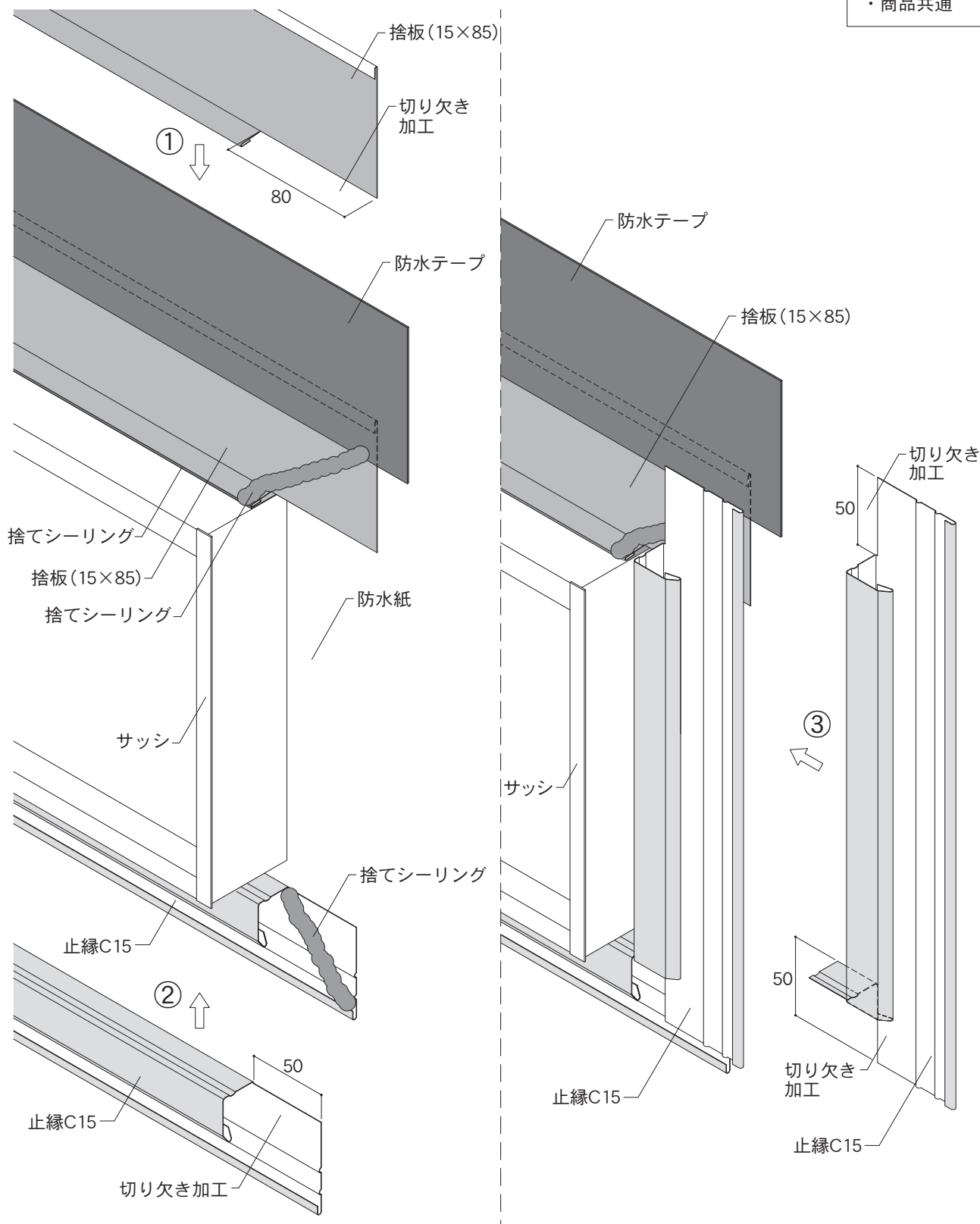
F. 開口部(1)小口カバー+止縁(1部材)仕様

隅角部にコーナークャップを施工する場合 (1/4)

- ① 開口部上に捨板(15×85)を取り付けてください。捨板(15×85)とサッシの間には捨てシーリングを施工してください。捨板(15×85)の上部は、防水テープを図の位置に施工して防水紙に貼り付けてください。
- ② 開口部下に止縁C15を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に止縁C15を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板(15×85)

本頁説明商品
・商品共通



5

施工
たて
張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

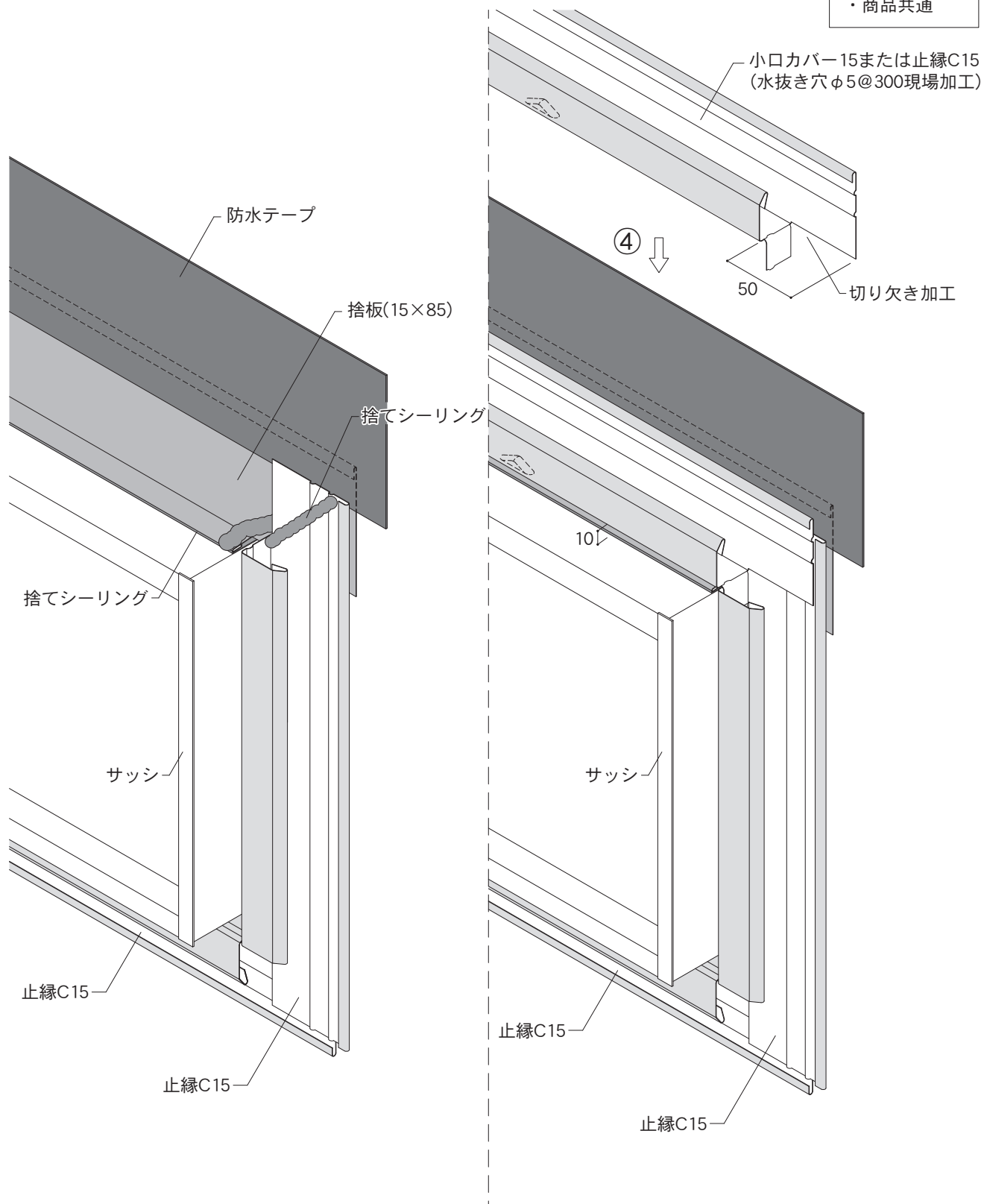
F. 開口部（1）小口カバー＋止縁（1部材）仕様

隅角部にコーナークャップを施工する場合（2/4）

- ④開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

本頁説明商品
・商品共通



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

F. 開口部(1)小口カバー+止縁(1部材)仕様

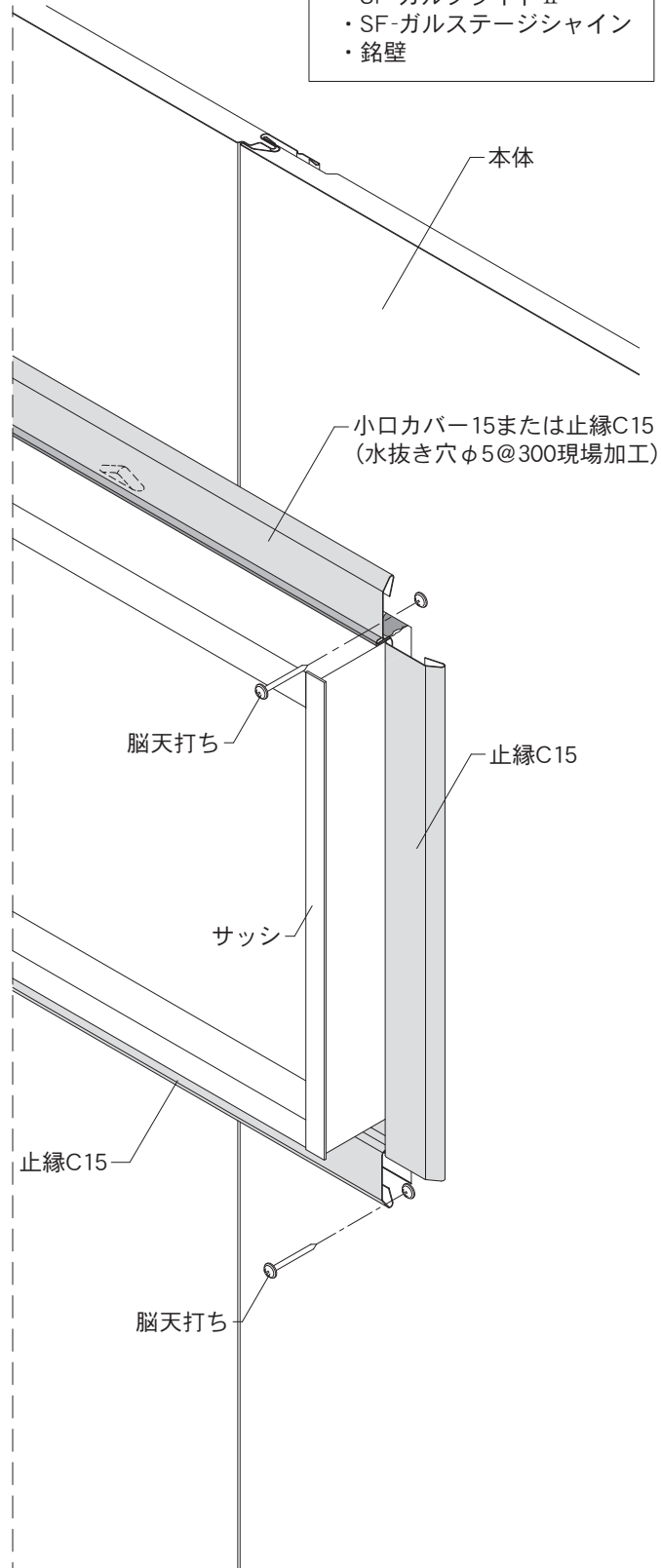
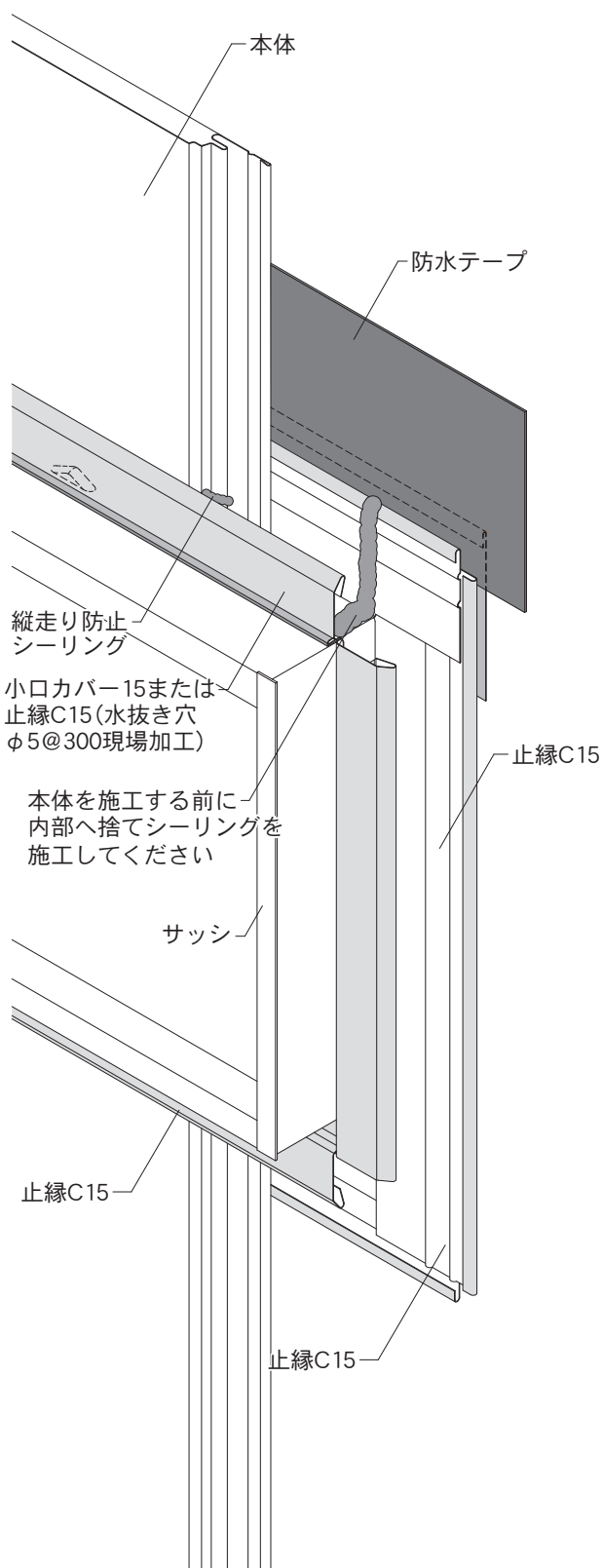
隅角部にコーナーキャップを施工する場合 (3/4)

- ・小口カバー15または止縁C15の内部に捨てシーリングを施工してから、本体を施工してください。
- ・本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨て板 (15×85)

本頁説明商品

- ・SP-ガルブライトⅡ
- ・SF-ガルステージシャイン
- ・銘壁



5

施工
たて
張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

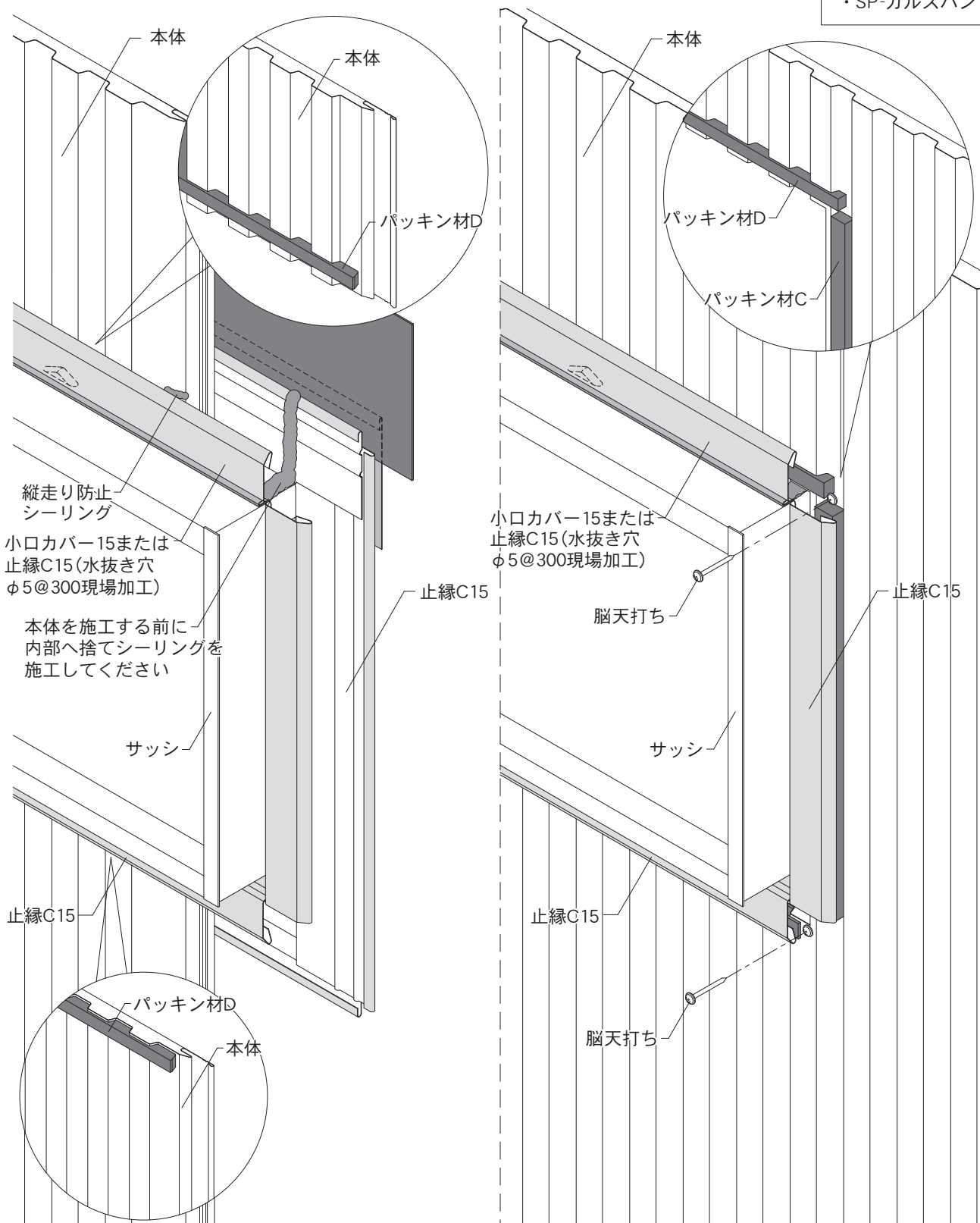
F. 開口部(1)小口カバー+止縁(1部材)仕様

隅角部にコーナーキャップを施工する場合 (3/4)

- ・小口カバー15または止縁C15の内部に捨てシーリングを施工してから、本体を施工してください。
- ・開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・開口部上下に施工する本体には、パッキン材Dを貼り付けてください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板(15×85)・パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
・SP-ガルスパン



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

F. 開口部(1)小口カバー+止縁(1部材)仕様

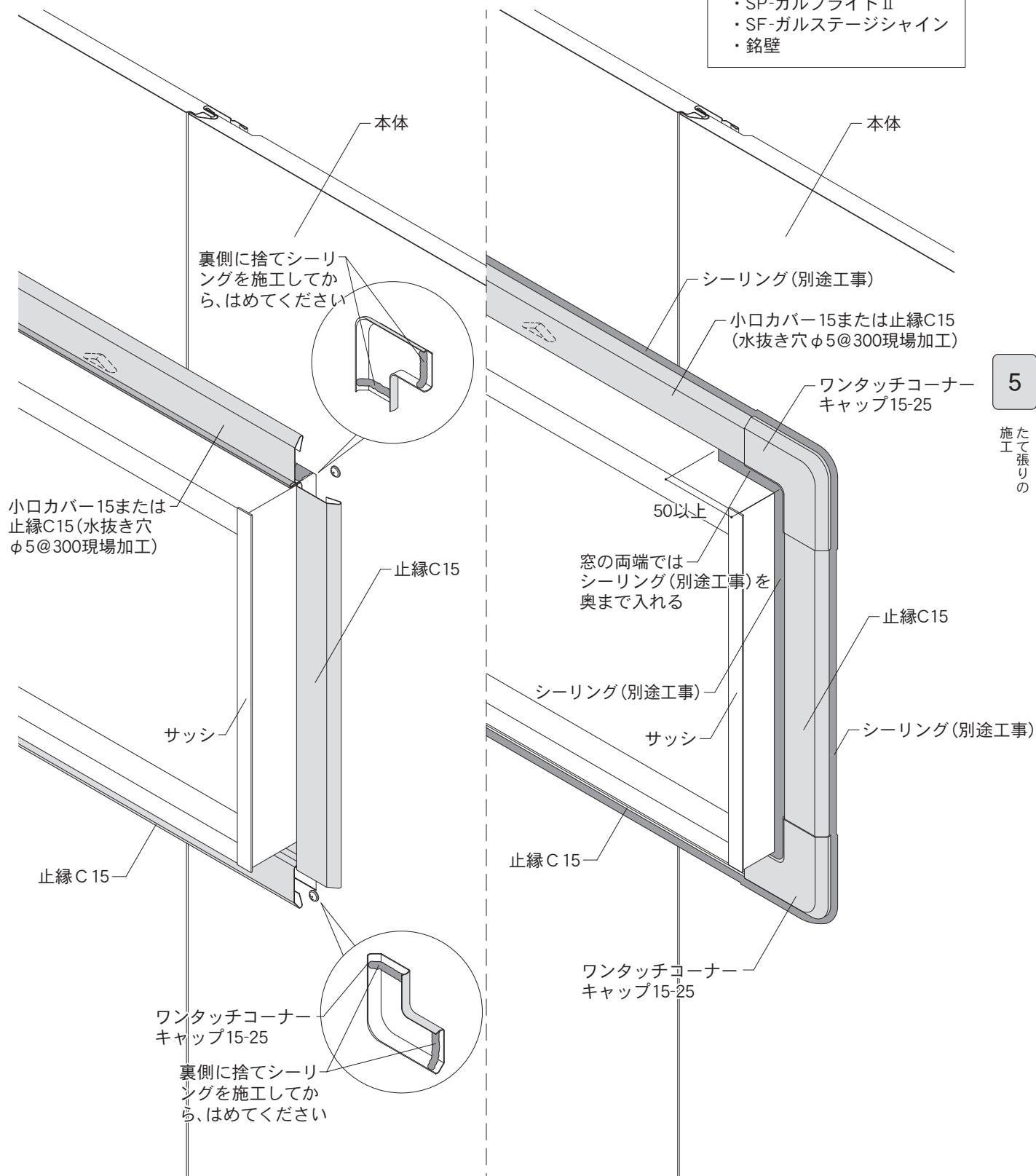
隅角部にコーナーキャップを施工する場合(4/4)

- ・捨てシーリングを施工してから、ワンタッチコーナーキャップ15-25を施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング(別途工事)を奥まで入れてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨て板(15×85)

本頁説明商品

- ・SP-ガルブライトII
- ・SF-ガルステージシャイン
- ・銘壁



5

施工
たて
張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

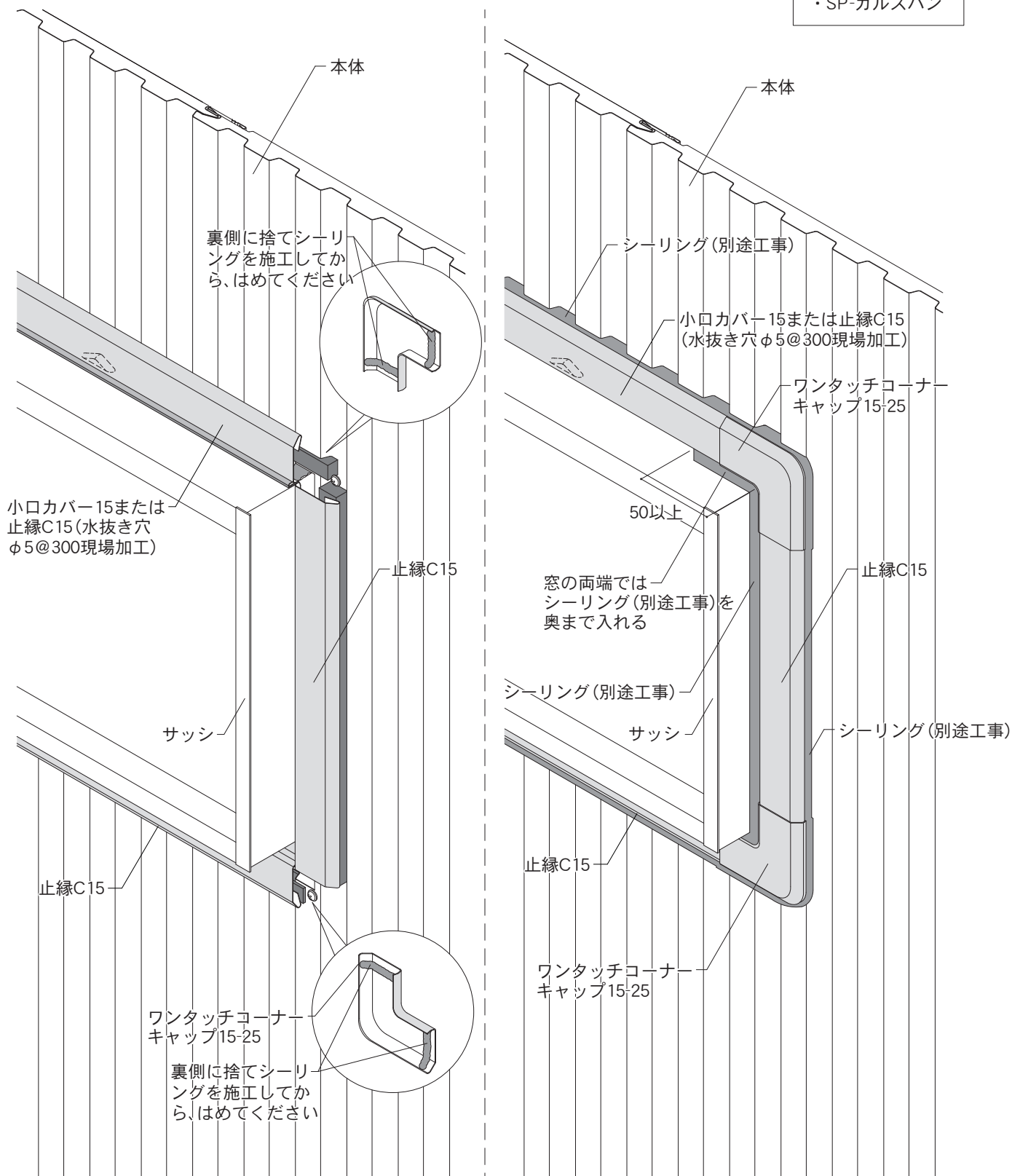
F. 開口部(1)小口カバー+止縁(1部材)仕様

隅角部にコーナーキャップを施工する場合 (4/4)

- ・ 捨てシーリングを施工してから、ワンタッチコーナーキャップ15-25を施工してください。
- ・ 開口部上では、小口カバー 15 の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング (別途工事) を奥まで入れてください。

使用部材：小口カバー 15・止縁C15・捨て板 (15×85)・パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

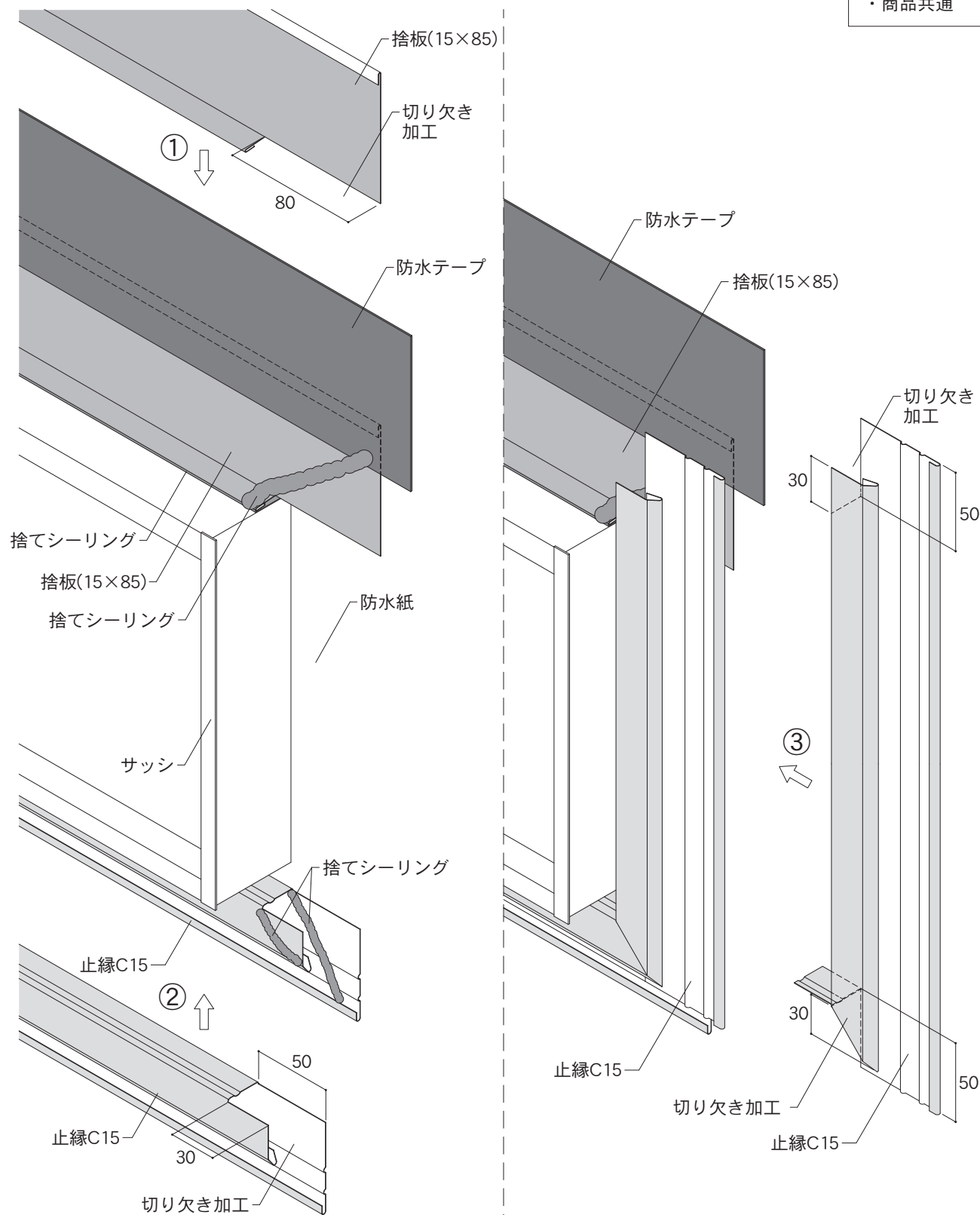
F. 開口部(1)小口カバー+止縁(1部材)仕様

隅角部を加工する場合 (1/4)

- ① 開口部上に捨板(15×85)を取り付けてください。捨板(15×85)とサッシの間には捨てシーリングを施工してください。捨板(15×85)の上部は、防水テープを図の位置に施工して防水紙に貼り付けてください。
- ② 開口部下に止縁C15を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に止縁C15を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板(15×85)

本頁説明商品
・商品共通



5

施工
たて張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

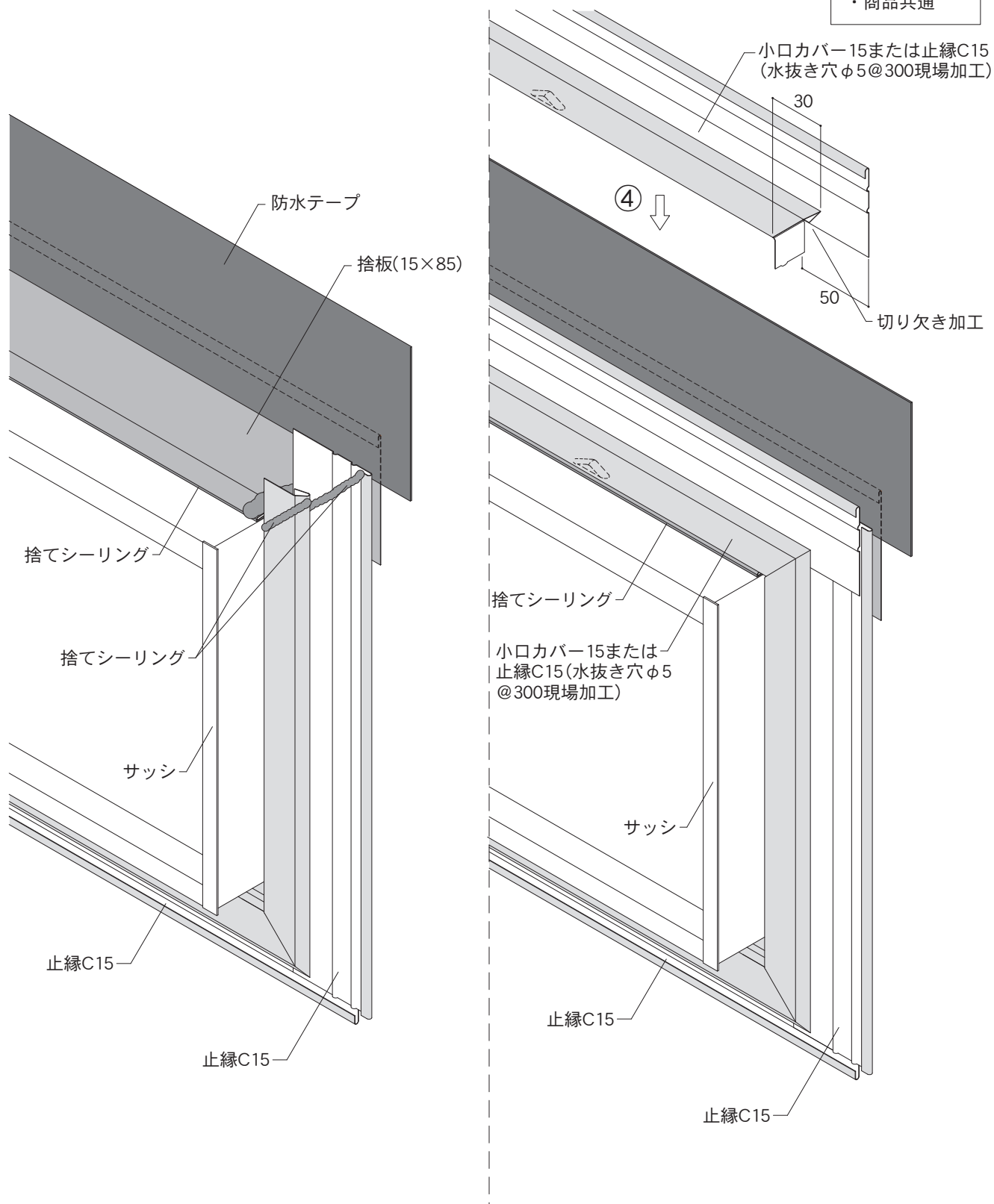
F. 開口部（1）小口カバー＋止縁（1部材）仕様

隅角部を加工する場合（2/4）

- ④開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

本頁説明商品
・商品共通



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

F. 開口部（1）小口カバー＋止縁（1部材）仕様

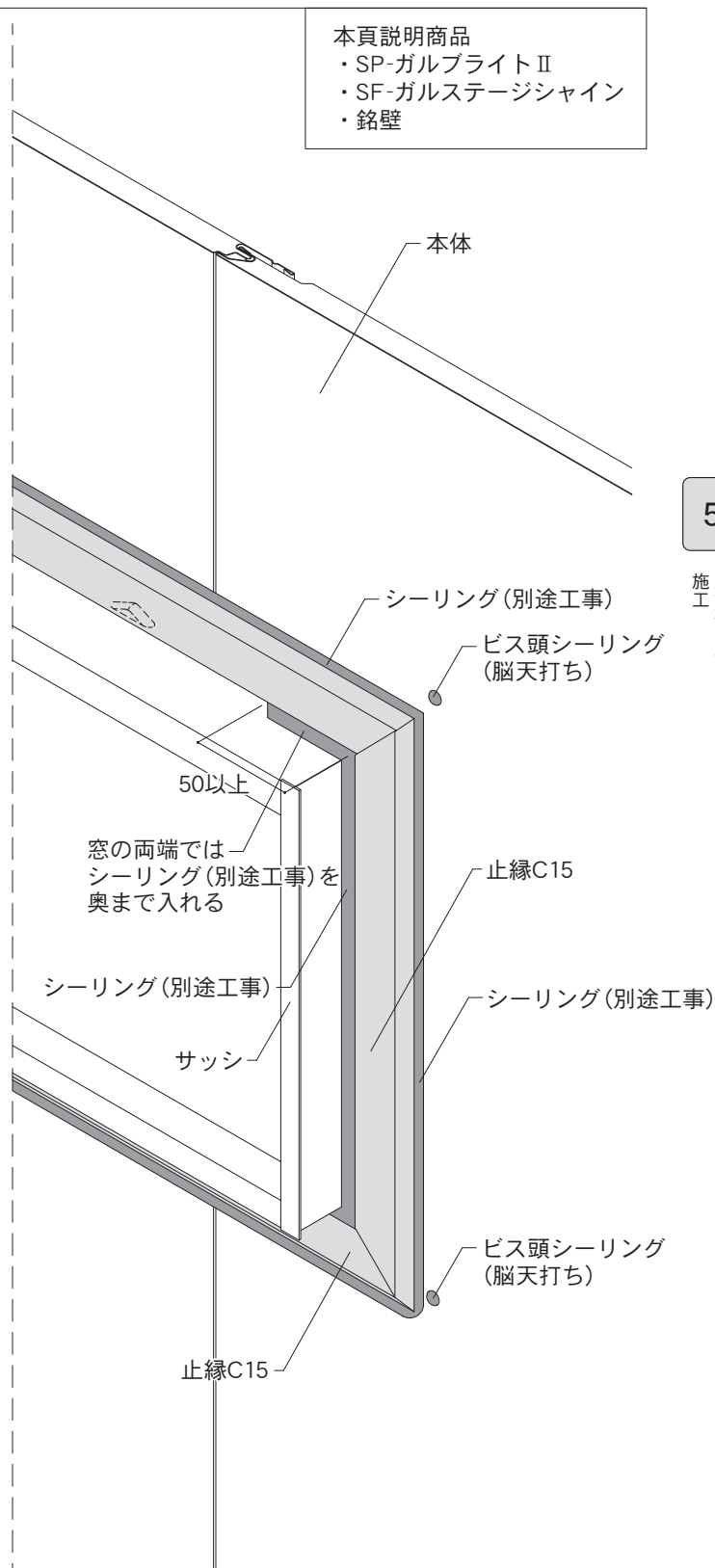
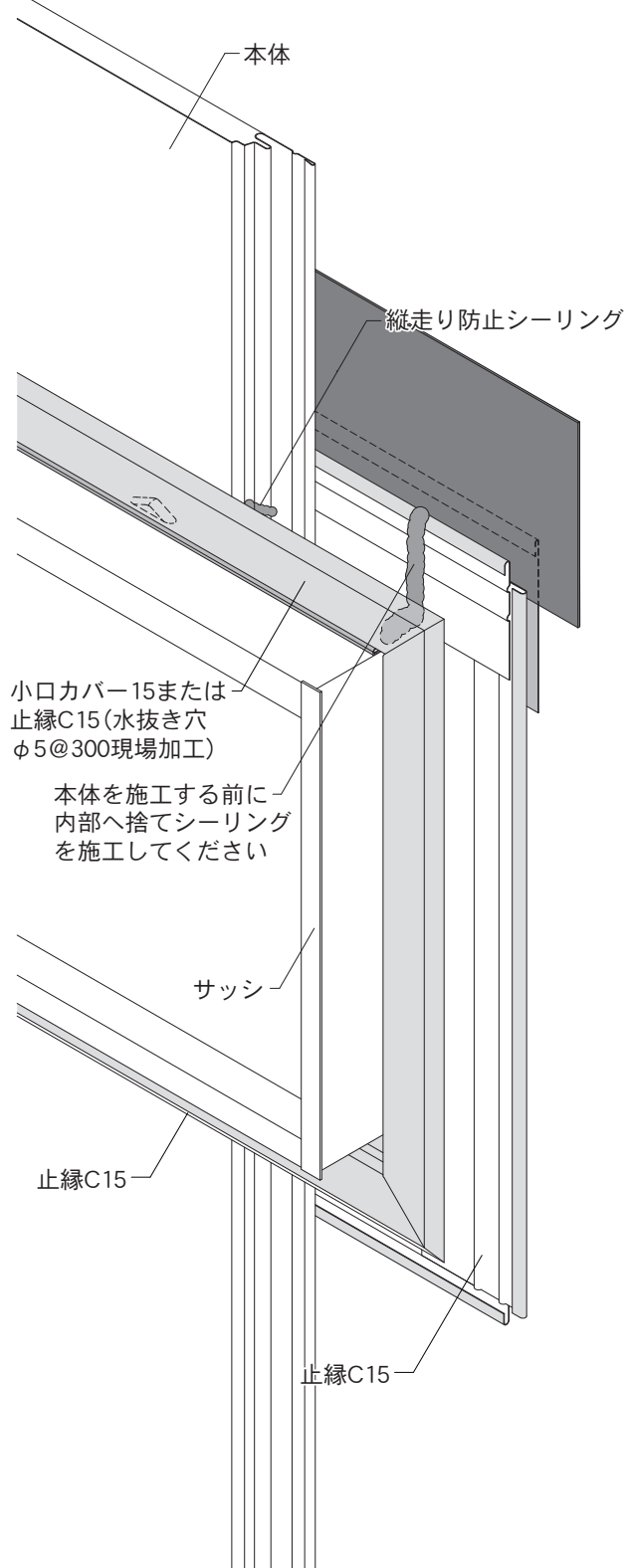
隅角部を加工する場合（3/4）

- ・開口部上の小口カバー15（止縁C15）の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- ・開口部に施工する本体には、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング（別途工事）を奥まで入れてください。
- ・本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨て板（15×85）

本頁説明商品

- ・SP-ガルブライトⅡ
- ・SF-ガルステージシャイン
- ・銘壁



5

施工
たて
張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

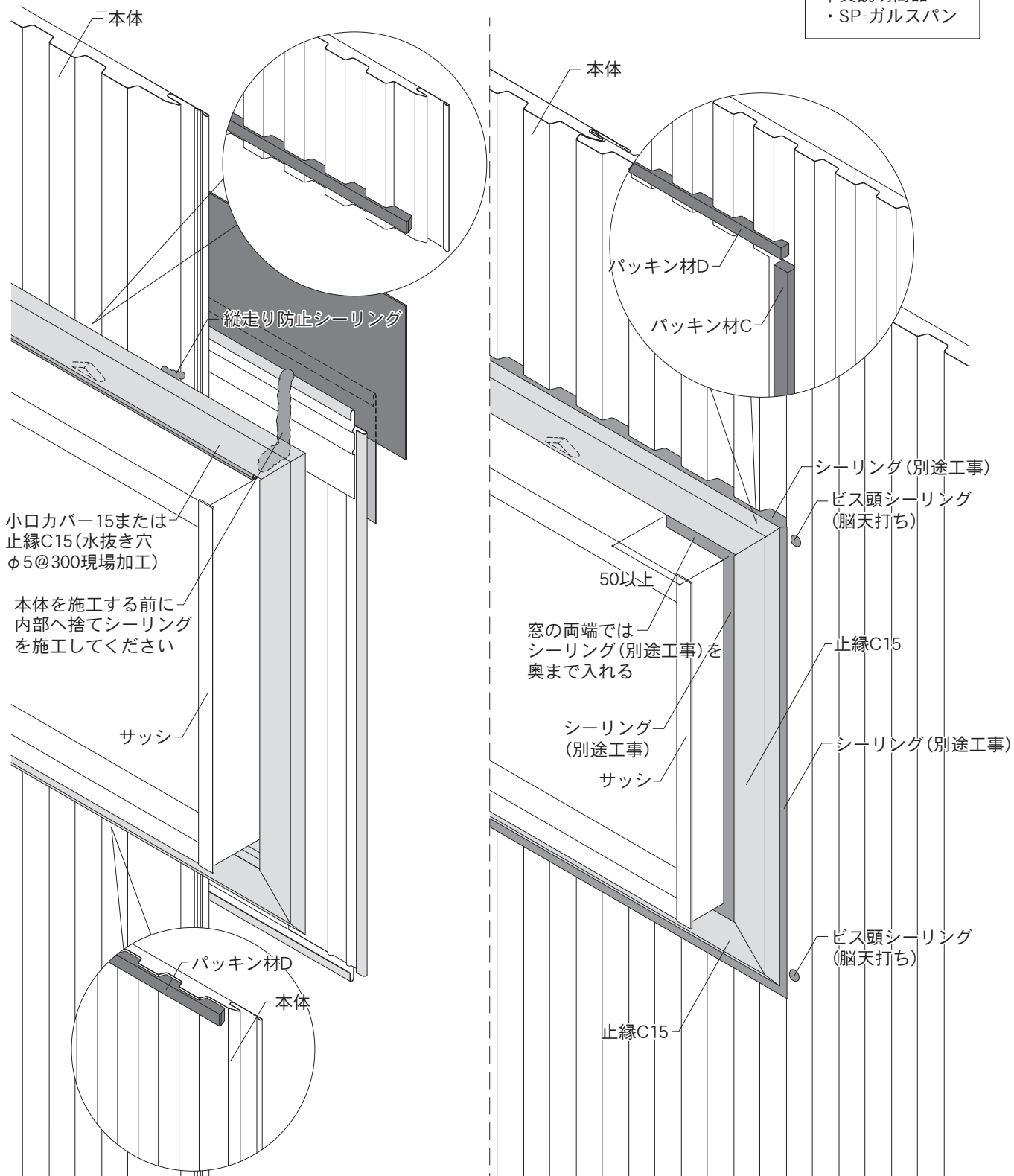
F. 開口部（1）小口カバー＋止縁（1部材）仕様

隅角部を加工する場合（4/4）

- ・ 開口部上の小口カバー15（止縁C15）の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- ・ 開口部に施工する本体には、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ 開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング（別途工事）を奥まで入れてください。
- ・ 本体と部材の間にはシーリング（別途工事）を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨て板（15×85）・パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

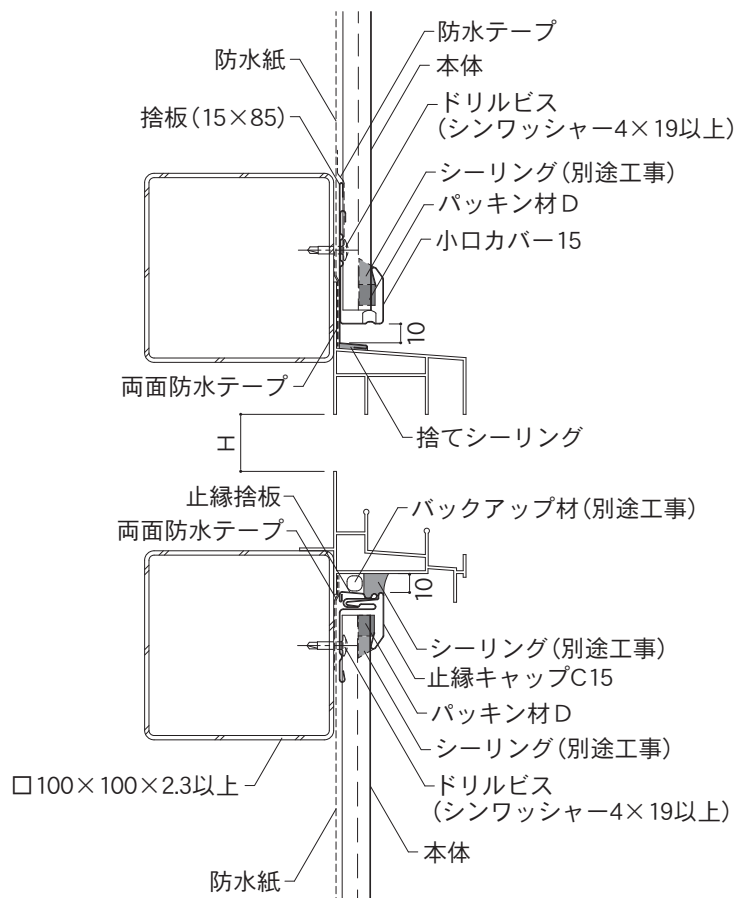
F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

- ・ 本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 止縁C15を開口部上に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。小口カバー15は、水抜き穴があいています。

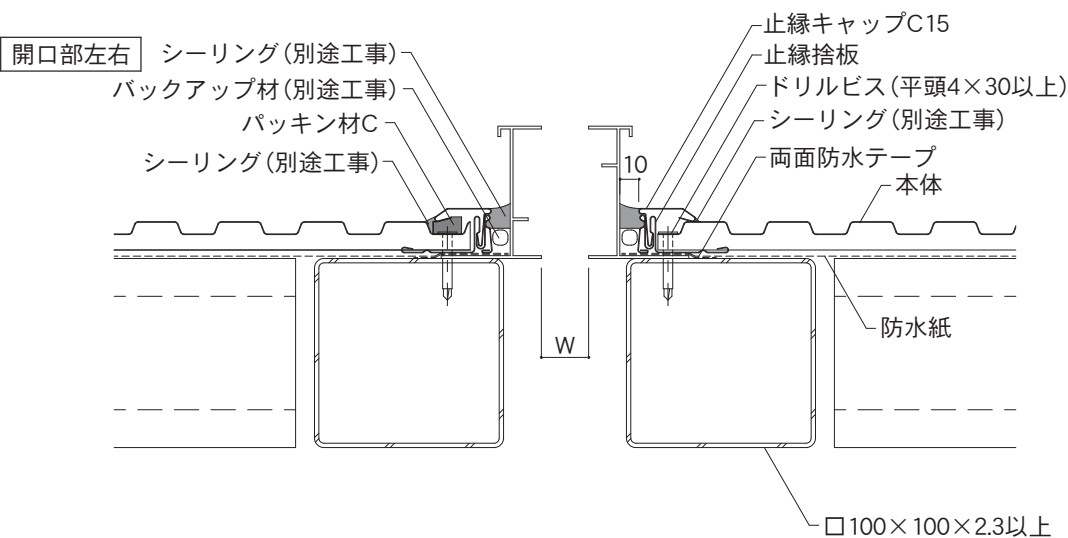
使用部材：小口カバー 15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
・ SP-ガルスパン

開口部上



開口部下



5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

單位：mm

F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

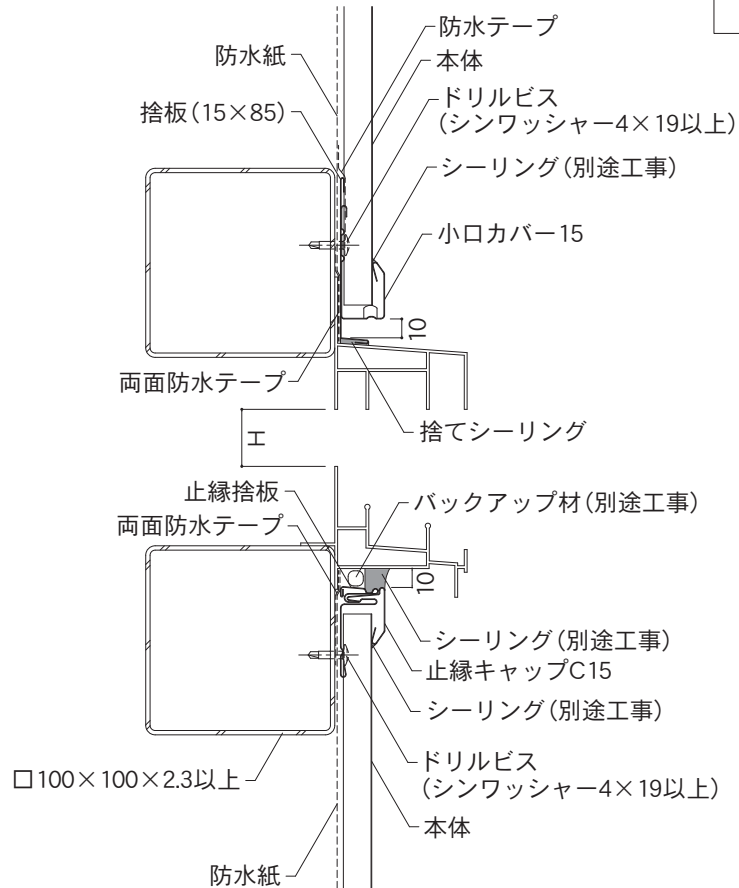
- ・本体の端部は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。
- ・止縁C15を開口部上に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。小口カバー15は、水抜き穴があいています。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

本頁説明商品

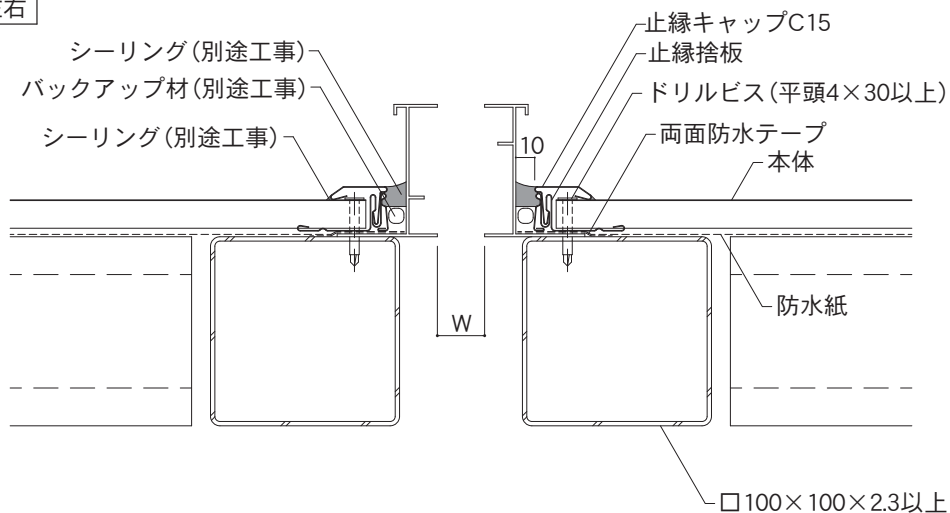
- ・ SP-ガルブライトⅡ
- ・ SF-ガルステージシャイン
- ・ 銘壁

開口部上



開口部下

開口部左右



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

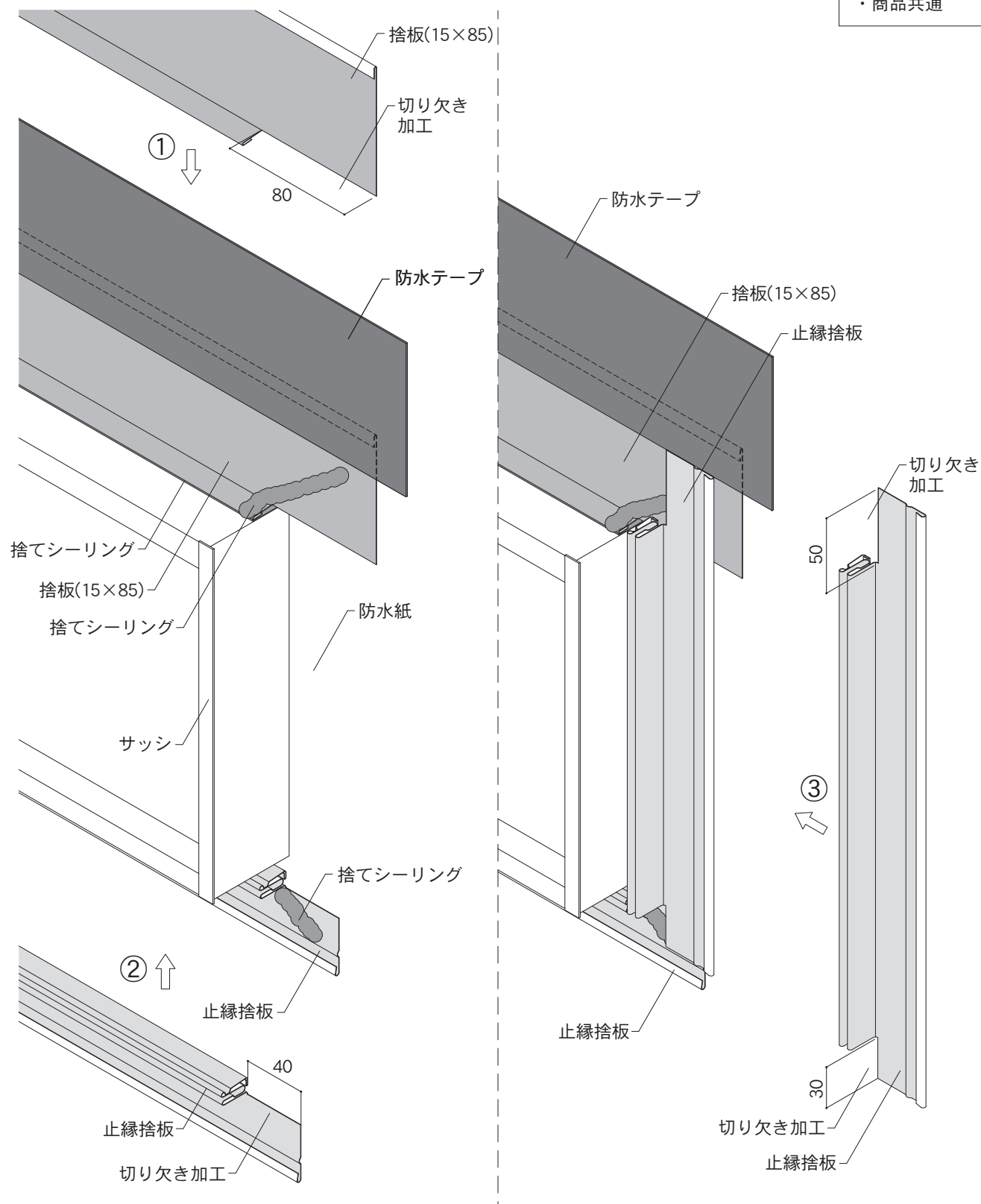
F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

隅角部にコーナークリップを施工する場合 (1/4)

- ① 開口部上に捨板(15×85)を取り付けてください。捨板(15×85)とサッシの間には捨てシーリングを施工してください。捨板(15×85)の上部は、防水テープを図の位置に施工して防水紙に貼り付けてください。
- ② 開口部下に止縁C15を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に止縁C15を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板(15×85)

本頁説明商品
・商品共通



5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

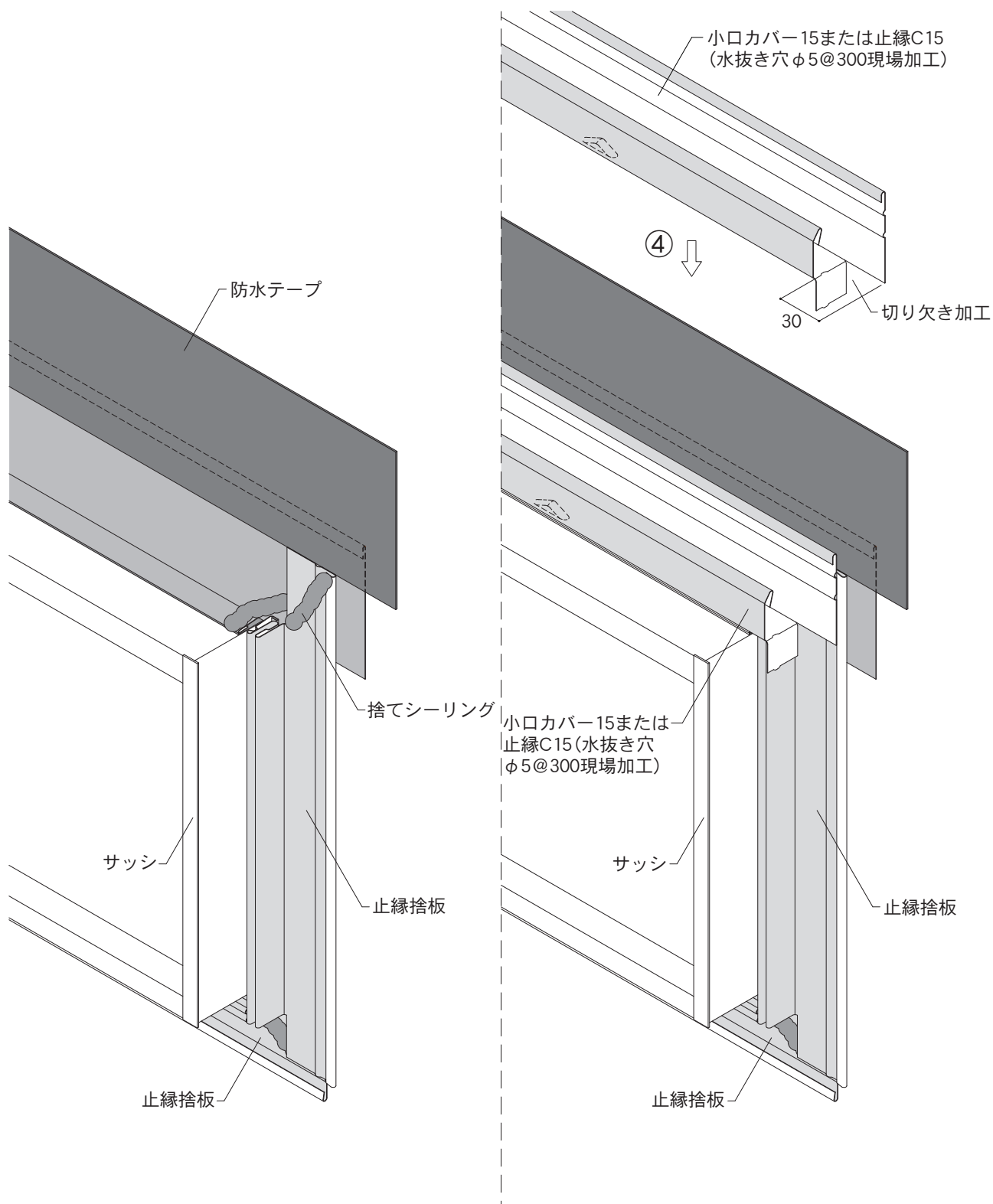
F. 開口部（2）小口カバー＋止縁（2部材）仕様

隅角部にコーナークャップを施工する場合（2/4）

- ④開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

本頁説明商品
・商品共通



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

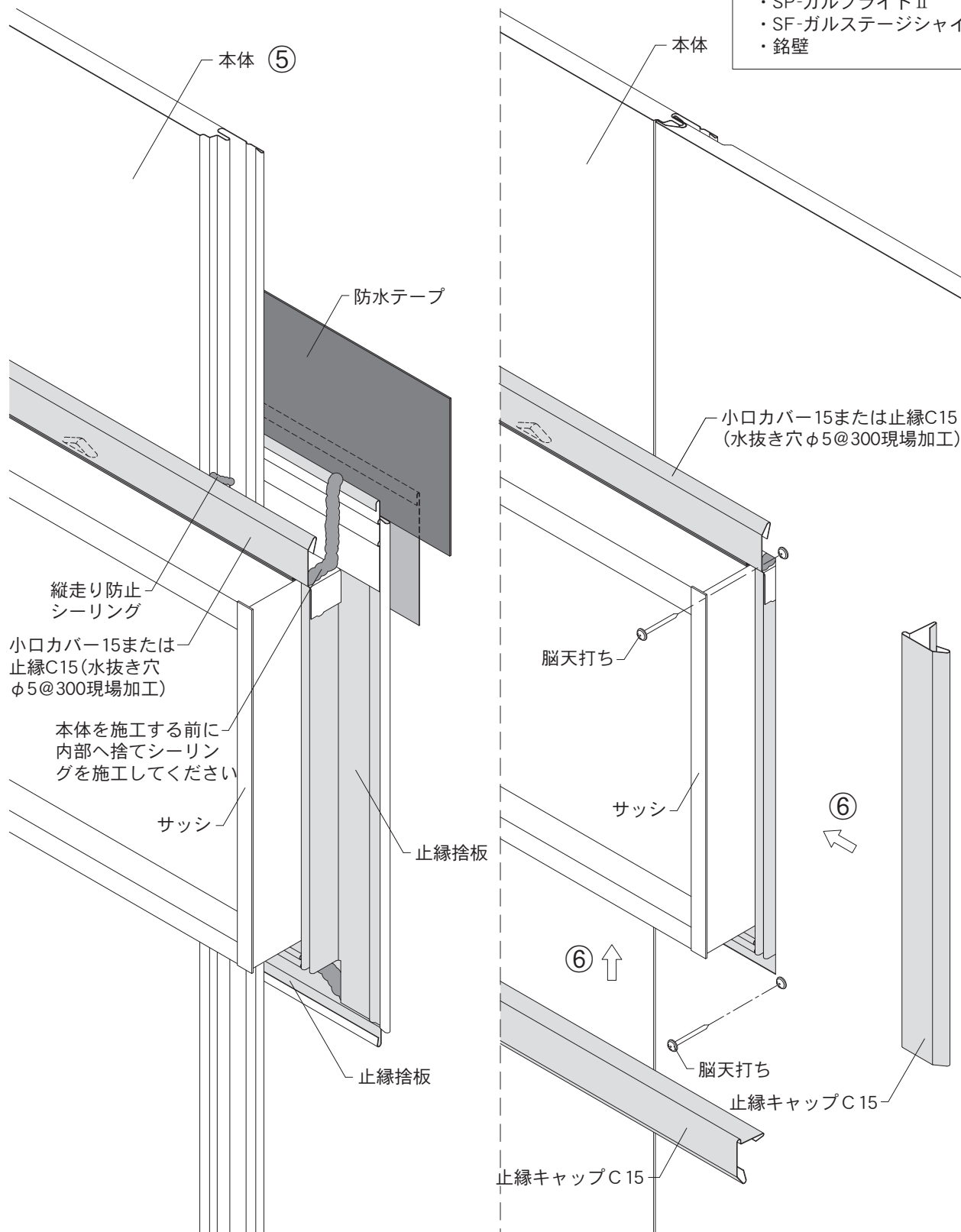
F. 開口部（2）小口カバー＋止縁（2部材）仕様

隅角部にコーナーキャップを施工する場合（3/4）

- ⑤ 本体を施工してください。
 ・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
 ・ ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
 ⑥ 開口部左右および開口部下に、止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

本頁説明商品
 ・ SP-ガルブライトⅡ
 ・ SF-ガルステージシャイン
 ・ 銘壁



5

施工
たて
張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

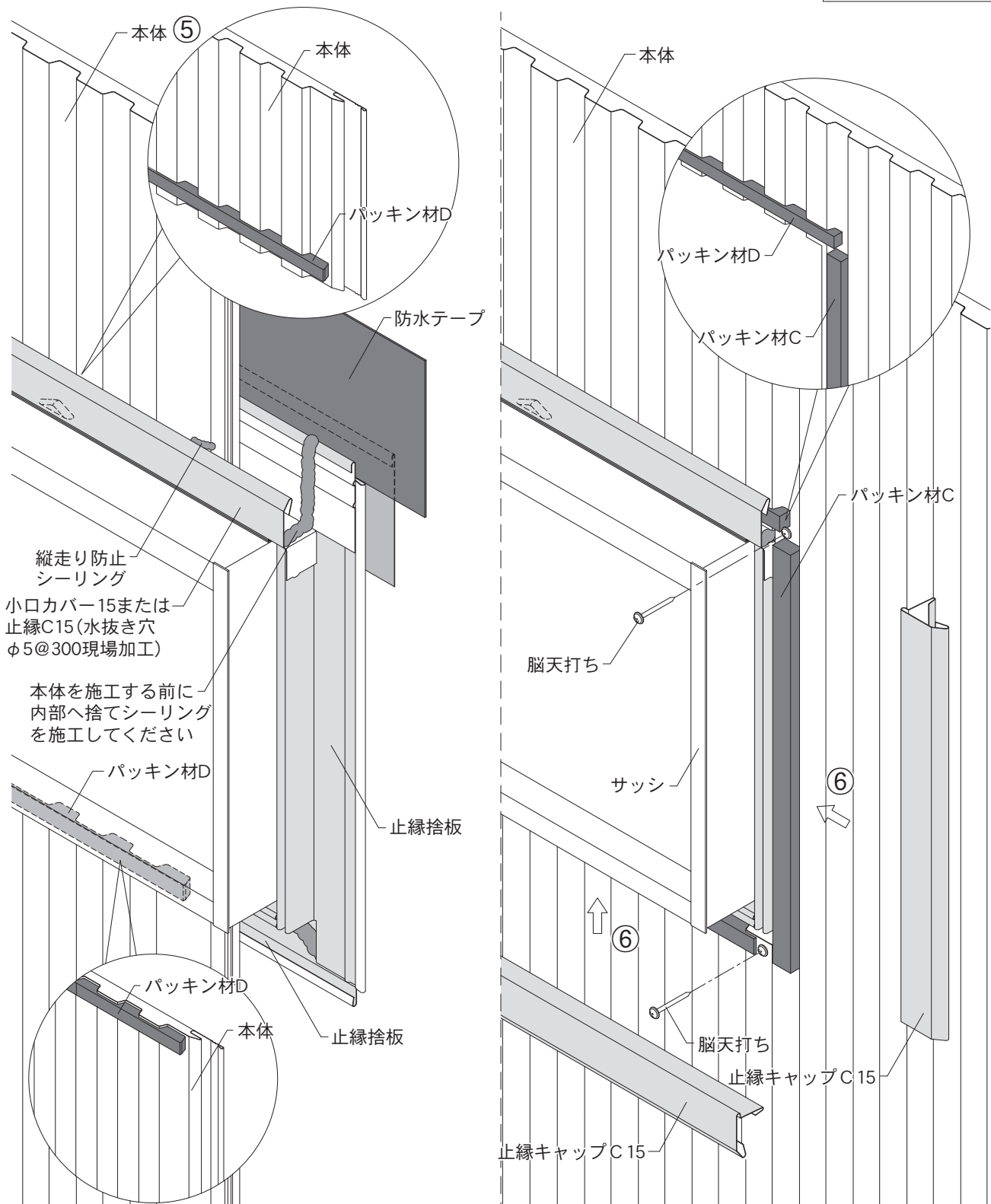
F. 開口部（2）小口カバー＋止縁（2部材）仕様

隅角部にコーナーキャップを施工する場合（3/4）

- ⑤ 本体を施工してください。
 ・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
 ・ ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
 ⑥ 開口部左右および開口部下に、止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板(15×85)
 パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
 ・ SP-ガルスパン



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

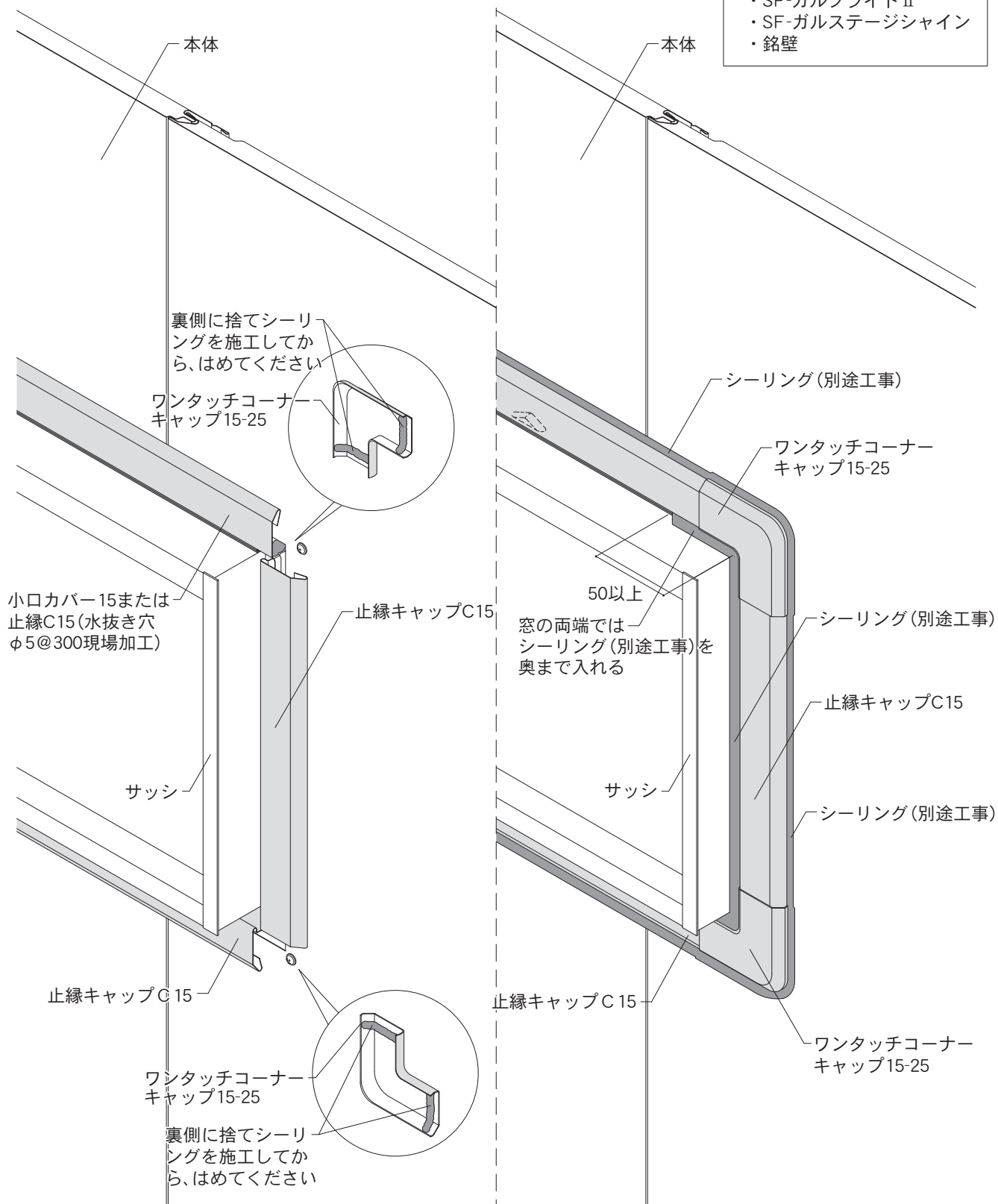
隅角部にコーナーキャップを施工する場合 (4/4)

- ・ 捨てシーリングを施工してから、ワンタッチコーナーキャップ15-25を施工してください。
- ・ 開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング（別途工事）を奥まで入れてください。
- ・ 本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板(15×85)

本頁説明商品

- ・ SP-ガルブライトII
- ・ SF-ガルステージシャイン
- ・ 銘壁



5

施
工
た
て
張
り
の

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

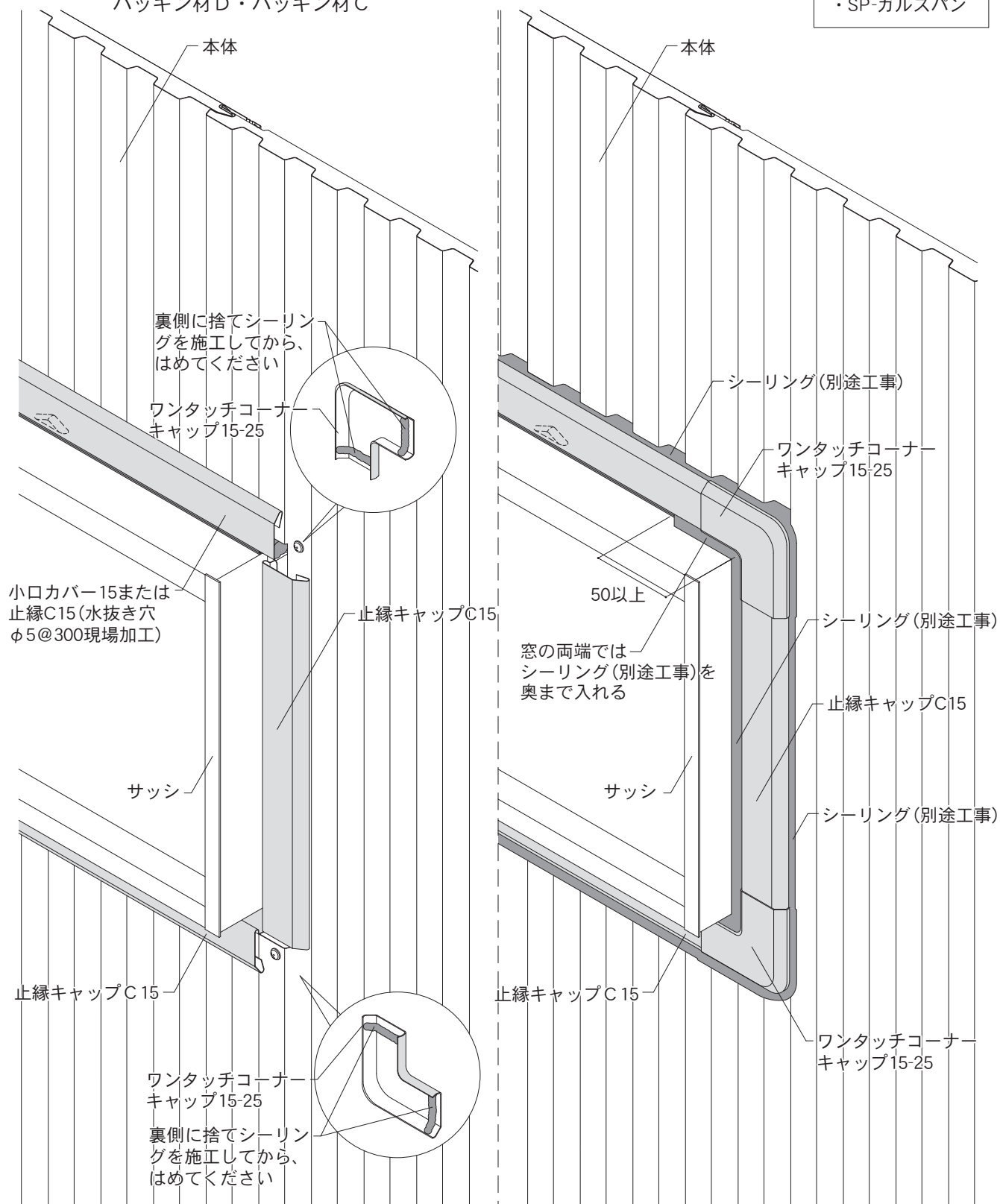
F. 開口部（2）小口カバー＋止縁（2部材）仕様

隅角部にコーナーキャップを施工する場合（4/4）

- ・捨てシーリングを施工してから、ワンタッチコーナーキャップ15-25を施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー 15の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング（別途工事）を奥まで入れてください。
- ・本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板(15×85)
パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
・SP-ガルスパン



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

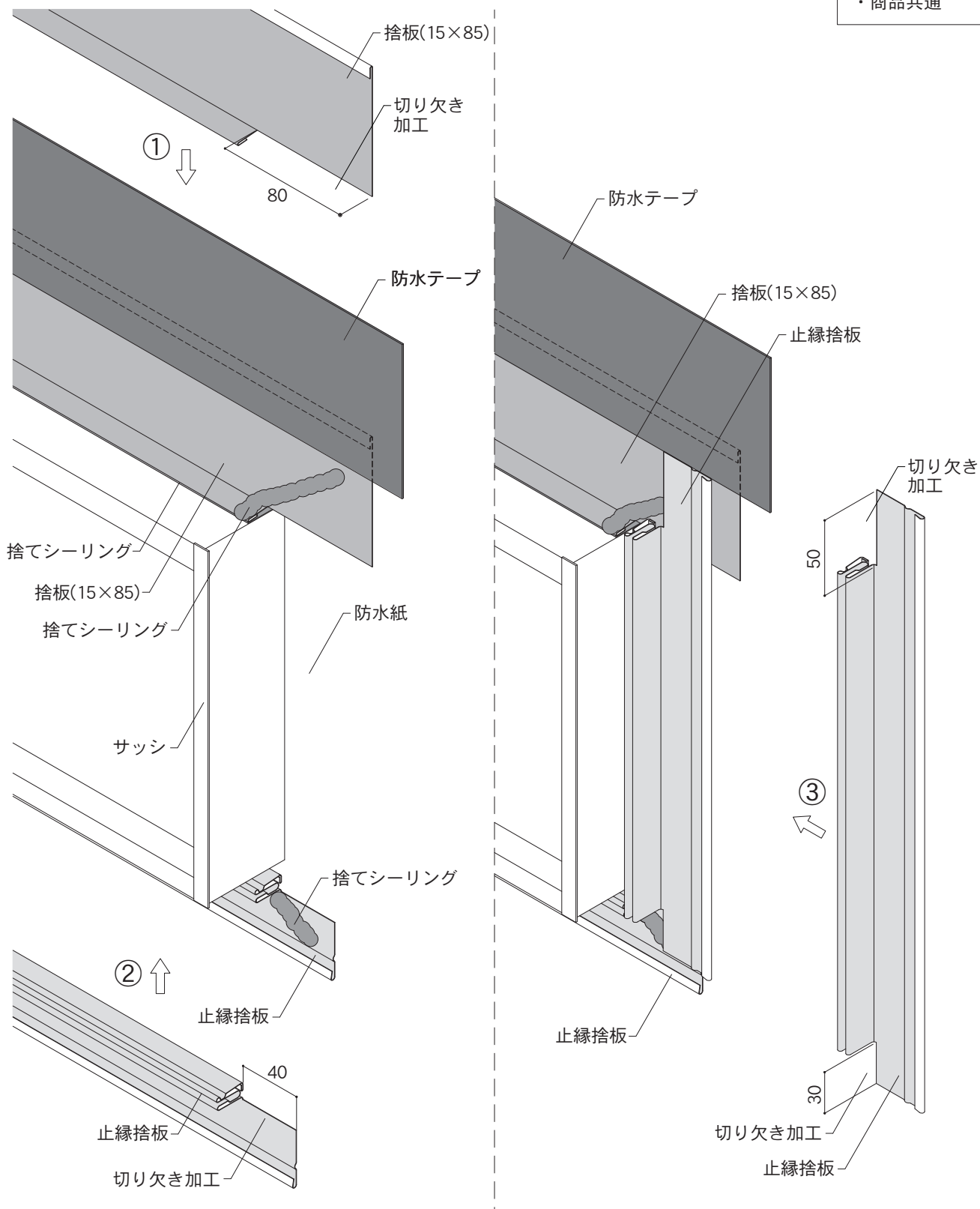
F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

隅角部を加工する場合 (1/4)

- ① 開口部上に捨板(15×85)を取り付けてください。捨板(15×85)とサッシの間には捨てシーリングを施工してください。捨板(15×85)の上部は、防水テープを図の位置に施工して防水紙に貼り付けてください。
- ② 開口部下に止縁捨板を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に、止縁捨板を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板(15×85)

本頁説明商品
・商品共通



5

施工
たて張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

單位：mm

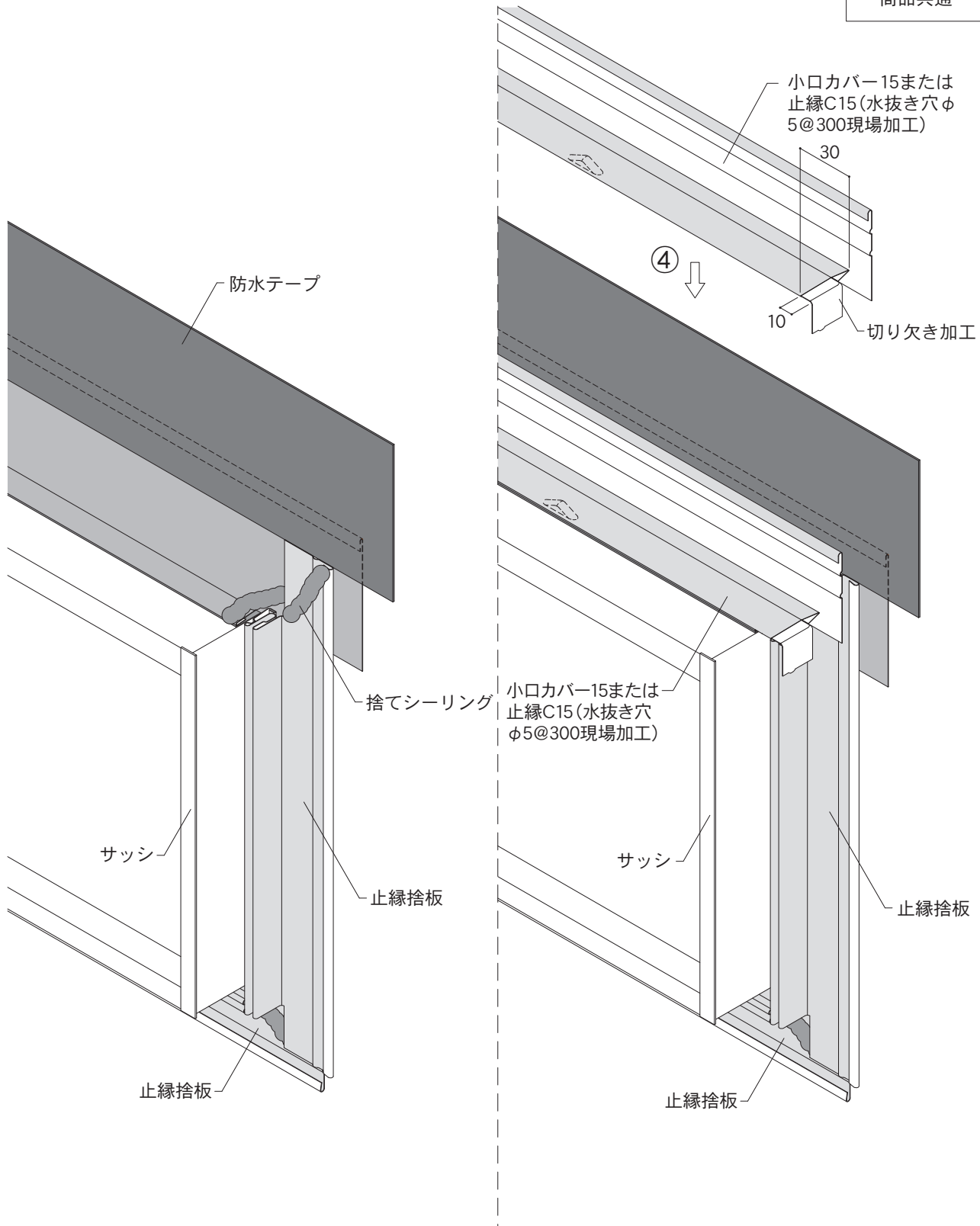
F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

隅角部を加工する場合 (2/4)

④開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。小口カバー15または止縁C15の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

本頁説明商品
・商品共通



5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

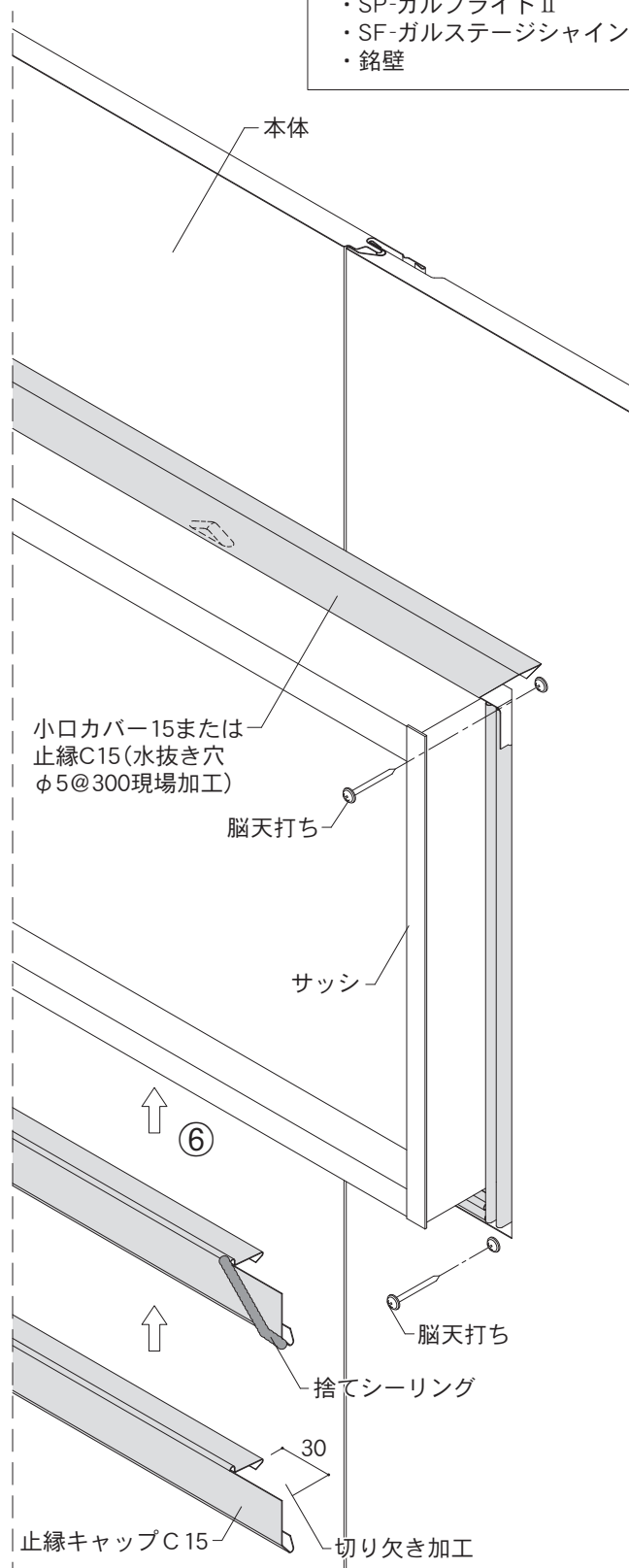
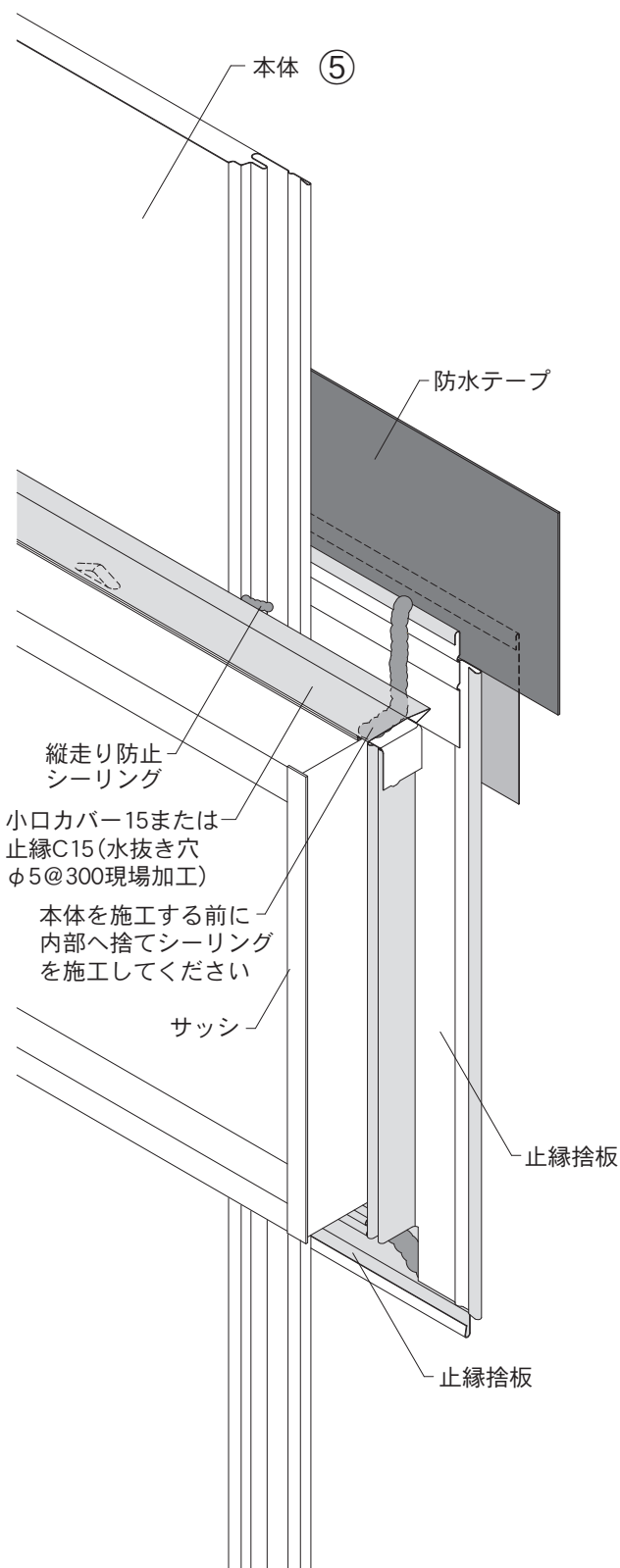
隅角部を加工する場合 (3/4)

- ⑤ 本体を施工してください。
 ・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
 ⑥ 開口部下に止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板(15×85)

本頁説明商品

- ・ SP-ガルブライトⅡ
- ・ SF-ガルステージシャイン
- ・ 銘壁



5

施工
たて
張りの

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

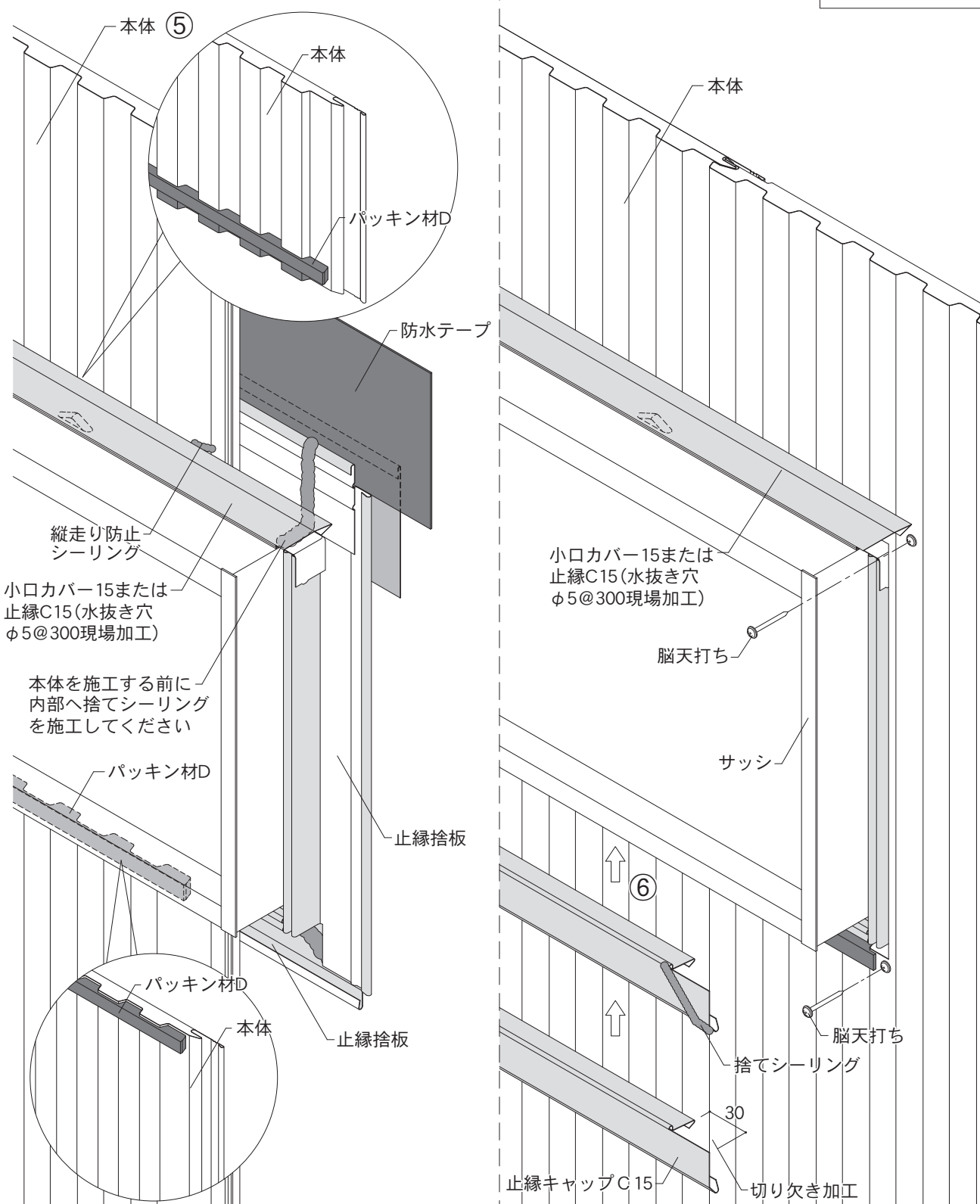
F. 開口部（2）小口カバー＋止縁（2部材）仕様

隅角部を加工する場合（3/4）

- ⑤ 本体を施工してください。
 ・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
 ⑥ 開口部下に止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）
 パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
 ・ SP-ガルスパン



5-2. 各部位の納まり図

單位：mm

F. 開口部(2)小口カバー+止縁(2部材)仕様

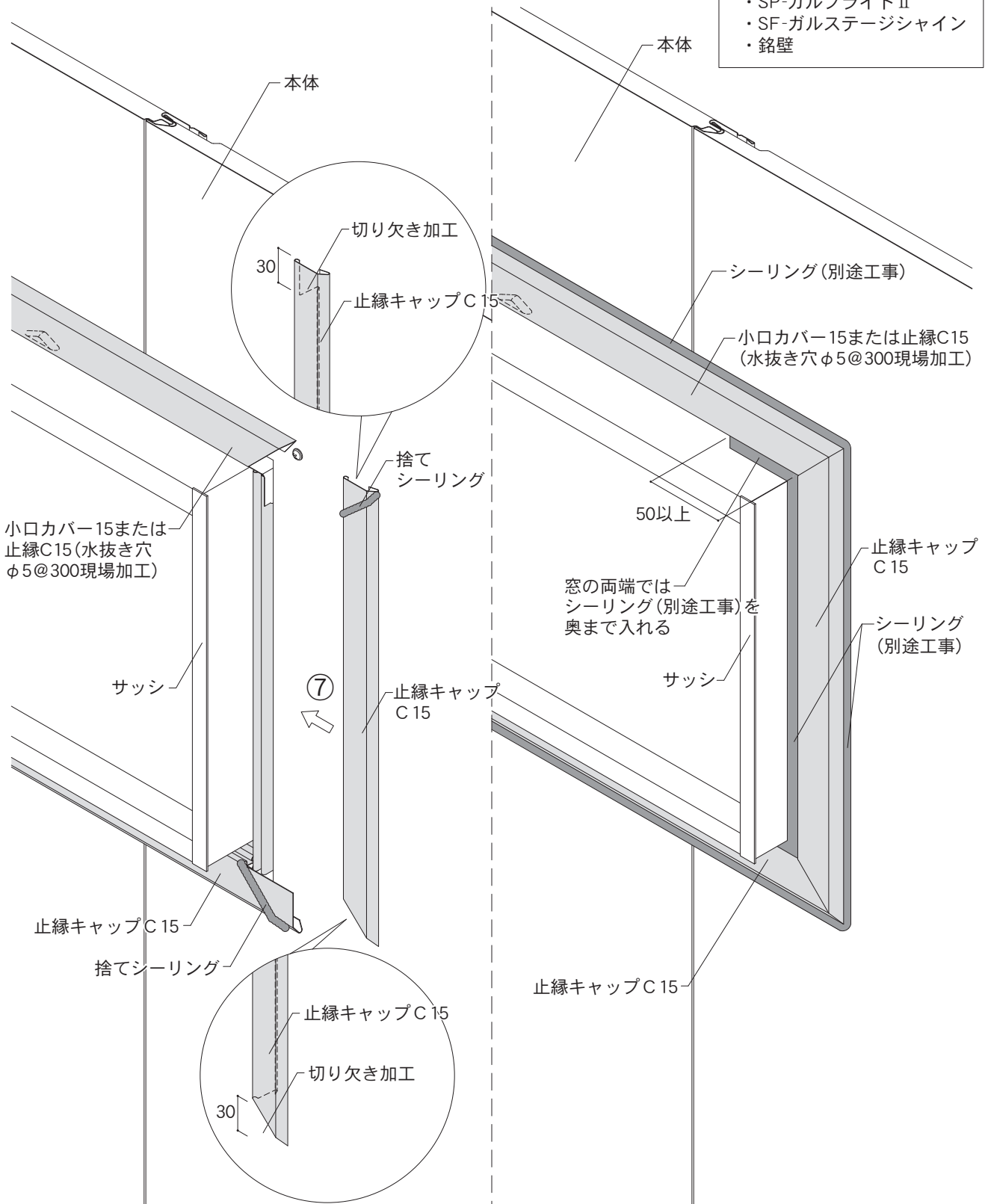
隅角部を加工する場合 (4/4)

- ⑦開口部左右に、止縁キャップC15を施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング（別途工事）を奥まで入れてください。
 - ・本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板(15×85)

本頁説明商品

- ・SP-ガルブライトⅡ
- ・SF-ガルステージシャイン
- ・銘壁



5

たて張りの
施工

5. たて張りの施工

5-2. 各部位の納まり図

単位：mm

F. 開口部（2）小口カバー＋止縁（2部材）仕様

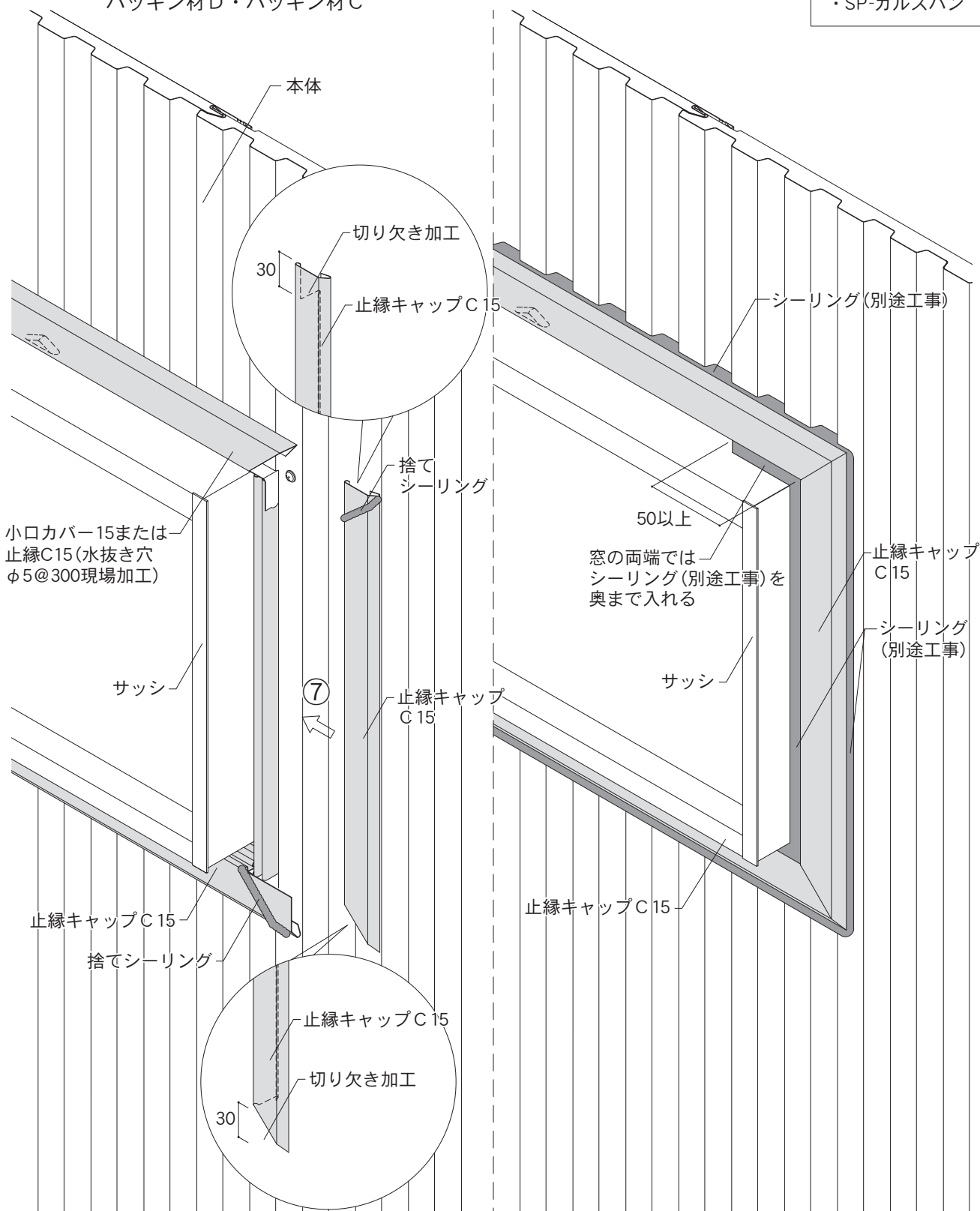
隅角部を加工する場合（4/4）

⑦サッシ左右に、止縁キャップC15を施工してください。

- ・サッシ上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング（別途工事）を奥まで入れてください。
- ・本体と部材の間には、シーリング（別途工事）を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）
パッキン材D・パッキン材C

本頁説明商品
・SP-ガルスパン



5-3. 建物の高さが13m超える部分の部材留め付け

単位：mm

B. 出隅部

建物の高さが13mを超える部分にキャップ系部材を使用する場合は、脱落防止のため脳天ビス留めをしてください。

- ・下地材の位置を確認し、3M/4M出隅キャップ15-25から下地材まで貫通するφ4.2mm程度の下穴を開けてください。

下穴を開ける位置は、ジョイント部の重なり代を除いた上端で、左右端部から25mm以内に左右各1箇所です。

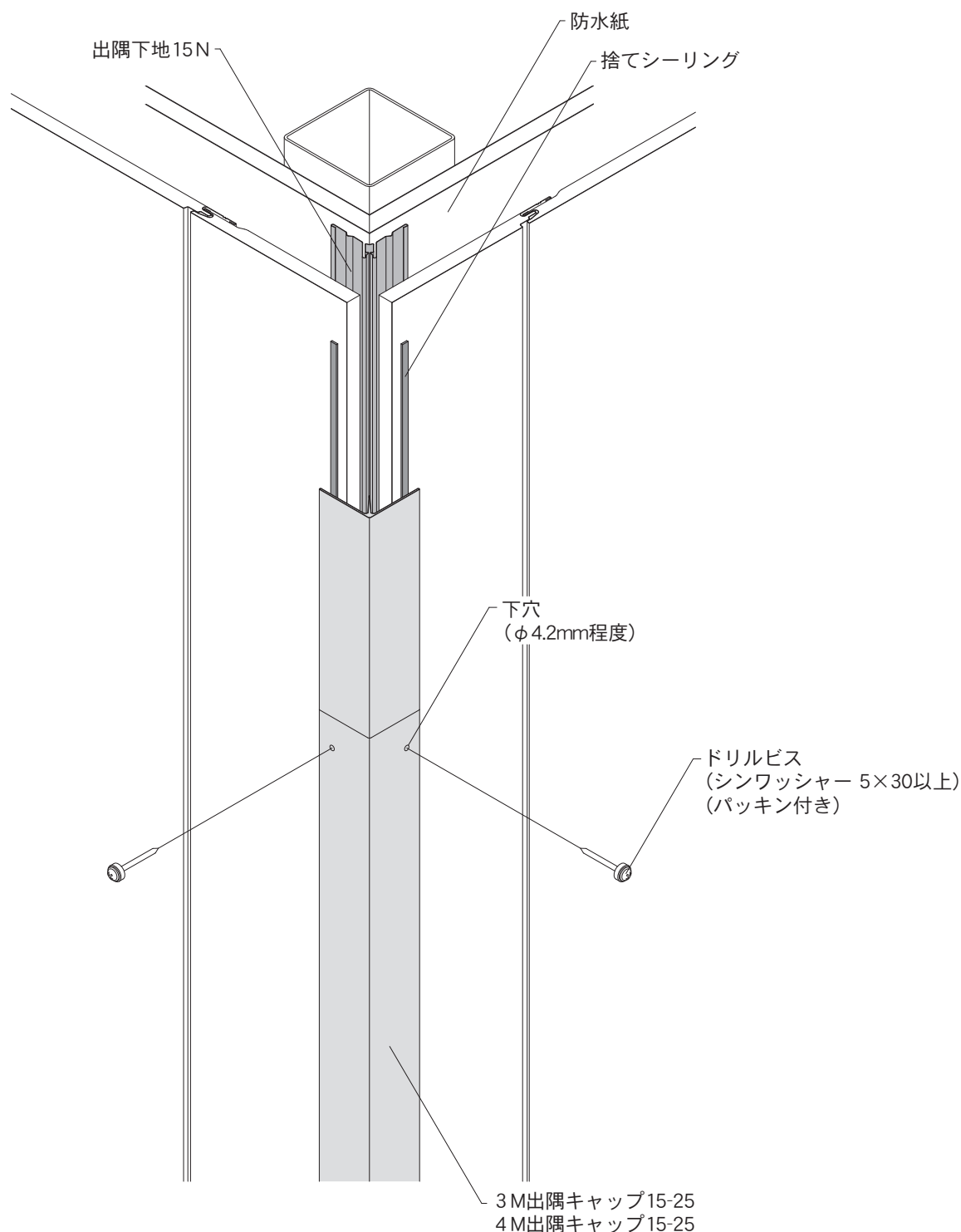
笠木などの3M/4M出隅キャップ15-25の最上端も留め付けてください。

- ・下穴の位置にドリルビス（シンワッシャー 5×30以上）（パッキン付き）で脳天留めしてください。

注）銘壁には3M出隅キャップ15-25が使用できます。

使用部材：3M / 4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N

本頁説明商品
・商品共通



5

施
工
た
て
張
り
の

5. たて張りの施工

5-3. 建物の高さが13m超える部分の部材留め付け

単位：mm

C. 入隅部

建物の高さが13mを超える部分にキャップ系部材を使用する場合は、脱落防止のため脳天ビス留めをしてください。

- ・下地材の位置を確認し、入隅キャップ15-25Sから下地材まで貫通するφ4.2mm程度の下穴を開けてください。
下穴を開ける位置は、ジョイント部の重なり代を除いた上端の左右各1箇所です。
笠木などの入隅キャップ15-25Sの最上端も留め付けてください。
- ・下穴の位置にドリルビス（シンワッシャー5×30以上）（パッキン付き）で脳天留めしてください。

使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S

本頁説明商品
・商品共通

